



2015年 総合優勝 グラーツ工科大学チーム



第14回 ———— ものづくり・デザインコンペティション ———— 全日本 学生フォーミュラ大会

大会プログラム

2016 9.6 火 - 10 土

入場
無料

会場：静岡県 小笠山総合運動公園



クルマ+ものづくりに熱中する若者たち、ここに結集!!
海外31チーム・EVクラス13チームを含む、106チームがエントリー!



主催
Organizer



公益社団法人自動車技術会

Society of Automotive Engineers of Japan, Inc. (JSAE)

後援

文部科学省、経済産業省、国土交通省、静岡県、掛川市、袋井市、掛川商工会議所、袋井商工会議所など

目次

Contents



	文部科学大臣祝辞/会長挨拶 1 Congratulatory Message/President's Message	主催・後援・協賛・委員会組織 12 Organizer/Support/Committee Members	
	大会概要 2 Outline of Events	大会スタッフ一覧 13 Competition Staffs	
	スケジュール 3 Schedule of Events	大会ヒストリー 14 History of Competition	
	動的イベントコース概要 4 Dynamic Events	第13回 全日本学生フォーミュラ大会成績 15 2015 Student Formula Japan Report	
	エントリーチーム 6 Entry Teams	参加チーム[車両スペック] 16~27 Team Information (Vehicle Specifications)	
	表彰 7 Awards	参加チーム[チームメンバー・スポンサー] 28~54 Team Information (Members and Sponsors)	
	大会スポンサー一覧 8 Sponsors		



第14回 全日本 学生フォーミュラ大会開催を祝して



文部科学大臣
馳 浩

第14回全日本学生フォーミュラ大会の開催を、心からお喜び申し上げます。

我が国を取り巻く経済・社会は、大きな変革期にあるとともに、少子高齢化、資源・エネルギー問題など様々な課題を抱えており、こうした変化や課題に対応し、豊かな社会を実現するためには、戦略性を持って科学技術イノベーションを活用することが求められています。

このため、今年1月に策定された第5期科学技術基本計画では、科学技術イノベーション政策を経済、社会及び公共のための主要な政策として位置づけて強力に推進することとしており、文部科学省・経済産業省としても、「理工系人材育成に関する産学官円卓会議」を設置し、イノベーション創出の担い手である理工系人材の戦略的育成の方向性と重点項目をとりまとめ、産学官が一体となって取組を進めて参ります。

こうした中で、本大会は、学生のものづくりの総合力を育成するため、自動車の走行性能や製作コストのほか、自ら設計した車をPRするためのデザイン・プレゼンテーション能力を競うなど、これからの我が国を支える実践的な技術者の育成に資する極めて有意義な大会であると思っております。

学生の皆様にとっては、レーシングカーの企画・設計・製作を通じて、ものづくりのすばらしさ・おもしろさを実感するとともに、メンバーとコミュニケーションを取りながら課題を発見し、解決していくことの大切さや、マネジメントワークやリーダーシップを学ぶ実践的な機会となるでしょう。それは、日頃学んでいる工学等の知識を超えた高いレベルへの挑戦であり、今後、技術者として社会で活躍するための価値ある経験になるものと考えます。

14回目を迎える本大会には、ICVクラス、EVクラス併せて、海外31チームを含む過去最多の106チームのエントリーがあり、また、昨年度は、過去最多の延べ15,193名の参加があったとお伺いしております。本大会が国内外から広く認識され、そして高く評価されていることの表れであり、大変喜ばしく思います。

最後になりましたが、本大会に出場される各チームの皆様、指導教員や学校関係の皆様の御健闘を祈念するとともに、公益社団法人自動車技術会をはじめ、本大会の企画・運営を支えられた皆様の御尽力に敬意を表して、お祝いの言葉といたします。

第14回 全日本 学生フォーミュラ大会を迎えて



公益社団法人自動車技術会
会長 松本宜之

今年で14回目の開催を迎える「全日本 学生フォーミュラ大会」は、過去最高の106チーム（国内75、海外31）のエントリーがありました。地域、国別にみると、国内では北海道1、東北2、関東・甲信越30、東海・中部・北陸16、関西・中国・四国19、九州7となり、海外からは、タイ6、中国5、インド5、インドネシア4、台湾3、マレーシア3、韓国1、パキスタン1、さらにヨーロッパから3チームで、中には海外の大会で活躍している強豪チームもあり、来日を楽しみにしています。

日本の学生諸君には多くの国の学生と交流できる絶好の機会と捉え、積極的に技術および人的な交流をしていただくことを期待します。

本大会は、実践的なものづくりの人材育成プログラムとして2003年にスタートいたしました。

学生がチームを組んで構想・設計・製作した車両の、加速、ハンドリング、耐久性といった走行性能に加え、車両コンセプト、設計、製造、コスト、更にはプレゼンテーションスキルなど、ものづくりの総合力を競います。

学生たちは、ものづくりの厳しさ、楽しさ、喜びの中で、チームマネジメントやコミュニケーション能力を養うことになります。

過去13回の大会開催を経て、本活動を経験した述べ15,000名以上の学生の多くがものづくりの第一線で活躍しはじめていますが、今後、この大会が自動車産業で活躍する人材を輩出する活動として社会に認知されることを願ってやみません。

最後になりますが、参加チームの皆さんのご健闘をお祈りするとともに、産学官の後援・協賛・スポンサーシップを頂戴した皆様、開催地の静岡県、掛川市ならびに袋井市の皆様、また大会運営スタッフをご派遣くださいました企業・大学の皆様、そして、大会運営スタッフ一人ひとりの皆様に心より御礼申し上げます。

大会概要

Outline of Events

大会趣旨

主役である学生が自ら構想・設計・製作した車両により、ものづくりの総合力を競い、産学官民で支援して、自動車技術ならびに産業の発展・振興に資する人材を育成する。

大会基本方針

学生に、学会として、ものづくりの機会を提供することにより、

- 1) 学生の自主的なものづくりの総合力を育成する
- 2) 学校教育と連携する実践的な学び場としての教育的価値を高めていくこととする。

大会運営指針

- 1) 安全確保を最優先とした、ものづくり検証の場とする。
- 2) 産学官民連携による運営とする。
- 3) 個人・法人の広範なボランティアによる運営とする。
- 4) 公益事業として運営する。
- 5) 企業の枠を超えた技術者の交流に資するため、学生フォーミュラ参加者のネットワークを構築する。

審査概要 Outline of Events

種目 Category	概要 Outline	配点 Point	
車検 Tech.Inspection	【技術検査】 ルールに定められた車両の安全・設計要件の適合性確認、 【チルト】 車両 45 度傾斜で燃料漏れ確認、ドライバー乗車し車両 60 度傾斜で転覆しないことの確認、 【騒音 (ICV クラスのみ)】 所定の条件で排気音レベル確認 (110dB 以下)、 【ブレーキ】 4 輪ブレーキ (4 輪ロック) を確認・検査、 【レイン (EV クラスのみ)】 絶縁がされているかを確認。	-	
静的審査 Static Events	コスト Cost	コスト計算は、生産活動を行うにあたり考慮しなければならない重要な要素です。学生は年産 1000 台を仮定したコストテーブルに基づき事前提出書類を提出し、コストの妥当性を審査します。また、リアルケースシナリオでは指定した部品の製造工程などの口頭試問を行い、それらの知識・理解度を評価します。	100
	プレゼンテーション Presentation	学生のプレゼンテーション能力を評価することが狙い。『市場要求に合った車両の製造・販売を含むビジネスプランを会社役員へ納得させる』という仮定のシチュエーションで行います。	75
	デザイン (設計) Design	チームからの事前提出書類と車両をもとに、設計の適切さ、革新性、加工性、整備性、組立性などを口頭試問により審査します。	150
動的審査 Dynamic Events	アクセラレーション Acceleration	0-75m 加速性能を各チーム 2 名のドライバーがそれぞれ 2 回、計 4 回走行し競います。	75
	スキッドパッド Skid-pad	8 の字コースによるコーナリング性能を各チーム 2 名のドライバーがそれぞれ 2 回、計 4 回走行し競います。	50
	オートクロス Autocross	直線・ターン・スラローム・シケインなどによる約 800m の複合コースを 1 周走行します。各チーム 2 名のドライバーがそれぞれ 2 回、計 4 回走行し、タイムを競います。	150
	エンデュランス Endurance	直線・ターン・スラローム・シケインなどによる周回コースを約 20km 走行します。各チーム 2 名のドライバーが中間点で交代して走行し、走行性能、耐久性など車の全体性能と信頼性を競います。	300
	効率 Efficiency	エンデュランス走行時の燃料・電力消費量を評価します。	100
その他 Others	車重計測、騒音・排ガス測定 [ICV (ガソリン) クラスのみ] を実施します。	-	
合計 Total Points		1000	

— 車両の主な設計要件・安全要件 —

Formula SAE® 2016 ルールに準拠

一般要件:

- ・タイヤがカウルで覆われていない、オープンコックピットのフォーミュラスタイルの 4 輪車両
- ・ホイールベース 1525mm 以上。トレッドは、フロント又はリアの大きい方に対して 75% 以上。ホイールは 8 インチ以上・ボディワーク: コックピット開放部に対する要件を除き、車両前端からメインロールフープまたはファイヤーウォールに至る間のドライバーコンパートメントに、開口部があってはならない。
- ・横転・正突・側突時にドライバーを保護するために、フロント・リアのロールフープ、バルクヘッド前方のクラッシュゾーン、サイドプロテクション、フレームメンバー等について構造・材料など詳細を規定・ブレーキは 4 輪すべてに作動し、独立した 2 系統の液圧回路を有すること、ブレーキペダルのすっぽ抜けどき、それを検知し、エンジン停止するスイッチを装備のこと
- ・拘束システム (5 又は 6 点式シートベルト)、保護用具 (ヘルメット、スーツ、手袋など)、視認性、ヘッドレスト、ドライバー脱出 5 秒以内、転覆安定性、防火壁、消火器等について詳細を規定

ICV:

- ・4 サイクルエンジンで排気量 610cc 以下。オリジナル設計の過給機の装着は可。リストリクター (吸気流量制限装置) の最大直径は 20mm・排気音量は、排気口から水平面 45 度、50cm の位置において所定の回転数で 110dB 以下・燃料タンクは、メインフープとタイヤを結ぶ面の内側に装備

EV:

- ・最大公称作動電圧は 600VDC
- ・バッテリーからの最大電力は、100ms を超えて連続的に 80kw より多く使わないこと、もしくは 500ms の移動平均値が 80kw を超えないこと。
- ・回生は許されるが時速 5km を超える車速で作動すること。



公益社団法人自動車技術会
全日本学生フォーミュラ大会

スケジュール

Schedule of Events

第14回 全日本 学生フォーミュラ大会 スケジュール Schedule

※本スケジュールは諸事情により変更の場合があります。

	7:00	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	実施場所	
9/6 (火) 1日目			チーム受付				車検								スタジアム チーム受付
										プレゼンテーション審査				スタジアム	
										コスト・デザイン審査				スタジアム	
					開会式									スタジアム	
9/7 (水) 2日目		チーム受付												スタジアム チーム受付	
		車検												スタジアム	
		プレゼンテーション審査												スタジアム	
		コスト・デザイン審査												スタジアム	
			プラクティス											動的エリア	
9/8 (木) 3日目		車検												スタジアム	
		アクセラレーション・スキッドパット								オートクロス				動的エリア	
		プラクティス												動的エリア	
9/9 (金) 4日目		エンデュランス・効率												動的エリア	
		プラクティス												動的エリア	
												デザイン ファイナル		アリーナ	
9/10 (土) 5日目		エンデュランス・効率												動的エリア	
		プラクティス												動的エリア	
														スタジアム正面	
										集合 写真				アリーナ	
										交流会				アリーナ	
														表彰式	

TSK レストランのご案内

<喫茶 / 軽食 / 売店>

下記日時にて、施設内常設レストランをご利用いただけます。

TSK レストラン

場所：アリーナ 3階

日時：9月6日(火)～10日(土) 11:00～15:00

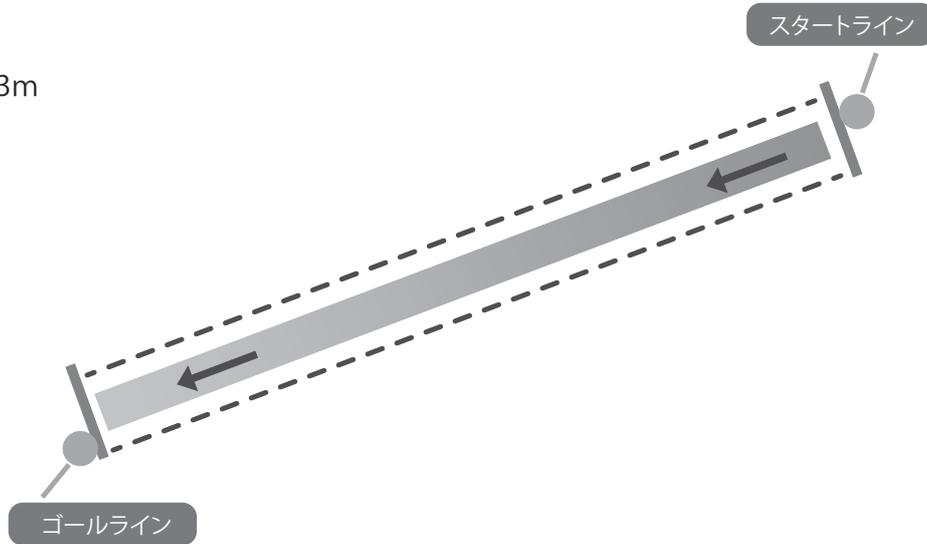
動的イベントコース概要

Dynamic Events

アクセラレーション<Acceleration>

コース概要

- 直線75m
- コース幅 3m

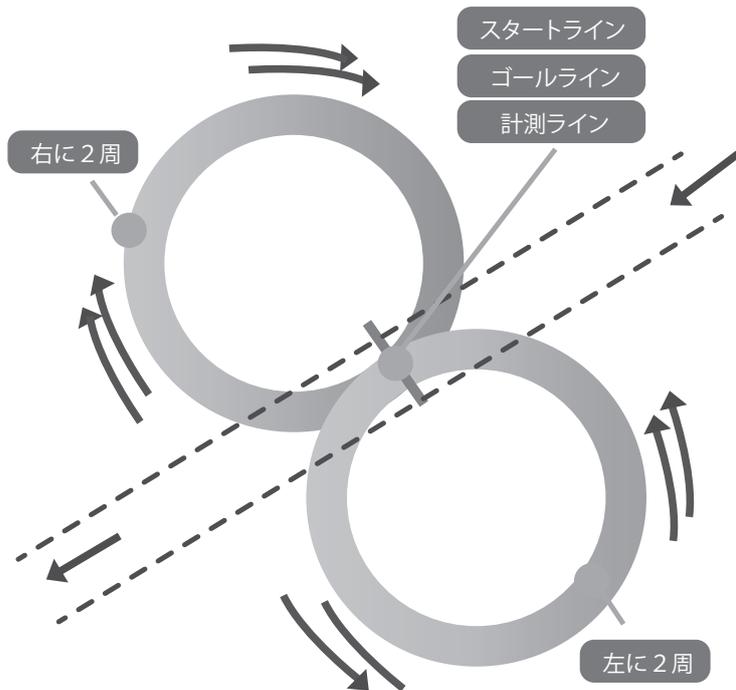


- ★直線0-75mの加速タイムを競う。
- ★上位チームのタイムは4秒前半。
- ★スタート時のタイヤの空転を抑え、あとは駆動力性能の勝負となる。

スキッドパッド<Skid-pad>

コース概要

- 8の字コース(右2周・左2周)
- コース幅 3m



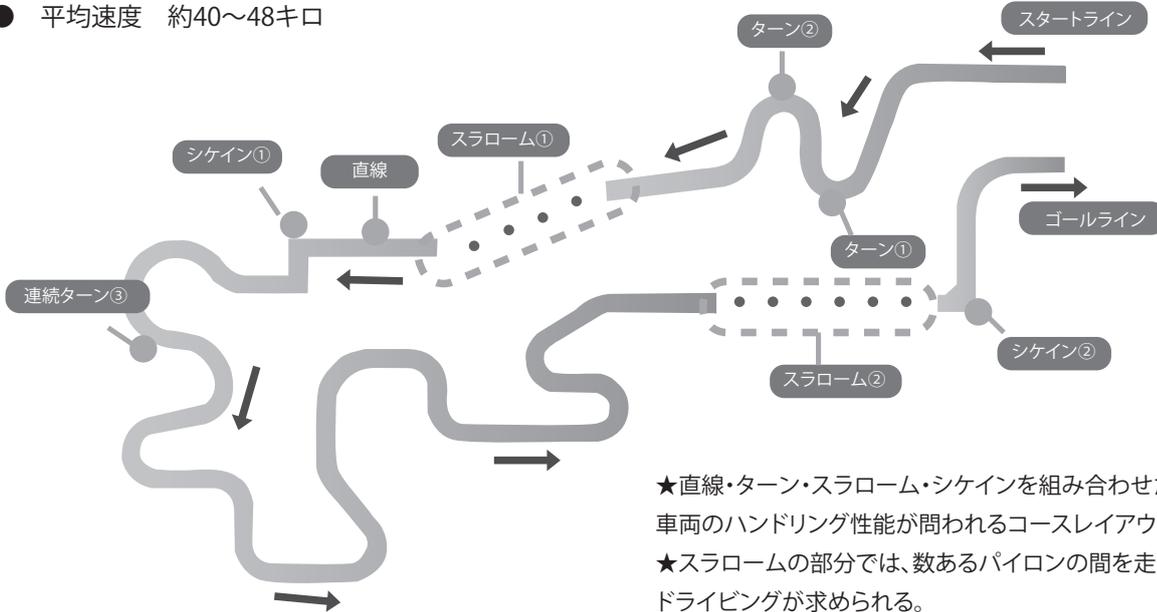
- ★左旋回と右旋回の周回タイムの平均を競う。
- ★上位チームのタイムは5秒を切る。
- ★パイロンペナルティーは、各0.25秒のペナルティとなり、車両の旋回性能が大切だ。

オートクロス<Autocross>

※こちらは昨年の参考コースとなります。毎年若干のコース変更があります。

コース概要

- 1周約800mの複合コース(直線・ターン・スラローム・シケインなど)
- コース幅 4.5~5m
- 最高速度 約105km/h
- 平均速度 約40~48キロ



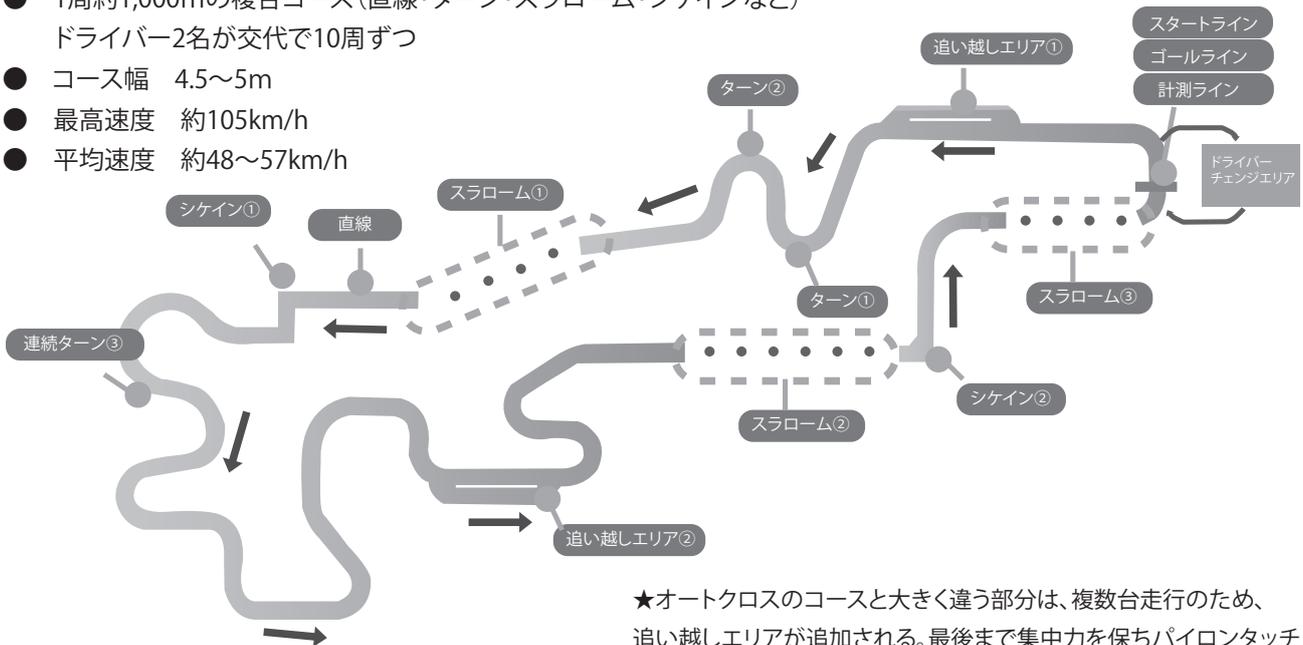
- ★直線・ターン・スラローム・シケインを組み合わせた約800mのコースで、車両のハンドリング性能が問われるコースレイアウトとなる。
- ★スラロームの部分では、数あるパイロンの間を走行するため慎重なドライビングが求められる。

エンデュランス<Endurance>

※こちらは昨年の参考コースになります。毎年若干のコース変更があります。

コース概要

- 1周約1,000mの複合コース(直線・ターン・スラローム・シケインなど)
ドライバー2名が交代で10周ずつ
- コース幅 4.5~5m
- 最高速度 約105km/h
- 平均速度 約48~57km/h



- ★オートクロスのコースと大きく違う部分は、複数台走行のため、追い越しエリアが追加される。最後まで集中力を保ちパイロンタッチペナルティーをいかに最少に抑えるかが審査の鍵を握る。

★周回コースを約20キロ走行する。2名のドライバーが中間地点で交代となる。交代の際は、必ずICV車はエンジンを止め、EV車ならばトラクティブシステムを停止させて交代を行う。車両の熱上昇による再スタートには注意が必要だ。

表彰

Awards

分類	表彰名	賞の概要	表彰枠	副賞	スポンサー
総合表彰	経済産業大臣賞 Minister of Economy, Trade and Industry Award	総合得点が最も高いチーム	1位	—	経済産業省
	国土交通大臣賞 Minister of Land, Infrastructure, Transport and Tourism Award	安全技術、環境技術、新技術の評価が高いチーム	1位	—	国土交通省
	静岡県知事賞 Governor of Shizuoka Prefecture Award	静的審査、耐久走行を除く動的審査、騒音、消費効率、安全、軽量化努力の評価が高いチーム	1位	賞品	静岡県
	袋井市長賞 Mayor of Fukuroi City Award	静的審査の得点が最も高いチーム	1位	賞品	袋井市
	日本自動車工業会会長賞 JAMA Chairperson Awards	全ての静的・動的審査に参加し、完遂・完走しているチーム（書類遅延及びエンデュランス完走後の騒音ペナルティーが無いこと）	—	総額 70 万円賞品及び賞金（総額を受賞チーム分割）	日本自動車工業会
	ICV総合優秀賞 Spirit of Excellence Awards for ICV class	ICV クラスで総合得点が最も高いチーム	1～6位	① 10 万円 ② 9 万円 ③ 8 万円 ④ 6 万円 ⑤ 5 万円 ⑥ 4 万円	小野測器
	EV総合優秀賞 Spirit of Excellence Award for EV class	EV クラスで総合得点が高いチーム	1位	① 4 万円+副賞	ビューズ / 静岡県
種目別表彰	コスト賞 Cost Awards	コスト・製造審査の得点が最も高いチーム	1～3位	① 2.5 万円 ② 1 万円 ③ 0.5 万円	デュージャパン
	デザイン賞 Design Awards	デザイン（設計）の得点が最も高いチーム	1～3位	① 5 万円 ② 3 万円 ③ 2 万円	オーテックジャパン
	プレゼンテーション賞 Presentation Awards	プレゼンテーション審査の得点が最も高いチーム	1～3位	① 4 万円 ② 3 万円 ③ 1 万円	東洋ゴム工業
	加速性能賞 Acceleration Awards	アクセラレーション（加速性能）審査の得点が最も高いチーム	1～3位	① 5 万円 ② 3 万円 ③ 2 万円	住友ゴム工業
	スキッドパッド賞 Skid-Pad Awards	スキッドパッド審査の得点が最も高いチーム	1～3位	① 2.5 万円 ② 1 万円 ③ 0.5 万円	ヨコハマ・モータースポーツ・インターナショナル
	オートクロス賞 Autocross Awards	オートクロス審査の得点が最も高いチーム	1～3位	① 4 万円 ② 3 万円 ③ 1 万円	ブリヂストン
	耐久走行賞 Endurance Awards	エンデュランス（耐久走行）審査の得点が最も高いチーム	1～3位	賞品	MOTUL
	省エネ賞 Efficiency Awards	消費効率審査の得点が最も高いチーム	1～3位	① 5 万円 ② 3 万円 ③ 2 万円	日本ミシュランタイヤ
	特別表彰	ルーキー賞 Rookie Awards	日本大会初参加で総合得点が最も高いチーム	1位 1位	ICV クラス ① 2 万円 EV クラス ① 2 万円
CAE特別賞 CAE Awards		CAE 技術の評価が最も高いチーム	1～3位	① 5 万円 ② 3 万円 ③ 2 万円	アルテアエンジニアリング
最軽量化賞 Lightweight Engineering Awards		エンデュランスを除く全ての審査に参加した最軽量車両のチーム	1～3位 1位	ICV クラス ① 3 万円 ② 2 万円 ③ 1 万円 EV クラス 2 万円	深井製作所
ベスト・サスペンション賞 Best Suspension Awards		サスペンション性能評価が最も高いチーム	1～3位	① 3 万円 ② 2 万円 ③ 1 万円	ゼットエフ・ジャパン
ジャンプアップ賞 Best Improvement Awards		全ての審査に参加し、前回大会比で最も総合得点を向上させたチーム	1～3位	①賞品 副賞（①～③）	ニコルレーシングジャパン 袋井商工会議所
ベスト三面図賞 Best Three-View Drawing Award		設計行為の集大成である"図面"を通じて審査員に最もより多くの情報を的確に伝えたチーム	1位	5 万円	東京アールアンドデー
ベストエアロ賞 Best Aerodynamics Award		オートクロスまでを完走したチームの中で、レーシングカーとしても最も効果的な空力解析及び熱流体解析を行い、実践したチーム	1位	5 万円	東京アールアンドデー
ベストラップ賞 Best Rap Awards		エンデュランスのラップタイムが最も速いチーム	3チーム	賞品	キグナス石油
ベストコンポジット賞 Best Composit Award		最も高完成度なコンポジットパーツを実現したチーム	1位	5 万円	東京 R&D コンポジット工業
ベスト電気回路設計賞 Best Electrical System Design Awards		電気回路設計が最も優れているチーム	1～3位	① 8 万円 ② 4 万円 ③ 2 万円	メンター・グラフィックス

大会スポンサー一覧

Sponsors

■ Sクラス

トヨタ自動車
日産自動車
本田技研工業

■ Aクラス

富士重工業
マツダ
三菱自動車工業
タマディック
IPG Automotive
VSN
カールストルツ・エンドスコピー・ジャパン
川崎重工業
スズキ
デンソー
日産車体
日本精工
日立オートモティブシステムズ
ヤマハ発動機

■ Bクラス

NOK
太平洋精工
堀場製作所
UDトラックス
日野自動車
ボッシュ
dSPACE Japan
KYB
Mentor Automotive
NTN
TBK
アイシン・エイ・ダブリュ
アイシン精機
アルテアエンジニアリング
アンシス・ジャパン
イータス
いすゞ自動車
エイヴィエル ジャパン
エクセディ
オーテックジャパン
オートバックスセブン
カルソニックカンセイ
キグナス石油
ケーヒン
ジェイテクト
ジャトコ

ジャトコエンジニアリング
新日本特機
住友電装
ゼット・エフ・ジャパン
センサータ・テクノロジーズ・ジャパン
ソフトウェアクレイドル
ソリッドワークス・ジャパン
タイコ エレクトロニクス ジャパン
ダイハツ工業
ニフコ
日本イーエスアイ
原田工業
フォーラムエイト
フジクラ
ホンダテクノフォート
ミットヨ
三菱電機
ヤナセ
ユニプレス
ヨロズ

■ Cクラス

市光工業
豊田自動織機
HPCシステムズ
JTB中部
JXエネルギー
NSKワーナー
TPR
Witzenmann Japan
アイシン・エーアイ
愛知機械工業
アスモ
アドヴィックス
イグス
いすゞ中央研究所
出光興産
インターテクノ
エイチワン
エイティーエス
エフ・シー・シー
エフティテクノ
オイレス工業
くるまマイスター検定
オートテックジャパン
岡谷鋼機
興津螺旋
小野測器
河西工業

キャタラー
享成自動車学校
三五
山王テック
ジェービーエム
榛葉鉄工所
住友ゴム工業
ゼネラルエンジニアリング
テイ・エス テック
ティエムシー
東海理化
東洋ゴム工業
豊田合成
トヨタ自動車東日本
トヨタ車体
トヨタ紡織
日産テクノ
日信工業
日清紡ブレーキ
日本自動車部品工業会
日本デルファイ・オートモーティブ・システムズ
ニッパツ
日本ミシュランタイヤ
日野ヒューテック
深井製作所
ブライムアースEVエナジー
ブリヂストン
ブリッド
ベクター・ジャパン
ボルグワーナー・モールスシステムズ・ジャパン
マーレジャパン
マツダE&T
丸紅情報システムズ
三井金属アクト
三菱自動車エンジニアリング
三ツ星ベルト
武蔵精密工業
モビテック
ヤンマー
ユタカ技研
ユニバンス
ヨコハマ・モータースポーツ・インターナショナル

■ Dクラス

袋井商工会議所
DRD
MathWorks Japan
愛三工業
アイシン・コムクルーズ

◎ 「次代の技術者を育成する」という本大会の目的にご賛同賜わり、大会の運営にご支援をいただけるスポンサー様を募集しております。学生の自主的なものづくり力を開発し、将来を担う人材を育成していくための公益活動への、皆様の厚いご支援・ご協力をお願い申し上げます。

● ご支援金額 5万円を1口 として1口以上でお願い致します。

※ご支援金は大会運営資金として大切に使用させていただきます。 ※ご支援金額に応じて、スポンサー特典をご用意しております。

お申込みは随時承っております。ご不明な点などございましたら、下記宛にお気軽にお問合せ下さい。

《お申込み・お問合せ先 大会事務局》 公益社団法人自動車技術会 育成・イベントグループ 吉田・飯島
Tel: 03-3262-8214 Email: formula@jsae.or.jp

アイシン高丘
曙ブレーキ工業
いすゞエンジニアリング
白井国際産業
内山工業
エイ・ダブリュ・エンジニアリング
エー・アンド・デイ
オティックス
オリックス自動車
共和電業
キリウ
コンカレント日本
シーケーエンジニアリング
シーシーアイ
ジェイアイ傷害火災保険
鈴与グループ
ソーシン
ゾミック石川
大成プラス
太平洋工業
大豊工業
高田工業
タチエス
ダッド
槌屋
ティン
デュージャパン
デンソーテクノ
東京アールアンドデー
東京R&Dコンポジット工業
東京海上日動火災保険
東京貿易テクノシステム
東日製作所

東洋電装
東レ
戸田レーシング
トヨタテクニカルディベロップメント
豊田鉄工
トヨタプロダクションエンジニアリング
トヨタモデリスタインターナショナル
南条装備工業
西川ゴム工業
ニチリン
日産アーク
日鍛バルブ
日本精機
日本特殊陶業
日本ナショナルインスツルメンツ
バーチャルメカニクス
バイオラックス
浜名湖電装
バンドー化学
ピュース
フジオーゼックス
富士通テン
富士テクノサービス
フューチャーテクノロジー
古河AS
プレス工業
マグナ・インターナショナル
ヤマハモーターパワープロダクツ
リョービ

■ Eクラス

東京都自動車事業振興協会
法多山名物だんご企業組合

ホテル観世

■ EVパーツ支援

センサータ・テクノロジーズ ジャパン
東芝
日産自動車
日本ナショナルインスツルメンツ
プロトラッド
本田技研工業
三菱自動車工業
矢崎総業

■ 協力

大塚製薬
小野測器
静岡県小笠山総合運動公園
静岡理工科大学
首都大学東京
中東遠総合医療センター
東日製作所
名古屋外国語大学
日本大学理工学部
ブリヂストン
ヤマトグローバルロジスティクス
落雷抑制システムズ

同時開催

Joint Event

静岡県の魅力を紹介！！

入場無料

「まるごと“しずおか”」コーナー！！

日時：9月9日（金）～9月10日（土） 9：00～17：00

主催：静岡県 協力：袋井市/掛川市

①ふじのくに次世代自動車コーナー：エコパスタジアム

- ・静岡県内の企業が開発する次世代自動車が集結！！
- ・次世代自動車関連の先端技術や部品を紹介！！

②ふじのくに名産品コーナー：動的エリア

- ・静岡県産の農産品や加工食品の販売！
- ・スポーツ産業の取組み紹介、静岡県の観光案内
- ・地元を代表する銘茶の呈茶サービスを実施 など



▲超小型モビリティの展示



▲名産品コーナー

皆で来てね
待ってるよ!



お問合せ先：静岡県経済産業部新産業集積課 TEL：054-221-2512 E-mail：trc@pref.shizuoka.lg.jp

SUPER FORMULA 展示 SF13 車両展示

日時：9月7日（水）～8日（木） 場所：スタジアム愛野側チケット売り場前

内容：日本最高峰のフォーミュラカーレース「スーパーフォーミュラ」参戦のレーシングカー SF13（キグナス石油が2015年までスポンサー）展示を行います。最先端のフォーミュラカーのセッティングがわかります。

協力：キグナス石油、
チームルマン
日本レースプロモーション



SUPER FORMULA 展示 SF14 車両・部品展示

日時：9月7日（水）～8日（木） 場所：スタジアム愛野側チケット売り場前

内容：全日本選手権スーパーフォーミュラシリーズは、日本自動車連盟（JAF）が公認し、純然たるレーシングマシンであるオープン・シングルシーターのフォーミュラカーによって競われる国内最高峰の自動車レースです。今回、2014年よりシリーズに採用された車両“SF14”と、その部品展示を行います。最高峰モータースポーツ車両の技術をじっくり観察して読み解いて下さい。

協力：日立オートモティブシステムズ
本田技術研究所
ルマン
日本レースプロモーション



開会式の案内

日時：9月6日（火） 11：15～11：25

場所：スタジアム西側スタンド（W14、W15 付近）

内容：過去にはサッカーの日韓 W 杯も行われたエコパスタジアムで、大会最初のイベントとなる開会式を行います。各チームの代表が一堂に会し、5 日間の長い戦いに向けて気持ちを高めていきます。彼らの勇姿をぜひ現地でご覧下さい。



交流会

日時：9月10日（土） 15：30～17：00

場所：アリーナ 2F 南ロビー [屋内]、ロビー前広場 [屋外 車両展示：6 台]

内容：フォーミュラ大会に参加した学生、企業の皆さんや大会スタッフ、JSAE 事務局の皆さんなどが、ステージでのインタビューや上位入賞の展示車両の周囲に集います。学生の皆さんは大会までの苦しい準備期間や本大会中の熱い戦いを振り返ってチームや国境を超えて称え合い、また競技を支えた大会スタッフとはものづくりの楽しさや自動車業界での開発やビジネスの実状況、将来の自分達のチャレンジしたい業務も語り合ってお互いに交流する場を楽しみましょう。



ガイドツアー

日時：9月6日（火） 14：00～17：00

9月7日（水）～10日（土） 8：00～17：00

場所：大会受付横のガイドツアー受付

内容：大会経験者の学生 OB が、大会ルールや各審査の見所を解説しながら、会場内をご案内します。チームピット→車検エリア→プラクティスエリア→ダイナミックエリアを回る約 45 分のコースです。ご希望の方にはプレゼン審査もご案内します。静的審査の緊張感や動的審査の臨場感を審査会場での目当たりにし、学生たちのクルマづくりに対する熱い想いを感じてください。



企業 PR コーナー

日時：9月8日（木）～9月10日（土） 9：00～17：00

場所：スタジアム 2F コンコース（チームピット周縁）

内容：本年はおよそ 60 社のスポンサー各企業が自社 PR ブースを設置。現在の日本の技術力を支えている各企業が集結いたします。



JSAE 物販コーナー

日時：9月8日（木）～9月10日（土） 9：00～17：00

場所：スタジアム内 受付横

学生フォーミュラ大会オリジナルグッズの販売。大会 T シャツ、タオル、ステッカーなど本大会会場では買えないグッズをラインナップ。是非、この機会にお立ち寄りください。



主催・後援・協賛・委員会組織

Organizer/Support/Committee Members

主催	公益社団法人自動車技術会
後援	文部科学省、経済産業省、国土交通省、静岡県、掛川市、袋井市、掛川商工会議所、袋井商工会議所、日本自動車工業会、日本自動車部品工業会、NHK、TBS テレビ、静岡新聞社・静岡放送、静岡朝日テレビ、静岡第一テレビ、テレビ静岡、静岡エフエム放送 (K-mix)、朝日新聞社、読売新聞社、毎日新聞社、日本経済新聞社、日刊工業新聞社、フジサンケイビジネスアイ、日刊自動車新聞社
協賛	産業技術総合研究所、自動車技術総合機構、日本自動車研究所、日本私立大学協会、日本私立大学連盟、公立大学協会、国立高等専門学校機構、日本工学会、日本ゴム工業会、計測自動制御学会、潤滑油協会、日本機械学会、日本工学教育協会、日本工作機械工業会、日本ゴム協会、日本材料学会、日本自動車タイヤ協会、日本設計工学会、日本陸用内燃機関協会、溶接学会、日本自動車車体工業会、日本自動車整備振興会連合会、日本自動車機械器具工業会、日本自動車連盟、日本自動車販売協会連合会、土木学会、全国自動車大学校・整備専門学校協会、電気学会

■ 全日本 学生フォーミュラ会議

議長	野村 得之	トヨタ自動車
副議長	窪塚 孝夫	自動車技術会
	竹村 宏	本田技研工業
委員	青山 市三	スズキ
	青木 甲次	アイシン精機
	上田 亨	ダイハツ工業
	大下 政司	日本自動車部品工業会
	大抜 哲雄	富士重工業
	小野 匡弘	日野自動車
	隈部 肇	デンソー
	島本 誠	ヤマハ発動機
	仲西 昭徳	三菱自動車工業
	中原 浩	川崎重工業
	人見 光夫	マツダ
	藤澤 正明	日立オートモティブシステムズ
	藤本 直也	日産自動車
	古谷 博秀	産業技術総合研究所
	本田 康裕	国土舘大学
	松本 保志	トヨタ自動車
	吉田 量年	日本自動車車体工業会

■ 全日本 学生フォーミュラールール委員会

委員長	山岸 康一	トヨタ自動車
副委員長	松本 保志	トヨタ自動車
委員	鈴木 健	ボランティア
	玉正 忠嗣	日産自動車
	本田 康裕	国土舘大学
	三宅 博	UDトラックス

■ 全日本 学生フォーミュラ実行委員会

委員長	松本 保志	トヨタ自動車
副委員長	玉正 忠嗣	日産自動車
	中澤 広高	本田技術研究所
委員	有ヶ谷 英人	オイレス工業
	伊藤 潔	ヤマハ発動機
	江上 真弘	日産自動車
	榎本 啓士	金沢大学
	大杉 政克	マツダ
	岡 秀樹	スズキ
	加世山 秀樹	本田技研工業
	狩野 芳郎	神奈川工科大学
	黒田 宏彦	富士重工業
	佐々木 敬規	トヨタ自動車
	土屋 高志	静岡理科大学
	長谷川 雅彦	アイシン精機
	林 真佐夫	ダイハツ工業
	福田 充宏	静岡大学大学院
	本田 康裕	国土舘大学
	増田 好洋	ゼスト
	松浦 孝成	堀場製作所
	三宅 博	UDトラックス
	山岸 康一	トヨタ自動車
	山本 隆	デンソー

(2016年7月20日現在)

大会スタッフ一覧

Competition Staffs

■ 審査

〈技術審査〉

★三宅博(UDトラックス), 加藤祐規(いすゞ自動車), 清水俊成(いすゞ自動車), 中村一樹(いすゞ自動車), 狩野康行(小野測器), 時田万奈未(小野測器), 加藤哲朗(カルソニックカンセイ), 川島祐一(川崎重工業), 本田篤(川崎重工業), 千葉康智(スズキ), 岡本和也(ダイハツ工業), 畑田紘志(ダイハツ工業), 安藤洋(トヨタ自動車), 影山卓也(トヨタ自動車), 小宮敏也(トヨタ自動車), 坂本雄祐(トヨタ自動車), 清水健一(トヨタ自動車), 利谷洗貴(トヨタ自動車), 山谷麻美子(トヨタ自動車), 秋月信也(日産自動車), 増田陽介(日産自動車), 八木橋厚太(日産自動車), 鈴木正幸(富士重工業), 西村尚記(富士重工業), 川鍋昌彦(富士テクノサービス), 松浦孝成(堀場製作所), 阿久根良斗(本田技術研究所), 押部泰之(本田技術研究所), 飯塚政雄(マイスタークラブ(ホンダ)), 石井和幸(マイスタークラブ(ホンダ)), 井出温(マイスタークラブ(ホンダ)), 菊池文明(マイスタークラブ(ホンダ)), 久野富士夫(マイスタークラブ(ホンダ)), 黒澤達夫(マイスタークラブ(ホンダ)), 関口昌邦(マイスタークラブ(ホンダ)), 宮田卓英(マイスタークラブ(ホンダ)), 宮田敏夫(マイスタークラブ(ホンダ)), 村越弘昌(マイスタークラブ(ホンダ)), 山田滋(マイスタークラブ(ホンダ)), 吉野文隆(マイスタークラブ(ホンダ)), 西英之(マツダ), 藤田博(マツダ), 横山哲也(マツダE&T), 小牟田治良(三菱自動車エンジニアリング), 長田祥史(三菱自動車工業), 福嶋大吾郎(三菱自動車工業), 原園泰信(ヤマハ発動機), 本田祐介(ヤマハ発動機), 森伸一(ヨコハマモーターズスポーツインターナショナル), 岡崎昭仁(神奈川工科大学), 鹿内佳人(静岡理科大学), 安藝雅彦(日本大学), 関谷直樹(日本大学), 名波則路(日本大学), 吉田幸司(日本大学), 桑原弘(横浜国立大学), 天野勝弘(静岡理科大学)

〈静的審査〉

★有ヶ谷英人(オイレス工業), 宮澤哲裕(アイシン精機), 松尾和哉(愛知機械工業), 渋谷弘之(いすゞ自動車), 鈴木健太(いすゞ自動車), 細谷和宏(いすゞ自動車), 宮崎知之(NSK ワーナー), 佐藤孝之(オーテックジャパン), 松本孝史(川崎重工業), 三宅洸(ジャスコ), 森元孝輝(ジャスコ), 増田貴彦(ショーワ), 出田浩之(スズキ), 岡本明延(スズキ), 友部貴仁(スズキ), 佐藤光広(住友ゴム工業), 関本祐太郎(セット・エフ・ジャパン), 小林新(ダイハツ工業), 高松芳久(ダイハツ工業), 松村浩明(ダイハツ工業), 射延恭二(デンソー), 沢田護(デンソー), 小野昌朗(東京アールアンドデー), 菊地茂美(東京アールアンドデー), 高石新(東京R&D コンボジット工業), 河西信之(トヨタ自動車), 塚本将弘(トヨタ自動車), 寺門晋(トヨタ自動車), 長谷川淳一(トヨタ自動車), 音部哲郎(豊田自動織機), 菊谷寿郎(豊田自動織機), 清水朋成(トヨタ車体), 永山啓樹(日産アーク), 梅木志保(日産自動車), 共田はつき(日産自動車), 中山紘一(日産自動車), 西本幸司(日産自動車), 萩原翔(日産自動車), 森岡宇(日産自動車), 山本貴史(日産自動車), 中沢大(日産車体), 加藤寛(日本精工), 前田裕司(日本発条), 岩本幸典(日立オートモティブシステムズ), 菅原朱美(日立オートモティブシステムズ), 田浦照幸(日野自動車), 大谷幸司(富士重工業), 神丸慎二(富士重工業), 下澤知巳(富士重工業), 二見寿美江(富士テクノサービス), 影山邦衛(ボランティア), 神野研一(ボランティア), 鈴木健(ボランティア), 戸田宗敬(ボランティア), 宮坂宏(ボランティア), 望月広光(ボランティア), 若松和夫(ボランティア), 石坂孝史(本田技術研究所), 伊藤淳(本田技術研究所), 海藤広峻(本田技術研究所), 田邊和也(本田技術研究所), 馬場雅之(本田技術研究所), 岡本拓之(マツダ), 菊地敏博(マツダ), 鈴木健二(マツダ), 鈴木弘道(三菱自動車工業), 近本敏行(三菱自動車工業), 石田幸大(ヤマハ発動機), 上野亮(ヤマハ発動機), 永山啓樹(日産アーク), 西内徹(カルソニックカンセイ)

〈動的審査〉

★中澤広高(本田技術研究所), 遠藤祐介(アイシン精機), 小俣秀太郎(アイシン精機), 村田晃宏(アイシン精機), 藤本真太郎(オートテックジャパン), 日出間仁(オートテックジャパン), 和泉恭平(川崎重工業), 中島健志(川崎重工業), 齊藤宏樹(ジャスコ), 杉田尚隆(ジャスコ), 関屋英行(ジャスコエンジニアリング), 高木裕康(スズキ), LUUTHIEN XUAN(スズキ), 相羽岳志(ZEST), 秋山慎也(ZEST), 伊藤昭雄(ZEST), 今井康博(ZEST), 小木曾浩之(ZEST), 織田慎一(ZEST), 勝野嘉文(ZEST), 後藤好秀(ZEST), 鶴田康仁(ZEST), 深谷公男(ZEST), 増田好洋(ZEST), 南敏彰(ZEST), 渡辺稔夫(ZEST), 畑内慎也(ダイハツ工業), 藁輪信悟(ダイハツ工業), 棟野晃斗(ダイハツ工業), 渡邊尚亮(ダイハツ工業), 茨木浩二(デンソー), 鈴木健太(デンソー), 西山雅人(デンソー), 菱本祐太郎(東洋ゴム工業), 石津克範(トヨタ自動車), 小川泰明(トヨタ自動車), 小原和晃(トヨタ自動車), 加藤慎也(トヨタ自動車), 木村洋介(トヨタ自動車), 近藤一喜(トヨタ自動車), 土谷真基(トヨタ自動車), 長崎和仁(トヨタ自動車), 原田康弘(トヨタ自動車), 松浦亘(トヨタ自動車), 水野智之(トヨタ自動車), 宮本達男(トヨタ自動車), 湯山卓矢(トヨタ自動車), 小山田亮(トヨタ自動車), 寺島巧(トヨタ自動車), 寺島巧(トヨタ自動車), 男成智仁(トヨタ車体), 井上景介(日産自動車), 日吉颯舞(日産自動車), 本田靖英(日産自動車), 米川誠一(日産自動車), 小倉達矢(日産車体), 吉崎隼平(日産車体), 佐川光康(日信工業), 小野靖治(日野自動車), 古屋翔平(日野自動車), 位田晴良(福井工業大学), 千葉弘太(富士重工業), 三木樹(富士重工業), 綿貫賢二(富士重工業), 田島史彦(プレス工業), ナナスタジアム(本田技研工業), 山本晃大(本田技研工業), 鐘ヶ江優(本田技術研究所), 高見祐貴(本田技術研究所), 永椎光(本田技術研究所), 深澤慶(本田技術研究所), 三橋晃子(本田技術研究所), 加久信孝(ホンダテクノフォート), 清水健太(ホンダテクノフォート), 葛原遥(マツダ), 瓦井寛人(マツダ), 津田頭(マツダ), 土屋勝紀(マツダ), 河合優輝(三菱自動車工業), 田邊亘(三菱自動車工業), 前川弘孝(三菱自動車工業), 青柳謙二(ヤマハ発動機), 大西誠吾(ヤマハ発動機), 小林興次(ヤマハ発動機), 西城雄二(ヤマハ発動機), 中村公昭(ヤマハ発動機), 小倉直也(ヨロズ), 西山壘(ヨロズ), 谷本隆一(愛知工業大学)

〈EV〉

★玉正忠嗣(日産自動車), 笹井健史(小松製作所), 白井和成(デンソー), 中村錠治(デンソー), 山内晋(日立製作所), 堀越孝一郎(カルソニックカンセイ), 川元康裕(小松製作所), 茅野浩之(小松製作所), 桜木拓也(ダイキン工業), 柳田靖人(ダイキン工業), 真貝浩一(トヨタ自動車), 大庭秀洋(トヨタ自動車), 遠藤睦也(日産自動車), 前田昭一(日産自動車), 山上滋春(日産自動車), 鴨野亜王(富士重工業), 竹内大和(富士重工業), 松崎通範(ボランティア), 梶澤明(本田技術研究所), 西田篤史(本田技術研究所), 宮村智也(本田技術研究所), 坂上翔(マツダ), 種田良司(三菱自動車工業), 堀居直幸(三菱自動車工業), 狩野芳郎(神奈川工科大学), 中村雅憲(中部大学)

★はイベントキャプテン

■ 大会実行組織

◎松本保志(トヨタ自動車), アレクサンダーニーマー(アイシン精機), 安齋恵(アイシン精機), 勇洋佑(アイシン精機), 市原一輝(アイシン精機), 内野岳人(アイシン精機), 神原朋子(アイシン精機), 鈴木義一(アイシン精機), 永井祐希(アイシン精機), 中村光孝(アイシン精機), 長谷川雅彦(アイシン精機), 湊博志(アイシン精機), 森雅斗(アイシン精機), 板橋佑介(いすゞ自動車), 後藤信一(いすゞ自動車), 清秀敏(いすゞ自動車), 山本遼太(いすゞ中央研究所), 石井樹(スズキ), 大橋武彦(スズキ), 岡秀樹(スズキ), 北山周(スズキ), 栗原洋平(スズキ), 小宮山大地(スズキ), 澤田徹(スズキ), 杉本尚輝(スズキ), 中島章哉(スズキ), 西岡剛志(スズキ), 野田智哉(スズキ), 平城真太郎(スズキ), 松本知之(スズキ), 末家豊(スズキ), 湯原聡(ダイハツ工業), 阿部翔太(dSPACE Japan), 浅井知美(デンソー), YAERIN KWON(デンソー), 片山政彦(デンソー), 加藤なおみ(デンソー), 辻史央(デンソー), 森香織(デンソー), 柳田悦豪(デンソー), 山本隆(デンソー), 吉田和弘(デンソー), 生原尚季(トヨタ自動車), 小野泰志(トヨタ自動車), 古賀諒摩(トヨタ自動車), 佐々木敬規(トヨタ自動車), 橋本優(トヨタ自動車), 福岡孝和(トヨタ自動車), 宮野公美子(トヨタ自動車), 谷地中宏基(トヨタ自動車), 山岸康一(トヨタ自動車), 江上真弘(日産自動車), 加藤雅大(日産自動車), 後藤進之介(日産自動車), 酒井雄輝志(日産自動車), 高山隆一(日産自動車), 中島暁音(日産自動車), 増田隆彦(日産自動車), 今村勝(日本発条), 太田雅貴(富士重工業), 平尾繁美(富士テクノサービス), 石川智啓(ボランティア), 齋藤拓也(ボランティア), 高井喜一郎(ボランティア), ハーガス グラント(ボランティア), 中村博(ボランティア), 松浦麻理子(ボランティア), 水野貴大(ボランティア), 向角岳彦(ボランティア), 野中秀次郎(本田技研工業), 前原洋一(本田技研工業), 尾神典昭(本田技研工業), 加世山秀樹(本田技研工業), 関田好司(本田技研工業), 庄司智和(本田技研工業), 西川諒(本田技研工業), 朝倉優(本田技術研究所), 飯村秀士(本田技術研究所), 岸孝洋(本田技術研究所), 小林正朋(本田技術研究所), 坂井碧海(本田技術研究所), 白畑太樹(本田技術研究所), 増淵義則(本田技術研究所), 松本拓也(本田技術研究所), 竹國友裕(マツダ), 亀井宏貴(三菱自動車工業), 小竹良樹(三菱自動車工業), 松浦拓弥(三菱自動車工業), Loo Weng Leong(三菱自動車工業), 松永和也(ヤマハ発動機), 石飛貴大(ヤマハ発動機), 伊藤潔(ヤマハ発動機), 遠藤晃慶(ヤマハ発動機), リーザンホン(ヤマハ発動機), 田中慎也(神奈川工科大学), 西山亮佑(神奈川工科大学), 本田康裕(国士舘大学), 福田充宏(静岡大学), 岡部顕史(日本大学), 松澤卓(横浜国立大学), 土屋高志(静岡理科大学)

◎は実行委員長

(2016年7月20日現在)

大会ヒストリー

History of Competition

大会開催の経緯

1997年4月、自動車技術会関東支部の学生自動車研究会に「Challenge! Formula SAE®」プロジェクトが発足し、1998年4月に5大学1高専の合同チームによる「Challenge! NIPPON」チームが発足した。ルール規定の610cc以下のエンジンにするため660ccの軽自動車エンジンをストロークダウンすることにより、大会に臨んだ。排気量608cc、車両重量360kg、FRP製フルカウルで2000年5月の※1 Formula SAE®へアジアから初参戦し、参加104チーム中28位の成績で新人賞を受賞した。

これ以降、2001年に、国士舘大学・上智大学・日本大学による合同チーム、神奈川工科大学の単独チームが参戦し、参加125チーム中合同チーム91位、神奈川工科大学92位だった。

2002年は単独校3チームが参戦し、参加125チーム中、国士舘大学74位、神奈川工科大学77位、上智大学86位だった。

国内では、日本大会開催に向けたトライアルイベントが、2001年9月23・24日にツインリンクもてぎで開催された。

2003年3月10・11日、ツインリンクもてぎにて関東支部主催の試走会が開催され8チームの参加と見学参加に訪れた大学を含め24大学、総勢約400名による盛大なものとなった。この他にも、同年8月2、3日に中部支部と関西支部を主体とした試走会がアイシン精機藤岡テストコースで開催された。

そして、2003年9月、「第1回 全日本 学生フォーミュラ大会」が開催され、今年で第14回大会を迎えることとなった。



2000年合同チームの車両



2001年トライアルイベント

※1 Formula SAE®

Formula SAE® は1981年から『ものづくりによる実践的な学生教育プログラム』としてアメリカでスタートしました。学生のみで組織されたチームが、約1年間でフォーミュラスタイルのレーシングマシンを製作し、その設計・製作能力、製作したマシンの性能を競う総合競技です。第1回大会では僅か6チームで開催されましたが、現在、Formula SAE シリーズとして世界8カ国で11大会が開催されています。日本も2012年にシリーズへ加入し、2013年より正式にシリーズ大会として位置づけられます。

大会実績表

	参加チーム数 参加者数	優勝	第2位	第3位	
第1回大会 2003/9/10-12 富士スピードウェイ	17 約1,200名	上智大学	国士舘大学	東京大学	☆産学官、メディアなど各方面から賛辞をいただき、今後の発展を大いに期待される ☆NHK「おはよう日本」で会場から生中継 ☆FISITA (国際自動車技術会連盟) が後援になり、FISITA賞を設定
第2回大会 2004/8/30-9/2 ツインリンクもてぎ	28 (うち海外3) 約1,500名	University of Texas at Arlington	神奈川工科 大学	国士舘大学	☆経済産業大臣賞が設定される。大会プログラムに文部科学省メッセージを掲載 ☆海外チーム3校(米、英、韓)の受け入れに成功し、今後の国際化への基礎固めができた
第3回大会 2005/9/6-9 富士スピードウェイ	41 (うち海外1) 約1,800名	金沢大学	神奈川工科 大学	国士舘大学	☆参加チームの急増(四国、九州から初参加) ☆読売新聞が大会の様子を1面で紹介
第4回大会 2006/9/13-16 エコパ	50 (うち海外4) 約2,000名	上智大学	名古屋大学	University of Michigan-Ann Arbor	☆静岡県知事賞が設定される ☆第1回 FISITA Formula SAE World Cupをエコパで開催 (学生フォーミュラ初の国際大会)
第5回大会 2007/9/12-15 エコパ	59 (うち海外4) 約3,000名	上智大学	国士舘大学	金沢大学	☆上智大学2連覇 ☆北海道、東北から初参加 ☆参加者の急増(地元向け企画、物産展設置) ☆上智大学 副賞(レノボ賞)として北京オリンピック長野聖火リレーを走る
第6回大会 2008/9/10-13 エコパ	77 (うち海外15) 約3,000名	上智大学	東京大学	金沢大学	☆国土交通大臣賞が設定される ☆上智大学3連覇(オーストラリア大会でも3位入賞) ☆海外参加チームの急増(インド、イラン、スリランカ、タイ、中国から初参加) ☆事前提出書類による書類選考を実施(本大会参加66チーム)
第7回大会 2009/9/9-12 エコパ	80 (うち海外12) 約3,205名	東京大学	上智大学	横浜国立大学	☆東京大学初優勝 ☆専門学校チームの増加(6チームのうち初参加3チーム) ☆フォーミュラEV(電気自動車)デモ走行
第8回大会 2010/9/7-11 エコパ	85 (うち海外10) 約3,169名	大阪大学	上智大学	横浜国立大学	☆本大会参加出場枠を75チームまで拡大 ☆シェークダウン証明書提出を義務化 ☆フォーミュラEV(電気自動車)デモ走行、模擬車検実施
第9回大会 2011/9/5-9 エコパ	87 (うち海外14) のべ約9,593	上智大学	横浜国立大学	大阪大学	☆掛川市、袋井市が後援となる ☆2011全日本 学生フォーミュラEVデモ大会併催 (模擬車検、静的模擬審査、動的デモ走行実施)
第10回大会 2012/9/3-7 エコパ	82 (うち海外13) のべ約10,222名	京都工芸 繊維大学	大阪大学	同志社大学	☆京都工芸繊維大学初優勝。上位3チームを関西勢が占める ☆2012全日本 学生フォーミュラEVプレ大会開催 ☆静岡県主催イベント「まるごと しずおか」併催
第11回大会 2013/9/3-7 エコパ	86 (うち海外12) のべ約12,871名	京都大学	大阪大学	同志社大学	☆京都大学初優勝 ☆EVクラス設定(EV本大会開催) ☆土曜日開催(エンデュランスファイナル、公開プレゼン実施)
第12回大会 2014/9/2-6 エコパ	96 (うち海外21) のべ約14,564名	名古屋大学	京都大学	同志社大学	☆名古屋大学初優勝 ☆大会の発展に寄与された元スタッフに運営功績感謝状を贈呈
第13回大会 2015/9/1-5 エコパ	90 (うち海外15) のべ約15,193名	Graz University of Technology	京都工芸 繊維大学	名古屋工業 大学	☆11年ぶりの海外チーム優勝 ☆エコパスタジアムをピットとして活用

第13回 全日本 学生フォーミュラ大会成績

2015 Student Formula Japan Report

■ 総合成績

- 1位 Graz University of Technology
- 2位 京都工芸繊維大学
- 3位 名古屋工業大学
- 4位 同志社大学
- 5位 大阪大学
- 6位 日本自動車大学校
- 7位 豊橋技術科学大学
- 8位 九州工業大学
- 9位 日本工業大学
- 10位 King Mongkut's University of Technology Thonburi

- 11位 成蹊大学
- 12位 名城大学
- 13位 Tongji University
- 14位 トヨタ名古屋自動車大学校
- 15位 大阪工業大学
- 16位 横浜国立大学
- 17位 静岡理科大学
- 18位 東京農工大学
- 19位 金沢工業大学
- 20位 名古屋大学
- 21位 京都市大学
- 22位 芝浦工業大学
- 23位 京都大学
- 24位 愛知工業大学
- 25位 東京理科大学
- 26位 工学院大学
- 27位 千葉大学
- 28位 ものつくり大学
- 29位 Universitas Negeri Yogyakarta
- 30位 岡山大学
- 31位 宇都宮大学
- 32位 Korea Tech
- 33位 東海大学
- 34位 新潟大学
- 35位 大阪産業大学
- 36位 神戸大学
- 37位 広島大学
- 38位 久留米工業大学
- 39位 摂南大学
- 40位 Siam University
- 41位 岐阜大学
- 42位 静岡大学
- 43位 岡山理科大学
- 44位 福井大学
- 45位 大阪市立大学
- 46位 山梨大学
- 47位 静岡理科大学 EV
- 48位 山口東京理科大学
- 49位 Institut Teknologi Sepuluh Nopember Surabaya

- 50位 立命館大学
- 51位 金沢大学
- 52位 崇城大学
- 53位 Kasetsart University
- 54位 上智大学
- 55位 Liaoning University of Technology
- 56位 日本大学理工学部
- 57位 静岡理工科自動車大学校
- 58位 早稲田大学
- 59位 ホンダテクニカルカレッジ 関西
- 60位 トヨタ名古屋自動車大学校 EV
- 61位 北海道大学
- 62位 ホンダテクニカルカレッジ 関東
- 63位 近畿大学
- 64位 慶應義塾大学
- 65位 東北大学 EV
- 66位 鳥取大学
- 67位 広島工業大学
- 68位 北九州市立大学
- 69位 麻生理工科自動車大学校
- 70位 新潟理科大学 EV
- 71位 国士館大学
- 72位 青山学院大学
- 73位 富山大学
- 74位 埼玉工業大学
- 75位 Tongji University EV
- 76位 Taipei Tech
- 77位 千葉工業大学
- 78位 日本大学 生産工学部
- 79位 一関工業高等専門学校 / 岩手大学 / 岩手県立大学 EV
- 80位 九州工業大学 EV

- 81位 東京大学
- 82位 茨城大学
- 83位 山口大学
- 84位 Chulalongkorn University EV
- 85位 神奈川大学 EV
- 86位 明星大学

■ 総合表彰

● 経済産業大臣賞

動的審査・静的審査の総合優勝
Graz University of Technology

● 国土交通大臣賞

安全技術・環境技術・新技術の総合優勝
名古屋工業大学

● 静岡県知事賞

静的審査・加速性能・スキッドパッド、オートクロス、騒音、効率、安全、軽量化努力の評定の得点1位のチーム
京都工芸繊維大学

● 日本自動車工業会 会長賞

完走奨励賞：全ての静的審査・動的審査に参加し、完遂・完走している全てのチーム
(Car#順)

※事前提出書類の遅延及びエンデュランス走行後のペナルティを受けていないチーム

豊橋技術科学大学、京都工芸繊維大学、名古屋工業大学、日本自動車大学校、King Mongkut's University of Technology Thonburi、Tongji University、日本工業大学、静岡理科大学、名城大学、九州工業大学、成蹊大学、大阪工業大学、広島大学、トヨタ名古屋自動車大学校、ものつくり大学

以上 15校

■ 種目別表彰

● ICV 総合優秀賞 ICV 全審査総合得点 1-6位

- 1位 Graz University of Technology
- 2位 京都工芸繊維大学
- 3位 名古屋工業大学
- 4位 同志社大学
- 5位 大阪大学
- 6位 日本自動車大学校

● EV 総合優秀賞 EV 全審査総合得点 1位

- 1位 静岡理科大学 EV

● 静的審査 / コスト賞

- 1位 同志社大学
- 2位 京都工芸繊維大学
- 3位 大阪大学

● 静的審査 / デザイン賞

- 1位 Graz University of Technology
- 2位 京都大学
- 3位 大阪大学

● 静的審査 / プレゼンテーション賞

- 1位 同志社大学
- 2位 金沢大学
- 3位 Graz University of Technology

● 動的審査 / 加速性能賞

- 1位 Graz University of Technology
- 2位 日本自動車大学校
- 3位 Liaoning University of Technology

● 動的審査 / スキッドパッド賞

- 1位 Graz University of Technology
- 2位 京都工芸繊維大学
- 3位 京都大学

● 動的審査 / オートクロス審査

※悪天候により競技中止となり、本賞は中止。

● 動的審査 / 耐久走行賞

- 1位 Graz University of Technology
- 2位 名古屋工業大学
- 3位 豊橋技術科学大学

● 動的審査 / 省エネ賞

- 1位 日本工業大学
- 2位 名古屋工業大学
- 3位 Graz University of Technology

■ 特別賞

● ルーキー賞

日本大会初参加チームの全審査総合得点 1位
ICV1位 Graz University of Technology
EV1位 Tongji University EV

● CAE 特別賞

CAE 技術を効果的に活用している 1-3位
1位 Graz University of Technology
2位 京都大学
3位 工学院大学

● 最軽量化賞

エンデュランスを除く全ての審査に参加したチーム中で、最軽量車両のチーム
ICV1位 Graz University of Technology
ICV2位 京都工芸繊維大学
ICV3位 名古屋工業大学
EV1位 東北大学 EV

● ベスト・サスペンション賞

サスペンション性能評価が高いチーム 1-3位
1位 Graz University of Technology
2位 京都大学
3位 名古屋大学

● ジャンプアップ賞

全ての審査に参加した中で、前回大会比で最もポイントを増やしたチーム 1-3位
1位 トヨタ名古屋自動車大学校
2位 大阪工業大学
3位 成蹊大学

● EV オートクロス賞

※悪天候により競技中止となり、本賞は中止。

● スポーツマンシップ賞

スポーツマンシップの評価が高い3チーム
ものつくり大学
Liaoning University of Technology
Korea Tech

● ベスト三面図賞

設計行為の集大成である「図面」を通じて審査員に最も多くの情報を正確に伝えたチーム
京都大学

● ベストエアロ賞

オートクロスまでを完走したチームの中で、レーシングカーとしてもっとも効果的な空力解析および熱流体解析を行い、実践したチーム
京都大学

● ベストラップ賞

エンデュランスのラップタイムが最も速いチーム
1位 Graz University of Technology
2位 名古屋大学
3位 豊橋技術科学大学

● ベストEVシステム賞

EVクラスの中で動的ポイントの最も高いチーム
トヨタ名古屋自動車大学校 EV

参加チーム【車両スペック】

Team Information (Vehicle Specifications)

Car No	学校名 School Name	ボデーカラー Color s	フレーム構造 Frame	ボデー (材) Body-work	サスペンション ①フロント ②リア Suspension ①Front ②Rear	①全長 ②全高 ③ホイールベース ④フロントトレッド ⑤リアトレッド ① Overall Length ② Overall Height ③ Wheelbase ④ Front Track ⑤ Rear Track	①車両質量 (GVM) ②前後重量配分 ③最低地上高 ① Gross Vehicle Mass ② Fr.Rr Weight Dist. ③ Ground Clearance
1	TU Graz						
2	京都工芸繊維大学 Kyoto Institute of Technology	Ocean Blue	Steel spaceframe	Fiber-Glass	① Double unequal length A-arm push rod ② Double unequal length A-arm push rod	① 3160 mm ② 1200 mm ③ 1750 mm ④ 1180 mm ⑤ 1180 mm	① 200 kg ② 45 : 55 ③ 40 mm
3	名古屋工業大学 Nagoya Institute of Technology	Blue	steel spaceframe	Fiber-glass	① Double unequal length A-arm Push rod ② Double unequal length A-arm Push rod	① 2998 mm ② 1190 mm ③ 1530 mm ④ 1200 mm ⑤ 1200 mm	① 180 kg ② 45 : 55 ③ 29 mm
4	同志社大学 Doshisha University	Bule/ White/ Doshisha Purple	steel spaceframe	GFRP	① Double unequal length A-arm Pull rod ② Double unequal length A-arm Push rod	① 2815 mm ② 1135 mm ③ 1590 mm ④ 1250 mm ⑤ 1250 mm	① 250 kg ② 47 : 53 ③ 30 mm
5	大阪大学 Osaka Unievrstiy	Black with Limegreen line	steel spaceframe	GFRP	① Double unequal length A-arm Pull rod ② Double unequal length A-arm Push rod	① 3000 mm ② 1190 mm ③ 1620 mm ④ 1225 mm ⑤ 1175 mm	① 220 Kg ② 49 : 51 ③ 35 mm
6	日本自動車大学校 Nihon Automobile College	White	Steel spaceframe	GFRP	① Double unequal length A-Arm Push rod ② Double unequal length A-Arm Push rod	① 3063 mm ② 1145 mm ③ 1650 mm ④ 1200 mm ⑤ 1200 mm	① 260 kg ② 48 : 52 ③ 40 mm
7	豊橋技術科学大学 Toyohashi University of Technology	Carbon Black	CFRP Monocoque and spaceframe	CFRP	① Double unequal length A-arm Push rod ② Double unequal length A-arm Push rod	① 3005 mm ② 1160 mm ③ 1800 mm ④ 1200 mm ⑤ 1200 mm	① 215 kg ② 45 : 55 ③ 30 mm
8	九州工業大学 Kyushu Institute of Technology	Red	steel spaceframe	GFRP	① Double unequal length A-arm Push rod ② Double unequal length A-arm Push rod	① 2722 mm ② 1178 mm ③ 1700 mm ④ 1200 mm ⑤ 1200 mm	① 217 kg ② 45 : 55 ③ 45 mm
9	日本工業大学 Nippon Institute of Technology	Pink	Steel Spaceframe	CFRP	① Double unequal length A-arm Pull rod ② Double unequal length A-arm Pull rod	① 2770 mm ② 1262 mm ③ 1540 mm ④ 1250 mm ⑤ 1250 mm	① 215 kg ② 51 : 49 ③ 35 mm
10	King Mongkut's University of Technology Thonburi	black & blue	Steel spaceframe	Carbon fiber by using prepreg and auto clave process	① Double unequal length A-arm Pull rod ② Double unequal length A-arm Push rod	① 2847.2 mm ② 1192.5 mm ③ 1550 mm ④ 1260 mm ⑤ 1190 mm	① 220 kg ② 45.7 : 54.3 ③ 32.8 mm
11	成蹊大学 Seikei Univarcity	black	steel spacefram	Fiber-glass	① Double unequal length A-arm Push rod ② Double unequal length A-arm Push rod	① 2707 mm ② 1164 mm ③ 1630 mm ④ 1230 mm ⑤ 1230 mm	① 305 kg ② 50 : 50 ③ 30 mm
12	名城大学 Meijo University	Tricolore	steel spaceframe	Fiber-glass	① Double unequal length A-arm Push rod ② Double unequal length A-arm Push rod	① 3007 mm ② 1195 mm ③ 1600 mm ④ 1250 mm ⑤ 1250 mm	① 200 kg ② 48 : 52 ③ 50 mm
13	Tongji University	black, red & white	steal spaceframe	Carbon-fieber	① Double unequal length A-Arm Push rod ② Double unequal length A-Arm Push rod	① 2947.8 mm ② 1232.9 mm ③ 1550 mm ④ 1200 mm ⑤ 1174 mm	① 203.83 kg ② 47.2 : 52.8 ③ 28 mm
14	トヨタ名古屋自動車大学校 Toyota Technical Collage Nagoya	Blue, White, Red	steel spaceframe	FRP	① Double unequal length A-arm Pull rod ② Double unequal length A-arm Pull rod	① 2965 mm ② 1217 mm ③ 1655 mm ④ 1310 mm ⑤ 1240 mm	① 253 kg ② 45 : 55 ③ 35 mm
15	大阪工業大学 Osaka Institute of Technology	yellow white black	steel spaceframe	CFRP	① Double unequal length A-arm Pull rod ② Double unequal length A-arm Push rod	① 3011 mm ② 1188 mm ③ 1550 mm ④ 1212 mm ⑤ 1212 mm	① 260 kg ② 51 : 49 ③ 50 mm
16	横浜国立大学 Yokohama National University	wine red & black	steel spaceframe	Fiber-glass	① Double unequal length A-arm Push rod ② Double unequal length A-arm Push rod	① 2700 mm ② 1210 mm ③ 1700 mm ④ 1270 mm ⑤ 1270 mm	① 220 kg ② 46 : 54 ③ 40 mm
17	静岡理工科大学 Shizuoka Institute of Science and Technology	leyton blue	steel spaceframe	CFRP	① Double Wish born A-arm Push rod ② Double unequal length A-arm Push rod	① 2643 mm ② 1054 mm ③ 1650 mm ④ 1200 mm ⑤ 1200 mm	① 200 kg ② 49 : 51 ③ 40 mm
18	東京農工大学 Tokyo University Agriculture and Technology	Black & Blue	Steel spaceframe	GFRP	① Double unequal length A-arm Push rod ② Double unequal length A-arm Push rod	① 2900 mm ② 1140 mm ③ 1750 mm ④ 1200 mm ⑤ 1200 mm	① 220 kg ② 50 : 50 ③ 30 mm
19	金沢工業大学 Kanazawa Institute of Technology	Red/White	Steel Spaceframe	Fiber-carbon	① Aluminum Alloy Double Unequal Length A-arm Pull Rod ② Aluminum Alloy Double Unequal Length A-arm Push Rod	① 3079 mm ② 1218 mm ③ 1550 mm ④ 1200 mm ⑤ 1200 mm	① 236 kg ② 45 : 55 ③ 30 mm
20	名古屋大学 NagoyaUniversity	Pearl White	steel spaceframe	CFRP	① Double wishbone, pushrod on upright ② Double wishbone, pushrod on upright	① 2918 mm ② 1167 mm ③ 1625 mm ④ 1250 mm ⑤ 1210 mm	① 240 kg ② 46 : 54 ③ 35 mm

ホイール & タイヤ Wheels & Tires	①エンジン型式 ②排気量 ③最高出力 ④最大トルク ①Engine ②Displacement ③max. power ④max.torque	吸気タイプ 燃料タンク容量 Induction type Fuel tank Volume	変速機、シフト Shifter	ファイナルドライブ&デフ Final Drive & Differential	ブレーキ ①フロント ②リア Brakes ① Front ② Rear	特徴、その他 Unique Features & Notes
10 inch Hoosier18.0 × 6.0-10	① SUZUKI LT-R450 K6 L404 bore-up ② 474 cc ③ 42.51 kW/9300 rpm ④ 5.3 Nm/6100 rpm	Naturally aspirated 3.2 L	Manual	Chain drive LSD	① 2 outboard ② 2 outboard Nissin calipers	Single piece machined rear bulkhead
10 inch KEIZER WHEEL Fr 18.0 × 7.0-10 Rr 18.0 × 7.0-10R25B Hoosier	① YAMAHA WR450F J332E ② 449 cc ③ 41 PS/8500 rpm ④ 3.8 kgf/7500 rpm	Naturally aspirated 3.2 L	Manual	Chain drive & F.C.C Track	① 2 outboard ② 2 outboard Wilwood calipers	Hi down force and Light weight vehicle
13 inch O.Z Racing 20.0-7.5-13 Hoosier R25B	① Kawasaki ZX600R-E40 ② 599 cc ③ 78 ps/9500 rpm ④ 5.7 kgf/8200 rpm	Naturally aspirated 4.1 L	Manual	Chain Drive LSD	① 2 outboard ② 2 outboard Nissin calipers	
10 × 7.0 Keizer18.0 × 7.5-10 R25B Hoosier	① ZX600R9F Kawasaki ZX-6R ② 599 cc ③ 91 ps/12000 rpm ④ 6.5 kgf/9000 rpm	Naturally aspirated 5.0 L	Semi-automatic	Drexler	① Outboard 4 Pot Nissin calipers ② Outboard 2 Pot Wilwood calipers	Paddle shift, Pneumatic shifter, Automatic clutch control, Traction control, Launch control
13 inch TWS20.5 × 7.0-13Hoosier	① PC40E HONDA CBR600RR ② 599 cc ③ 78.6 ps/9415 rpm ④ 5.6 kgf/9155 rpm	Naturally aspirated 4.2 L	Electric Shifter	Chain Drive & Drexler Motorsport LSD	① 2 outboard ② 2 outboard Wilwood calipers	Long Wheelbase and Safety
13 inch RAYS TE37 R25B 20.5 × 7.0-13 Hoosier Bias	① PC40E HONDA CBR600RR ② 599 cc ③ 70 ps/11000 rpm ④ 5.3 kgf/9500 rpm	Naturally aspirated 5.2 L	Manual	Chain Drive SURETRAC limited slip differential	① 2 outboard ② 2 outboard Brembo calipers	Carbon fiber monocoque
13 inch RS Watanabe Hoosier 20.5/7.0-13 R25B	① Kawasaki ZX600PE ② 599 cc ③ 70 ps/11000 rpm ④ 5.3 kgf/9000 rpm	Naturally aspirated 5.0 L	Manual	Chain Drive & FCC TRAC	① 2 outboard Brembo calipers	Original steering rack
13 inch Rays TE37 & 20.5 × 7.0-13 Hoosier	① PC44E HONDA CB500F ② 471 cc ③ 35 kW/8500 rpm ④ 43 Nm/7000 rpm	Naturally aspirated 3.0 L	Manual	Chain Drive F.C.C TRAC	Brakes ① 2 outboard ② 2 outboard calipers	Parallel Twin
Front wheel : 10 inch Radius, 8 inch wide, 1 pc Al Rim with 1 pc spoke Al, 25 mm positive off set. Rear wheel : 10 inch Radius, 8 inch wide, 1pc Al Rim, 25 mm negative offset and Tires Hoosier 18.0 × 7.5-10, R25B in all wheel	① 2012 Yamaha YZF-R6 ② 599 cc ③ 43.5 kW/10000 rpm ④ 54.5 Nm/6500 rpm	Naturally aspirated 3.5 L	Manual and Pnumatic shifter	Final drive ratio 2.928 : 1 with limited slip differential	① Brembo Rear CNC caliper P4 24 with Tilton 77 as a master cylinder ② Brembo Rear CNC caliper P2 24 with Tilton 77 as a master cylinder	Variable Intake System and real-time video streaming with student designed Telemetry
13 inch Watanabe Mg20.5/7.0-13Hoosier	① PC40EHONDA CBR600RR ② 600 cc ③ 80 ps/10000 rpm ④ 5.8 kgf/8000 rpm	Naturally aspirated 6 L	Manual	Chain Drive F.C.C.TRAC LSD	① 2 outboard ② 2 outboard Nissin calipers	shallow oil pan suitable drivability
10 inch Douglas wheel 6.0/18.0-10 Hoosier	① YAMAHA WR450FW J332E ② 450 cc ③ 29.1 kw/8000 rpm ④ 37.7 Nm7000 rpm	Naturally aspirated 3.8 L	Sequential Manual	Chain DriveLSD	① 2 outboard Nissin calipers ② 2 outboard Nissin calipers	Aero device
10 × 7 inch, offset 1.5 inch, cast aluminum18 × 6.0-10 LC0 Hoosier	① Suzuki GSX-R600 ② 599 cc ③ 55 kw/12000 rpm ④ 49 Nm/7500 rpm	Naturally Aspirated 4.85 L	pneumatic paddle shifting	Chain driveCUSCO LSD Differential	① Floating disk ② Floating disk	Full set of aerodynamic package Launch Control Carbon fiber A-arms & pull rod
Wheels : RS Watanabe 13-6.5 J + 14.5Tires : Goodyear EAGLE RS20 × 7.0 J-13	① 13ST YAMAHA YZF-R6 ② 599 cc ③ 70 ps/11500 rpm ④ 5.4 kgf/8000 rpm	Naturally aspirated 6.0 L	Manual	Chain DriveFCC LSD	① 4 outboard Advics calipers ② 2 outboard Nissin calipers	Torsion Bar Spring, Un-unite Suspension
13 inch OZ-Racing20.5 × 7.0-13Hoosier R25B	① 2012 SUZUKI GSX-R600 ② 599 cc ③ 70 ps/10500 rpm ④ 5.3 kgf/8000 rpm	Naturally aspirated 4.5 L	Pneumatic Shifter	Chain DriveF.C.C TRAC	① 2 outboard ② 2 outboard Nissin calipers	Front&Rear Wing
10 inch BRAID STURACE 10 18.0 × 7.5-10 Hoosier R25B	① PC40E HONDA CBR600RR ② 599 cc ③ 66 ps/9000 rpm ④ 5.4 kgf/8800 rpm	Naturally aspirated 4.5 L	Manual Electric Shifter	Shaft & bevel gear drive Cam type LSD	① 2 outboard ② 2 outboard Nissin calipers	Unique design final drive unit, Aero Device
10 inch Keiser F : 6.0/18.0-10 R : 7.0/18.0-10Hoosier	① SUZUKI LT-R450 ② 450 cc ③ 40 ps/7500 rpm ④ 3.8 kgf/6000 rpm	Turbo Charger 5 L	Manual	Chain Drive LSD	① 2 outboard ② 2 outboard	MR Damper
13 inch RAYS TE37 20.5 × 7.3-13 Hoosier Bias	① PC40E HONDA CBR600RR ② 599 cc ③ 78 ps/12000 rpm ④ 5.8 kgf/8000 rpm	Naturally aspirated 5.8 L	Electric semi automatic shifter	Chain Drive F.C.C TRAC	① 2 outboard ② 2 outboard Nissin calipers	Intake manifold shaped by 3D printer
13 inch TWS Mg Wheel 20.5 × 7.0-13 R25B Hoosier	① N735 SUZUKI GSX-R600 K9 ② 599 cc ③ 80 ps/8400 rpm ④ 7.0 kgf/6900 rpm	Naturally aspirated 5 L	Electric Servo Shifter/Manual	Chain Drive F.C.C. TRAC LSD	① 2 outboard ② 2 outboard Nissin calipers	Twin radiator, Third damper
13 inch O.Z Racing 20.5/510 20.5-7.0-13 Hoosier	① PC40E HONDA CBR600RR ② 599 cc ③ 82ps/11000 rpm ④ 5.6 kgf/9700 rpm	Naturally aspirated 5.1 L	Sequential Manual	Chain DriveCarbon LSD (ATS)	① 2 outboard ② 2 outboard Nissin calipers	High Stiffness Chassis by Honeycomb Sandwich Panels, Traction Control, Aero device

参加チーム【車両スペック】

Team Information (Vehicle Specifications)

Car No	学校名 School Name	ボデーカラー Color s	フレーム構造 Frame	ボデー (材) Body-work	サスペンション ①フロント ②リア Suspension ①Front ②Rear	①全長 ②全高 ③ホイールベース ④フロントトレッド ⑤リアトレッド ① Overall Length ② Overall Height ③ Wheelbase ④ Front Track ⑤ Rear Track	①車両質量 (GVM) ②前後重量配分 ③最低地上高 ① Gross Vehicle Mass ② Fr.Rr Weight Dist. ③ Ground Clearance
21	東京都市大学 Tokyo City University	black & blue	steel spaceframe	GFRP	① Double unequal length A-arm Pull rod ② Double unequal length A-arm Push rod	① 3050 mm ② 1170 mm ③ 1600 mm ④ 1200 mm ⑤ 1200 mm	① 270 kg ② 45 : 55 ③ 25 mm
22	芝浦工業大学 Shibaura Institute of Technology	Yellow	Steel spaceframe	Fiber-glass	① Double unequal length A-arm Push rod ② Double unequal length A-arm Push rod	① 2595 mm ② 1200 mm ③ 1620 mm ④ 1200 mm ⑤ 1200 mm	① 220 kg (Without Driver) ② 47 : 53 ③ 30 mm
23	京都大学 Kyoto University	black, white & navy	aluminum spaceframe	CFRP	① Double unequal length A-arm Push rod ② Upper locking arm and lower A-arm	① 3070 mm ② 1110 mm ③ 1700 mm ④ 1330 mm ⑤ 1330 mm	① 180 kg ② 43 : 57 ③ 10 mm
24	愛知工業大学 Aichi Institute of Technology	Black	Steel Spaceframe	CFRP	① Double unequal length A-arm Push rod ② Double unequal length A-arm Push rod	① 2750 mm ② 1245 mm ③ 1557 mm ④ 1232 mm ⑤ 1232 mm	① 256 kg ② 43 : 57 ③ 50 mm
25	東京理科大学 Tokyo University of Science	black & pink	steel spaceframe	GFRP	① Double unequal length A-arm Pull rod ② Double unequal length A-arm Push rod	① 2915 mm ② 1189 mm ③ 1530 mm ④ 1180 mm ⑤ 1160 mm	① 242 kg ② 45 : 55 ③ 45 mm
26	工学院大学 Kogakuin University	Blue	steel spaceframe	CFRP	① Double unequal length A-arm Push rod ② Double unequal length A-arm Push rod	① 3205 mm ② 1249 mm ③ 1800 mm ④ 1350 mm ⑤ 1320 mm	① 240 kg ② 40 : 60 ③ 30 mm
27	千葉大学 Chiba University	Black & Blue	steel spaceframe	Fiber-glass	① Double unequal length A-arm Pull rod ② Double unequal length A-arm Pull rod	① 2480 mm ② 1180 mm ③ 1800 mm ④ 1275 mm ⑤ 1225 mm	① 285 kg ② 41 : 59 ③ 30 mm
28	ものづくり大学 Institute of Technologists	Navy Blue	steel spaceframe	Carbon FRP	① Double unequal length A-arm Push rod ② Double unequal length A-arm Push rod	① 2866 mm ② 1146 mm ③ 1650 mm ④ 1200 mm ⑤ 1200 mm	① 240 kg ② 50 : 50 ③ 30 mm
29	Universitas Negeri Yogyakarta	White & Black With Red Lines	Steel Spaceframe	Carbon-Fiber	① Double unequal length A-arm Pull rod ② Double unequal length A-arm Push rod	① 3100 mm ② 1140 mm ③ 1600 mm ④ 1150 mm ⑤ 1050 mm	① 215 kg ② 45 : 55 ③ 45 mm
30	岡山大学 Okayama University	Lime Green, Semi gloss Black	steel spaceframe	Fiber-glass	① Double unequal length A-arm Pull rod ② Double unequal length A-arm Push rod	① 2780 mm ② 1219 mm ③ 1650 mm ④ 1300 mm ⑤ 1300 mm	① 185 kg ② 50 : 50 ③ 30 mm
31	宇都宮大学 Utsunomiya University	British Green	steel spaceframe	CFRP	① Double unequal length A-arm Push rod ② Double unequal length A-arm Push rod	① 2636 mm ② 1195 mm ③ 1540 mm ④ 1200 mm ⑤ 1200 mm	① 230 kg ② 45 : 55 ③ 35 mm
32	東海大学 Tokai University	blue	CFRP Monocoque	CFRP	① Double unequal length A-arm Pull rod ② Double unequal length A-arm Pull rod	① 3100 mm ② 1243 mm ③ 1600 mm ④ 1200 mm ⑤ 1200 mm	① 210 kg ② 46 : 54 ③ 55 mm
33	新潟大学 Niigata University	Deep green	steel spaceframe	GFRP	① Double unequal length A-arm Push rod ② Double unequal length A-arm Push rod	① 2870 mm ② 1221 mm ③ 1690 mm ④ 1220 mm ⑤ 1220 mm	① 250 kg ② 50 : 50 ③ 35 mm
34	大阪産業大学 OSAKA SANGYO UNIVERSITY	red/black/white	steel spaceframe	CFRP	① Double unequal length A-arm Push rod ② Double unequal length A-arm Push rod	① 2960 mm ② 1172 mm ③ 1700 mm ④ 1240 mm ⑤ 1240 mm	① 305 kg ② 48 : 52 ③ 40 mm
35	神戸大学 Kobe University	Black & Blue	steel spaceframe	GFRP	① Double unequal length A-arm Push rod ② Double unequal length A-arm Push rod	① 2897 mm ② 1180 mm ③ 1550 mm ④ 1200 mm ⑤ 1200 mm	① 230 kg ② 50 : 50 ③ 30 mm
36	広島大学 Hiroshima University	black & purple	steel spaceframe	Fiber-glass	① Double unequal length A-arm Push rod ② Double unequal length A-arm Pull rod	① 2810 mm ② 1175 mm ③ 1560 mm ④ 1200 mm ⑤ 1160 mm	① 230 kg ② 43 : 57 ③ 35 mm
37	久留米工業大学 Kurume instute of technology	White/Brack	steel spaceframe	Fiber-glass	① Double unequal length A-arm Push rod ② Double unequal length A-arm Pull rod	① 2590 mm ② 1180 mm ③ 1540 mm ④ 1200 mm ⑤ 1200 mm	① 195 kg ② 49 : 51 ③ 30 mm
38	摂南大学 Setsunan University	White	steel spaceframe	Fiber-glass	① Double unequal length A-arm Pull rod ② Double unequal length A-arm Push rod	① 2700 mm ② 1290 mm ③ 1600 mm ④ 1250 mm ⑤ 1200 mm	① 260 kg ② 40 : 60 ③ 50 mm
39	岐阜大学 Gifu University	black	steel spaceframe	CFRP	① Double unequal length A-arm Pull rod ② Double unequal length A-arm Push rod	① 2700 mm ② 1150 mm ③ 1650 mm ④ 1200 mm ⑤ 1160 mm	① 220 kg ② 40 : 60 ③ 35 mm
40	静岡大学 Shizuoka University	orange	steel spaceframe	Fiber-carbon	① Double unequal length A-arm Push rod ② Double unequal length A-arm Push rod	① 2545 mm ② 1410 mm ③ 1750 mm ④ 1400 mm ⑤ 1400 mm	① 330 kg ② 46 : 54 ③ 30 mm
41	岡山理科大学 Okayama University of Sience	White & light green	steel spaceframe	Fiber-glass	① Double unequal length A-arm Push rod ② Double unequal length A-arm Push rod	① 2802 mm ② 1035 mm ③ 1637 mm ④ 972 mm ⑤ 962 mm	① 210 kg ② 51 : 49 ③ 48 mm

ホイール & タイヤ Wheels & Tires	①エンジン型式 ②排気量 ③最高出力 ④最大トルク ①Engine ②Displacement ③max. power ④max.torque	吸気タイプ 燃料タンク容量 Induction type Fuel tank Volume	変速機、シフト Shifter	ファイナルドライブ&デフ Final Drive & Differential	ブレーキ ①フロント ②リア Brakes ① Front ② Rear	特徴、その他 Unique Features & Notes
13 inch Watanabe Mag EIGHT SPOKE20.5 × 7.0-13 Hoosier Bias	① PC40E HONDA CBR600RR ② 600 cc ③ 78.5 ps/10500 rpm ④ 7.3 kgf/8500 rpm	Naturally aspirated 6.0 L	Manual	Chain Drive/Mechanical LSD	① 2 outboard ② 2 outboard Nissin calipers	Front Wing & Rear Wing
13 inch RAYSTE3720.5/7.0-13R25B Hoosier Bias	① PC40E HONDA CBR600RR ② 599 cc ③ 76 ps/10000 rpm ④ 6.1 kgf/8000 rpm	Naturally aspirated 5.0 L	Sequential	Chain/Multi-plate clutch	① 2 outboard ② 2 outboard Willwood calipers	4 Cylinder Engine 13inch Tires Spaceframe Aero Devices
10 inch Douglas ATV18.0/6.0-10 Hoosier Bias	① YAMAHA WR450F ② 449 cc ③ 57ps/9000 rpm ④ 4.1 kgf/7200 rpm	Supercharged 3.5 L	Semi-automatic	Shaft Drive & ATS LSD	① 2 outboard Frando Calipers ② 2 outboard Willwood Calipers	Twin-chassis Supercharger
13 inch OZ Racing 7J of 22 Dunlop SLICK Radial 190/505R13	① 8GR YAMAHA Venture ② 499 cc ③ 80 ps/11250 rpm ④ 5.2 kgf/9000 rpm	Naturally aspirated 4.9L	CVT	Chain Drive Mechanical LSD	① 2 outboard ② 2 outboard Nissin calipers	• CVT • Aero Device • Dry Sump
13 inch center-locking O-Z Wheel 205/470-13 Continental	① PC40E HONDA CBR600RR ② 599 cc ③ 65 ps/10000 rpm ④ 5.4 kgf/6000 rpm	Naturally aspirated 3.5 L	Manual Paddle Shift	Chain Drive LSD (DREXLER)	① 2 semi inboard ② 2 outboard Nissin calipers	Dry sump FR&Side Aero device Launch & Traction control CAN sensor Ignition out system
13 inch RAYS TE37 20.5/7.0-13 Hoosier-Bias	① PC40E HONDA CBR600RR ② 600 cc ③ 75 ps/11500 rpm ④ 5.4 kgf/7000 rpm	Naturally aspirated 5.0 L	Manual	Chain Drive Carbon LSD	① 2 outboard ② 1 inboard Nissin calipers	F-CON Carbon ¥Rod
10 inch Briard STURACE18.0 × 7.5-10 R25B Hoosier	① YAMAHA YZF-R6 4 cylinder ② 599 cc ③ 77 ps/11400 rpm ④ 5.3 Nm/9200 rpm	Naturally aspirated 5.0 L	Manual	Chain Drive FCCTRAC	① 2 outboard ② 2 outboard Nissin calipers	Mechanical Paddle Shift Launch & Traction Control
10 inch RS Watanabe Eight Spoke 18.0/6.0-10 Hoosier Bias	① PC40E HONDA CBR600RR ② 599 cc ③ 69 ps/11500 rpm ④ 5.2 kgf/7000 rpm	Naturally aspirated 5.0 L	Manual Electric Shifter	Chain Drive F.C.C TRAC LSD	① 2 outboard ② 2 outboard Willwood calipers	Semi monocoque frame
10 Inch Keizer Front Tire HOOSIER 6.0/18.0-10 LCO, Rear Tire HOOSIER 6.0/18.0-10 R 25B	① HUSQVARNA SM 630 2011 ② 600 cc ③ 32 kW/7000 rpm ④ 42 Nm/5200 rpm	Naturally aspirated 5 L	Manual stick and electric paddle shifter	Drive Chain with Drexler LSD	① 2 outboard ② 2 outboard WILWOOD calipers	Traction Control and Telemetry
10 inch DOUGLAS & 18.0 × 6.0-10 R25B Hoosier	① KLX450R ② 449 cc ③ 40 ps/8000 rpm ④ 41 Nm/7500 rpm	Naturally aspirated 3.5 L	Manual	Chain Drive & F.C.C. Track	① 1 outboard ② 1 inboard Nissin calipers	Light weight and Quick ride
13 inch OZ 205/60-13 Hoosier	① PC40E HONDA CBR600RR ② 600 cc ③ 71.5 ps/12000 rpm ④ 5.2 kgf/7500 rpm	Naturally aspirated 5 L	Manual	Chain Drive/ Carbon LSD (ATS)	① 4 outboard ② 2 outboard Nissin calipers	• Dry Sump • Intake manifold
10 inch kaizer CL10 Hoosier 18 × 7.5-10 R25B	① SUZUKI SFV650 bore-down ② 605.9 cc ③ 80 ps/9500 rpm ④ 63 Nm/7500 rpm	Naturally aspirated 5.5 L	Pneumatic Shifter	Shaft Drive FCC TRAC	① 2 outboard with AP calipers ② 2 outboard with AP calipers	• Aero Device with DRS • V-type 2cylinder Engine
13 inch OZ Racing Magnesium 190/505_13 DUNLOP	① SUZUKI GSX-R600 (K8) ② 599 cc ③ 83.5 ps/12000 rpm ④ 5.8 kgf/10500rpm	Naturally aspirated 6.0 L	Manual	Chain Drive & F.C.C TRAC	① 2 outboard ② 2 outboard Nissin calipers	
13 inch RAYS VOLK TE-37 20.5/7.0-13 Hoosier Bias	① KAWASAKI ZX600PE ② 599 cc ③ 72 ps/14000 rpm ④ 5.9 kgf/11700 rpm	Naturally aspirated 5.0 L	Electric acuated shift	Chain Drive & FCCTRAC limited slip differential	① 2 Outboard Disk ② 2 Outboard Disk Nissin Calipers	
13 inch Braid Aluminium Wheel 20.5/7.0-13 Hoosier Bias	① ZX600R9F Kawasaki ZX-6R ② 599 cc ③ 75 ps/11000 rpm ④ 5.4 kgf/9000 rpm	Naturally aspirated 4.4 L	Manual	Chain Drive FCCTRAC LSD	① 2 outboard ② 2 outboard Nissin calipers	Variable Intake System Front & Rear wing
13 inch RS Watanabe 180/520-13 Hoosier	① Kawasaki/Ninja ZX-6R ② 599 cc ③ 75 ps/10000 rpm ④ 5.5 kgf/9500 rpm	Naturally aspirated	Manual	Chain Drive F.C.C LSD	① 2 outboard ② 2 outboard Nissin calipers	
10 inch F LT-R450 R RS Watanabe Magnesium 19.5 × 6.5-10 Hoosier Slick	① L404 SUZUKI LT-R450 ② 450 cc ③ 62 ps/6500 rpm ④ 7.0 kgf/5000 rpm	Turbo charged 5 L	Manual	Chain drive, FCC TRAC LSD	① 2 outboard ② 1 inboard Brembo calipers	Stepping motor boost controler, Single cylinder Turbo Charged, Induction pod
13 inch RAYS 180/520-13 Hoosier	① SUZUKI GSX-R600 ② 599 cc ③ 126 ps/13500 rpm ④ 6.9 kg-m/11500 rpm	Naturally aspirated 3.0 L	Manual Electromagnetic shifter	Shaft Torsen	① 2 Pot Nissin Calipers ② 2 Pot Brembo Calipers	
13 inch RAYS TE37 20.5*7.0-13 Hoosier R25A	① SUZUKI GSX-R600 ② 599 cc ③ ④	Naturally aspirated 5.5 L	Manual	F.C.C TRAC Chain Drive	① 2 outboard ② 2 outboard Brembo calipers	
13 inch O.Z Racing Wheel Hoosier	① L3 SUZUKI GSXR600 ② 600 cc ③ 70 ps/12000 rpm ④ 56 Nm/7750 rpm	Naturally aspirated 6.0 L	Manual	Shaft Torsen	① 2 outboard AP calipers ② 2 outboard	Vertical Midship engine layout
10 inch Douglas ATV 6.0/18.0-10 Hoosier Bias	① KLX450 Kawasaki ② 449 cc	Naturally aspirated 4 L	Manual	Chain Drive F.C.C trac LSD	① 2 outboard Nissin calipers ② 2 outboard Nissin calipers	

参加チーム【車両スペック】

Team Information (Vehicle Specifications)

Car No	学校名 School Name	ボデーカラー Color s	フレーム構造 Frame	ボデー (材) Body-work	サスペンション ①フロント ②リア Suspension ①Front ②Rear	①全長 ②全高 ③ホイールベース ④フロントトレッド ⑤リアトレッド ① Overall Length ② Overall Height ③ Wheelbase ④ Front Track ⑤ Rear Track	①車両質量 (GVM) ②前後重量配分 ③最低地上高 ① Gross Vehicle Mass ② Fr.Rr Weight Dist. ③ Ground Clearance
42	福井大学 University of Fukui	Orange & Black	steel spaceframe	GFRP	① Double unequal length A-arm Pull rod ② Double unequal length A-arm Push rod	① 3124 mm ② 1168 mm ③ 1650 mm ④ 1200 mm ⑤ 1200 mm	① 314 kg ② 50 : 50 ③ 42 mm
43	大阪市立大学 Osaka City University	black & orange	steel spaceframe	Fiber-glass	① Double unequal length A-arm Pull rod ② Double unequal length A-arm Push rod	① 2835 mm ② 1260 mm ③ 1720 mm ④ 1280 mm ⑤ 1280 mm	① 230 kg ② 45 : 55 ③ 60 mm
44	山梨大学 University of Yamanashi						
45	山口東京理科大学 Tokyo University of Science, Yamaguchi	Orange	Steel Spaceframe	GFRP	① Double unequal length A-arm Pull rod ② Double unequal length A-arm Pull rod	① 2850 mm ② 1200 mm ③ 1600 mm ④ 1200 mm ⑤ 1200 mm	① 260 mm ② 50 : 50 ③ 40 mm
46	Institut Teknologi Sepuluh Nopember	Blue	steal spaceframe	Carbon Fiber	① Double unequal length A-arm Pull rod ② Double unequal length A-arm Pull rod	① 2715 mm ② 1290 mm ③ 1555 mm ④ 1257 mm ⑤ 1198mm	① 210 kg ② 45 : 55 ③ 80 mm
47	立命館大学 Ritsumeikan University	Black/Red/White	steel spaceframe	GFRP	① Double unequal length A-arm Push rod ② Double unequal length A-arm Push rod	① 2835 mm ② 1260 mm ③ 1583 mm ④ 1200 mm ⑤ 1200 mm	① 240 kg ② 47 : 53 ③ 35 mm
48	金沢大学 Kanazawa University	Black,Blue	steel spaceframe	Wet lay-up GFR	① Double unequal length A-arm Pull rod ② Double unequal length A-arm Push rod	① 2800 mm ② 1030 mm ③ 1600 mm ④ 1250 mm ⑤ 1250 mm	① 190 kg ② 45 : 55 ③ 35 mm
49	崇城大学 Sojo University	Black	steel spaceframe	GFRP	① Double unequal length A-arm Push rod ② Double unequal length A-arm Push rod	① 2690 mm ② 1350 mm ③ 1550 mm ④ 1270 mm ⑤ 1270 mm	① 300 kg ② 48 : 52 ③ 130 mm
50	Kasetsart University						
51	上智大学 Sophia University	Red & Black & White	Carbon monocoque	CFRP	① Double unequal length A-arm Push rod ② Double unequal length A-arm Push rod	① 2940 mm ② 1250 mm ③ 1550 mm ④ 1200 mm ⑤ 1180 mm	① 236.5 kg ② 45 : 55 ③ 35 mm
52	日本大学理工学部 College of Science and Technology, Nihon University	pink	steel spaceframe	Fiber-glass	① Double unequal length A-arm Push rod ② Double unequal length A-arm Push rod	① 2790 mm ② 1250 mm ③ 1650 mm ④ 1250 mm ⑤ 1200 mm	① 212 kg ② 45 : 55 ③ 57.3 mm
53	静岡工科自動車大学校 Shizuoka Professional College of Automobile Technology	Yellow	steel spaceframe	Fiber-glass	① Double wishbone A-arm Push rod ② Double unequal length A-arm Push rod	① 2850 mm ② 1230 mm ③ 1600 mm ④ 1250 mm ⑤ 1250 mm	① 230 kg ② 49 : 51 ③ 70 mm
54	早稲田大学 Waseda University	Waseda Red & Shigenobu White	Steel Spaceframe	GFRP	① Double Unequal Length A-arm Push Rod ② Double Unequal Length A-arm Push Rod	① 2700 mm ② 1070 mm ③ 1720 mm ④ 1300 mm ⑤ 1300 mm	① 245 kg ② 45 : 55 ③ 30 mm
55	ホンダテクニカルカレッジ関西 Honda Technical College Kansai	blue	steel spaceframe	polycarbonate	① Double unequal length A-arm Direct damper ② Double unequal length A-arm Pull rod	① 2410 mm ② 1150 mm ③ 1550 mm ④ 1095 mm ⑤ 1095 mm	① 210 kg ② 40 : 60 ③ 35 mm
56	北海道大学 Hokkaido University	Green Pearl	steel spaceframe	GFRP	① Double unequal length A-arm Pull rod ② Double unequal length A-arm Push rod	① 2810 mm ② 1150 mm ③ 1700 mm ④ 1300 mm ⑤ 1300 mm	① 240 kg ② 47 : 53 ③ 48 mm
57	ホンダテクニカルカレッジ関東 Honda Technical College KANTO	White	spaceframe	PET	① Double unequal length A-arm Pull rod ② Double unequal length A-arm Pull rod	① 2658 mm ② 1143 mm ③ 1620 mm ④ 1120 mm ⑤ 1180 mm	① 170 kg ② 50 : 50 ③ 45 mm
58	近畿大学 Kindai University	black	steel spaceframe	GFRP	① Double wishbone unequal length A-arm Pushrod ② Double wishbone unequal length A-arm Pushrod	① 2780 mm ② 1135 mm ③ 1600 mm ④ 1200 mm ⑤ 1200 mm	① 220 kg ② 43 : 57 ③ 30 mm
59	鳥取大学 Tottori University	Blck & Red	steel spaceframe	GFRP	① Double unequal length A-arm Pull rod ② Double unequal length A-arm Push rod	① 2300 mm ② 1250 mm ③ 1600 mm ④ 1260 mm ⑤ 1260 mm	① 270 kg ② 35 : 65 ③ 37.3 mm
60	広島工業大学 Hiroshima Institute of Tecnology	green	steel space pipe frame	aluminium Alloy Plate	① Double Unequal Length A-arm Pull Rod with Torsionbar ② Double Unequal Length A-arm Pull Rod with Torsionbar	① 2400 mm ② 1130 mm ③ 1530 mm ④ 1100 mm ⑤ 1050 mm	① 187 kg ② 40 : 60 ③ 30 mm
61	北九州市立大学 The University of Kitakyushu	Green & White	steel spaceframe	GFRP	① Double unequal length A-arm Pull rod ② Double unequal length A-arm Push rod	① 3000 mm ② 1220 mm ③ 1600 mm ④ 1240 mm ⑤ 1250 mm	① 280 g ② 40 : 60 ③ 90 mm

ホイール & タイヤ Wheels & Tires	①エンジン型式 ②排気量 ③最高出力 ④最大トルク ①Engine ②Displacement ③max. power ④max.torque	吸気タイプ 燃料タンク容量 Induction type Fuel tank Volume	変速機、シフト Shifter	ファイナルドライブ&デフ Final Drive & Differential	ブレーキ ①フロント ②リア Brakes ① Front ② Rear	特徴、その他 Unique Features & Notes
13 inch RAYS 20.5 × 7.0-13 Hoosier R25B	① SUZUKI GSX-R600 ② 600 cc ③ 59 kW/12000 rpm ④ 53 Nm/10000 rpm	Naturally aspirated 5.2 L	Manual	chain drive F.C.C. TRAC	① 2 outboard ② 2 outboard Nissin calipers	
13 inch HAYASHI Racing 20.5/6.0-13 Hoosier R25B	① Kawasaki ZX600R9F ② 599 cc ③ 80 ps/9800 rpm ④ 6.1 kgf/8900 rpm	Naturally aspirated 4.5 L	Manual, 6 Speed	Chain Drive, F.C.C. Trac LSD	① 2 outboard ② 2 outboard Nissin calipers	Intake System Made of GFRP, Low-Cost racing Car, NC Machined Upright Made of Steel
13 inch RAYS TE37 20.5 × 7.0-13 inch R25B Hoosier	① PC40E HONDA CBR600RR ② 600 cc ③ 75 ps/11500 rpm ④ 5.4 kgf/7000 rpm	Naturally aspirated 6.5 L	Manual	SSURE TRAC Limited Slip Defferential Gear	① 2 opposing piston Nissin calipers ② 2 opposing piston Nissin calipers	
13 inch Enkei 20 × 7.5-13R25B A2500 Hoosier Radial	① Husaberg FE450 ② 450 cc ③ 45 hp/9000 rpm ④ 43 Nm/7400 rpm	Electronic fuel injection 8 L	Manual	Limited Sleep Differential	① hydraulic discbrake double piston calliper ② hidraulic discbrake double piston calliper	1. adjustable setting chamber and king pin axis 2. ajustable ackermen setting system
13 inch OZ racing 20.5 × 7.0-13 Hoosier	① Kawasaki ZX-6R 09 ② 599 cc ③ 70 ps/10000 rpm ④ 6.5 kgf/9000 rpm	Naturally aspirated 6.0 L	Manual	Chain Drive Carbon LSDATS	① 2 outboard ② 2 outboard Nissin calipers	
10 inch keizer 6J 2.0 slick 18.0 × 6.0-10 Hoosier Bias rain 19.5 × 6.5-10 Hoosier Bias	① SUZUKI LT-R450 ② 450cc ③ 40ps/9000rpm ④ 33.5N · m/3500rpm	Naturally aspirated 4.0L	Manual	Chain Drive, Mechanical LSD	① 2 outboard ② 2 outboard AP calipers	
13 inch RAYS TE37 20.5/6.0-13 Hoosier Bias	① PC40E 2013 HONDA CBR600RR, 4 cylinder ② 599 cc ③ 75 ps/11500 rpm ④ 5.4 kgf/7000 rpm	Naturally aspirated 7.8L	Manual	Chain Driver & F.C.C. TRAC	① 2 outboard ② 2 outboard Brembo Calipers	Magnesium oilpan, 2-stage reduction chain drive
Keizer wheel, CL10 Forged center lock 6.0/18.0-10, LC0, Hoosier	① YAMAHA WR450F ② 450 cc ③ 50 ps/8000 rpm ④ 54 Nm/5000 rpm	Turbo charged 4.4 L	Manual	Chain Drive	① ISR Brake22-048 4-piston caliper ② ISR Brake22-049 2-piston caliper	Turbo charger
13 inch watanabe 8spoke Mg 20.5 × 7.0 Hoosier R25B	① 2008 YAMAHA YZF-R6 ② 599 cc ③ 80 ps/10000 rpm ④ 5.5 kgf/9000 rpm	Naturally aspirated 5.5 L	Manual Electric shifter	Chain Drive LSD	① 2 outboard ② 2 outboard Brembo calipers	Electric water pump
13 inch KUMHO ECSTA V700 175/60 VOLK RACING TE37	① SUZUKI LT-R450 K6 L404 ② 450 cc ③ 16.2 kW/8000 rpm ④ 28 Nm/6000 rpm	Naturally aspirated 8.0 L	Manual	SUZUKI LT-A500F F.Differential	① 2 outboard ② 2 outboard Nissin calipers	
13 inch O.Z. Racing 7J20.5 × 7.0-13 Hoosier R25B	① SUZUKI GSX-R600 L4 ② 599 cc ③ 67 ps/11000 rpm ④ 5.5 kgf/7600 rpm	Naturally Aspirated 7.0 L	6-Speed Manual Sequential	Chain Drive F.C.C TRAC LSD	① 2 Outboard Brembo Calipers ② 2 Outboard Brembo Calipers	Long Wheelbase, Wide Track Symmetrical Layout
10 inch RS Watanave 180/60-10 Hoosier Bias	① PC40HONDA CBR600RR ② 599 cc ③ 80 ps/11000 rpm ④ 6.0 kgf/9000 rpm	Naturally aspirated 5.2 L	Manual	Chain Drive F.C.C.TRAC	① 2 outboard ② 2 outboard Nissin calipers	Compact vehiclesize
10 × 6 RS Watanabe 18.0 × 6.0-10 Hoosier R25B	① PC40E HONDA CBR600RR ② 599 cc ③ 85 ps/10500 rpm ④ 6.0 kgf/8000 rpm	Naturally aspirated 5.5 L	Manual	Chain Drive F.C.C. LSD	① 2 outboard ② 2 outboard Nissin calipers	
10 inch Hoosier 18.0 × 6.0-10 Hoosier Bias	① PE06 (HONDA CRF450X) ② 450 cc ③ 54.4 ps/7000 rpm ④ 4.9 kgf/5680 rpm	NA4 L	Manual	Chain Drive F.C.C TRAC	① 2 outboard ② 2 outboard Nissin calipers	very light PET cowl
13 inch RAYS 20.5 × 7.0-13 Hoosier R25B	① Kawasaki ZX600PE ② 599 cc ③ 81 ps/8000 rpm ④ 7.2 kg·m/7000 rpm	Centrifugal super charged 6 L	Manual Electric Shifter	Chain Drive F.C.C TRAC LSD	① 1 outboard ② 1 outboard Nissin calipers	Dry Sump Centrifugal super charged
Hoosier 4316 20.5 × 7.0-13 (C2500) KOSEI 1360FT	① KAWASAKI (09model) ② 599 cc ③ 94.1 kW/14000 rpm ④ 66.7N · m/11800 rpm	Naturally aspirated 6.0 L	Manual	Chain F.C.C TRAC	① 2 outboard ② 2 outboard Nissin calipers	
13 inch Aluminium Wheel 180/510-13 & BRIDGESTONE bias	① Kawasaki LX450AE (KLX450R) ② 449 cc ③ 40 ps/9000 rpm ④ 4.0 kgf/7000 rpm	Naturally aspirated 7.5 L	Manual	Chain Drive & No Diff	① 2 Outboard Steel Diskbrake ② 1 Inboard Steel Diskbrake NISSIN calipers	Torsionbar suspension Aluminium Cowl
13 inch OZ Formula Student DUNLOP SLICK Radial 190/505R1313 inch RAYS TE37 DUNLOP DIREZZA 03G175/60R13	① Kawasaki ZX600P7F ② 599 cc ③ 60 ps/12000 rpm ④ 4.0 kgf/11500 rpm	Naturally aspirated 5.0 L	Manual	Chain Drive F.C.C TRAC	① 2 outboard ② 2 outboard Nissin calipers	

参加チーム【車両スペック】

Team Information (Vehicle Specifications)

Car No	学校名 School Name	ボデーカラー Color s	フレーム構造 Frame	ボデー (材) Body-work	サスペンション ①フロント ②リア Suspension ①Front ②Rear	①全長 ②全高 ③ホイールベース ④フロントトレッド ⑤リアトレッド ① Overall Length ② Overall Height ③ Wheelbase ④ Front Track ⑤ Rear Track	①車両質量 (GVM) ②前後重量配分 ③最低地上高 ① Gross Vehicle Mass ② Fr.Rr Weight Dist. ③ Ground Clearance
62	麻生工科大学 ASO College of Automotive Engineering and Technology	Blue	Steel Spaceframe	Fiber-glass	① Double unequal length A-arm Push rod ② Double unequal length A-arm Push rod	① 2800 mm ② 1170 mm ③ 1600 mm ④ 1200 mm ⑤ 1200 mm	① 250 kg ② 45 : 55 ③ 60 mm
63	国土館大学 Kokushikan University						
64	青山学院大学 Aoyama Gakuin University	olive green	steel spaceframe	GFRP	① Double wishbone ② Double wishbone	① 2900 mm ② 1300 mm ③ 1600 mm ④ 1250 mm ⑤ 1250 mm	① 240 kg ② 40 : 60 ③ 40 mm
65	富山大学 University of Toyama	Yellow	steel spaceframe	GFRP	① Double unequal length A-arm Pull rod ② Double unequal length A-arm Push rod	① 3000 mm ② 1300 mm ③ 1665 mm ④ 1385 mm ⑤ 1415 mm	① 280 kg ② 44:56 ③ 100 mm
66	埼玉工業大学 Saitama Institute of Technology	white	Steel space frame	FRP	① Double wishbone ② Double wishbone	① 2900 mm ② 1085 mm ③ 1600 mm ④ 1200 mm ⑤ 1200 mm	① 225 kg ② 48 : 52 ③ 25 mm
67	National Taipei University of Technology	Carbon Black, Red	Steal Spaceframe	CFRP	① Double unequal length A-arm Pull rod ② Double unequal length A-arm Push rod	① 2985 mm ② 1297 mm ③ 1535 mm ④ 1180 mm ⑤ 1160 mm	① 220 kg ② 50 : 50 ③ 50 mm
68	千葉工業大学 Chiba Institute of Technology	Blue & White & Black	steel spaceframe	GFRP	① Double unequal length A-arm Direct ② Double unequal length A-arm Direct	① 2967 mm ② 1056 mm ③ 1600 mm ④ 1200 mm ⑤ 1200 mm	① 270 kg ② 45 : 55 ③ 50 mm
69	日本大学生産工学部 College of Industrial Technology,Nihon University	black	steel spaceframe	GFRP	① Double unequal length A-arm Pull rod ② Double unequal length A-arm Push rod	① 2280 mm ② 1177 mm ③ 1580 mm ④ 1140 mm ⑤ 1180 mm	① 200 kg ② 48 : 51 ③ 70 mm
70	茨城大学 Ibaraki University Racing	White, Red & Black	steel spaceframe	Fiber-glass	① Double unequal length A-arm Push rod ② Double unequal length A-arm Push rod	① 3000 mm ② 1190 mm ③ 1620 mm ④ 1450 mm ⑤ 1450 mm	① 225 kg ② 45 : 55 ③ 27 mm
71	明星大学 Meisei University	Black & Red	Steel space frame	Styrene Board	① Double unequal length A-arm and Push rod ② Double unequal length A-arm and Push rod	① 2750 mm ② 1330 mm ③ 1620 mm ④ 1208 mm ⑤ 1208 mm	① 219 kg ② 47 : 53 ③ 65 mm
72	東京工科大学世田谷校 Tokyo Technical College Setagaya Campus						
73	Harbin Institute of Technology at Weihai	black red bule	monocoque	carbon fiber	① Double unequal length A-arm Pull rod ② Double unequal length A-arm Pull rod	① 2955 mm ② 1350 mm ③ 1530 mm ④ 1160 mm ⑤ 1120 mm	① 160 kg ② 47 : 53 ③ 40 mm
74	Zhejiang University City College	blue	Steel pipe truss structure	Carbon fiber composite material	① before long double A arm push rod suspensionHang ② before longThe double arm A push rodsuspensio	① 2849 mm ② 1167 mm ③ 1600 mm ④ 1200 mm ⑤ 1150 mm	① 210 kg ② 45 : 55 ③ 50 mm
75	Sebelas Maret University	black orange	steal spaceframe STKM 11A	Carbon fiber hybrid fiberglass	① Double unequal length A-arm Pull rod ② Double unequal length A-arm Push rod	① 2953 mm ② 1320 mm ③ 1605 mm ④ 1200 mm ⑤ 1150 mm	① 250 kg ② 40 : 60 ③ 60 mm
76	Chulalongkorn University	Black-Purple	Steel Spaceframe	Carbon-Fibre	① Double unequal length A-arm Push rod ② Double unequal length A-arm Push rod	① 3215 mm ② 1260 mm ③ 1555 mm ④ 1185 mm ⑤ 1135 mm	① 240 kg ② 40 : 60 ③ 60 mm
77	Universitas Gadjah Mada	White with blue & red strip	Steel spaceframe	Fiber-glass	① Double unequal length A-arm Push rod ② Double unequal length A-arm Pull rod	① 3120 mm ② 1450 mm ③ 1650 mm ④ 1200 mm ⑤ 1150 mm	① 228 kg ② 45 : 55 ③ 45 mm
78	Universiti Putra Malaysia	Yellow, White	Seamless steel tube spaceframe.	Fibre-glass	① Double equal length A-arm pull rod ② Double equal length A-arm push rod	① 3142 mm ② 1293 mm ③ 1612 mm ④ 1435 mm ⑤ 1435 mm	① 350 kg ② 40 : 60 kg ③ 70 mm
79	Ajou University	Red/Blue/White	steal spaceframe	Fiber-glass	① Double unequal length A-arm Push rod ② Double unequal length A-arm Pull rod	① 2730 mm ② 1200 mm ③ 1630 mm ④ 1200 mm ⑤ 1200 mm	① 220 kg ② 40 : 60 ③ 45 mm
80	National Tsing Hua University						
81	日本モータースポーツ専門学校大阪校 Japan Motor Sports College						

ホイール & タイヤ Wheels & Tires	①エンジン型式 ②排気量 ③最高出力 ④最大トルク ①Engine ②Displacement ③max. power ④max.torque	吸気タイプ 燃料タンク容量 Induction type Fuel tank Volume	変速機、シフト Shifter	ファイナルドライブ&デフ Final Drive & Differential	ブレーキ ①フロント ②リア Brakes ① Front ② Rear	特徴、その他 Unique Features & Notes
13 inch RAYS TE37	① Suzuki LT-R450 K7 ② 450 cc ③ 40.0 ps/8000 rpm ④ 35 Nm/3500 rpm	Natural aspirated 5.0 L	Manual	ATV用カム式によるトルク感応型 LSD FCCTAC	① 2 outboard ② 2 outboard	アップライトにジュラルミンを使用しています
10 inch RS Watanabe Aluminum Eight SPOKE 165/70R-10 YOKOHAMA ADVAN A032R	① YAMAHA YZ450F J339E ② 449 cc ③ 60 ps/9000 rpm ④ 5.4 kgf/6500 rpm	Naturally aspirated 5 L	Manual	Shaft Drive & FCCTAC limited slip differential	① 2 outboard ② 2 outboard Brembo calipers	
13inch TWSAI WheelDry:20.5/7.0-13 Rain:21.0/6.5-13 R25B Hoosier	① PC40E HONDA CBR600RR ② 599cc ③ 75ps/11500rpm ④ 5.4kgf/7000rpm	Naturally aspirated 7.0L	Manual	Chain drive&LSD	① 2 outboard Nissin calipers ② 2 outboard Nissin calipers	All automated cooling system, Electric water pump.
13 inch Watanabe Mg20.5 x 6.0-13 R25B Hoosier Bias	① PC40E HONDA CBR600RR ② 599 cc ③ 75 ps/12000 rpm ④ 5.3 kgf/10000 rpm	Naturally aspirated 6.0 L	Manual	Chain drive F.C.C TRAC	① 2 outboard ② 2 outboard Nissin calipers	
13 inch RAYS TE37 & Hoosier 20.5 x 7.0-13 R25B	① PC37E HONDA CBR600RR ② 599 cc ③ 85.7 ps/11000 rpm ④ 60 Nm/7500 rpm	Naturally aspirated 5.4 L	Manual	Chain Drive & LSD	Triones calipers ① 2 outboard ② 2 outboard	DRS, Air Brake System.
20.5 x 7 R25B Hoosier 13 x 6.0 J Mg Wheel RS.WATANABE	① YAMAHA PHAZER 8GC2 ② 500 cc ③ 58 kW/11250 rpm ④ 50 Nm/9000 rpm	Natural Aspiration 6 L CVT Torque sensitive LSD	Manual	Chain drive F.C.C TRAC	① 2 outboard ② 2 outboard Nissin calipers	Continuously variable transmission
13 inch RAYS VOLK 175/60-13 DUNLOP DIREZZA03G	① PE06E HONDA CRF450X ② 449 cc ③ 49 ps/9000 rpm ④ 4.2 kgf/5500 rpm	Naturally aspirated 3.6 L	Manual	Chain Drive F.C.C. LSD	① 2 outboard ② 1 outboard Nissin calipers	Carburetor
10*8.0 keizer 18.0*7.5- 10 R25B Hoosier	① GSX-600R L4 ② 600 cc ③ 84 ps/11000 rpm ④ 5.8 kgf/8500 rpm	Naturally aspirated 6.1 L	Manual	Chain Drive LSD (DREXLER)	① 2 outboard ② 2 outboard Nissin calipers	Variable stabiliser
13 inch RAYS TE37 160/55 VR13 YOKOHAMA ADVAN A005	① PE06E HONDA CRF450X ② 449 cc ③ 37.9 ps/8000 rpm ④ 4.1 kgf/8000 rpm	Naturally aspirated 5.5 L	Manual	Chain Drive F.C.C. TRAC	① 2 outboard ② 1 inboardBrembo calipers	CarburetorF & R Mono shock F caster angle 0
10 inch keizer & Hoosier18.0*6.0-10	① ASIAWING LD196MR ② 449 cc ③ 32.9 kW/9000 rpm ④ 39 Nm/7500 rpm	Naturally aspirated 3.2 L	Pneumatic	ShaftCusco	① 4 piston ② 2 pistonSR calipers	Monocoque, carbon suspension
Keizer 10 inches prefabricated aluminum alloyRim & Hoosier10 inches 18.0 x 6.0-10 tire	① 283 MT ② 590kW ③ 35kW ④ 56Nm/	Natural air intake 5.2 L	6 manual gearboxDial (electric)	Chain drive, the limit of Slip differential	① double floating discbrake ② double floating discbrake	Electric clutch shift
10inch Keizer Wheel & 10 inch Hoosier tyre	① KTM 450 SXF 2014 ② 449.3 cc ③ 42.45 Kw/9400 rpm ④ 45.98 Nm/7400 rpm	Naturally aspirated 7.5 L	Manual	Chain and Sprocket, Differential Clutch	① 2 outboard ② 1 inboard	Variable Intake System
13 inch Lenso wheels, Hoosier tire	① 2014 Honda CBR600RR ② 599 cc ③ 77 ps ④ 5.68 kg-m	NA 4.5 L	Paddle Shift	Drexler Motorsport	① 2 outboard ② 1 inboard Brembo calipers	
O.Z. Racing WheelHoosier 20.5 x 7 x 13 R25B	① Internal combustion single cylinder engine, KTM 450 SXF, 1 unit ② 53.52 kW ③ 56.48 kW ④ 35.44 Nm	① Li-ion ② 12 V/13.8 V ③ 6 Ah	Manual	Drexler Motorsport Formula SAE LSD	① 2 outboard 4 piston ② 2 outboard 2 piston	None
13 inch PERODUA KANCIL & 20.57 x 7.0- 13 HOOSIER Tires	① SUZUKI GSX-R600 K5 ② 600 cc ③ 128 ps/13000 rpm ④ 7.1 kgf/10800 rpm	Naturally aspirated 5.0 L	Manual	Custom made open chain differential	① 2 outboard ② 2 outboard Racing Boy calipers	① Front wing, Rear wing and diffuser. ② GFRP seat with CF finished ③ CFRP instrument panel.
10 inch TacChang ATV19.5 x 8/10 (icnh) Hoosier	① PC37E HONDA CBR600rr ② 600 cc ③ 70 ps/11500 rpm ④ 5.1 kgf/7000 rpm	Naturally aspirated 9 L	Manual & Auto Paddle Shift using Arduino & Air Cylinders	Cam	① 2 outboard ② 1 inboard KR Motors calipers	Oil Sump System

参加チーム【車両スペック】

Team Information (Vehicle Specifications)

Car No	学校名 School Name	ボデーカラー Colors	フレーム構造 Frame	ボデー (材) Body-work	サスペンション ①フロント ②リア Suspension ①Front ②Rear	①全長 ②全高 ③ホイールベース ④フロントトレッド ⑤リアトレッド ① Overall Length ② Overall Height ③ Wheelbase ④ Front Track ⑤ Rear Track	①車両質量 (GVM) ②前後重量配分 ③最低地上高 ① Gross Vehicle Mass ② Fr.Rr Weight Dist. ③ Ground Clearance
82	九州大学 Kyushu University	white	steel spaceframe	Fiber-glass	① Double unequal length A-arm Pull rod ② Double unequal length A-arm Push rod	① 2765 mm ② 1160 mm ③ 1580 mm ④ 1250 mm ⑤ 1050 mm	① 360 kg ② 45 : 55 ③ 55 mm
83	DHA Suffa University						
84	Southern Taiwan University of Science and Technology	orange & black	steel spaceframe	carbon	① Double unequal length A-arm Push rod ② Double unequal length A-arm Push rod	① 2800 mm ② 1350 mm ③ 1600 mm ④ 1310 mm ⑤ 1280 mm	① 280 kg ② 45 : 55 ③ 30 mm
85	Sinhgad Academy of Engineering	Black, Golden	Steel Spaceframe	Carbonfibre	① Double unequal length A-arm Push rod ② Double unequal length A-arm Push rod	① 2770 mm ② 1210 mm ③ 1524 mm ④ 1270 mm ⑤ 1270 mm	① 250 kg ② 40 : 60 ③ 50.8 mm
86	Sinhgad Techincal Education Society	Black & Electric Blue	Steel Spaceframe	CFRP	① Double unequal length A-arm Push rod ② Double unequal length A-arm Push rod	① 2582 mm ② 1183 mm ③ 1550 mm ④ 1200 mm ⑤ 1150 mm	① 180 kg ② 40 : 60 ③ 50 mm
87	AGH University of Science and Technology						
88	Galgotias University						
89	Manav Rachna International University						
90	Universiti Teknologi Malaysia (UTM)	Red & White	Steel Spaceframe	Fiber-glass	① Double unequal length and non parallel A-arm. Push rod actuated shock absorber ② Double unequal length and non parallel A-arm. Push rod actuated shock absorber	① 3019 mm ② 1457 mm ③ 1600 mm ④ 1311.3 mm ⑤ 1311.3 mm	① 252 kg ② 45 : 55 ③ 151 mm
91	Universiti Teknologi Malaysia Kuala Lumpur						
92	Thai-Nichi Institute of Technology						
93	U.A.S. Graz						
E1	静岡理科大学 / 名古屋大学 shizuoka institute science and technology / Nagoya university	Leyton Blue & Pearl White	steel spaceframe	CFRP	① Double unequal length A-arm Push rod ② Double unequal length A-arm Pull rod	① 2640 mm ② 1170 mm ③ 1725 mm ④ 1300 mm ⑤ 1300 mm	① 350 kg ② 44 : 56 ③ 50 mm
E2	トヨタ名古屋自動車大学校 Toyota Technical Collage Nagoya	Blue, White, Red	steel spaceframe	Fiber-glass	① Double unequal length A-arm Pull rod ② Double unequal length A-arm Pull rod	① 2470 mm ② 1250 mm ③ 1670 mm ④ 1300 mm ⑤ 1230 mm	① 383 kg ② 50 : 50 ③ 30 mm
E3	東北大学 Tohoku University	white	steel spaceframe	Fiber-glass	① Double unequal length A-arm Pull rod ② Double unequal length A-arm Pull rod	① 2750 mm ② 1170 mm ③ 1650 mm ④ 1250 mm ⑤ 1250 mm	① 330 kg ② 45 : 55 ③ 40 mm
E4	Tongji University	black, white, red	carbon fiber monocoque	carbon fiber	① Double unequal length A-arm Push rod ② Double unequal length A-arm Push rod	① 2775 mm ② 1076 mm ③ 1525 mm ④ 1436 mm ⑤ 1374 mm	① 240 kg ② 45 : 55 ③ 30 mm
E5	一関工業高等専門学校 / 岩手大学 / 岩手県立大学 National Institute of Technology, Ichinoseki College / Iwate University / Iwate Prefectural University	blue	steel spaceframe	GFRP	① Double unequal length A-arm Push rod ② Double unequal length A-arm Push rod	① 2900 mm ② 1173 mm ③ 1760 mm ④ 1300 mm ⑤ 1300 mm	① 400 kg ② 30 : 70 ③ 50 mm

ホイール & タイヤ Wheels & Tires	①エンジン型式 ②排気量 ③最高出力 ④最大トルク ①Engine ②Displacement ③max. power ④max.torque	吸気タイプ 燃料タンク容量 Induction type Fuel tank Volume	変速機、シフト Shifter	ファイナルドライブ&デフ Final Drive & Differential	ブレーキ ①フロント ②リア Brakes ① Front ② Rear	特徴、その他 Unique Features & Notes
13 inch WATANABE190/505-13 DUNLOP DIREZZA 03G	① PE06EHONDA CRF450X ② 450 cc ③ 36 ps/8300 rpm ④ 36.8 Nm/6000 rpm	Naturally aspirated 4.5 L	Manual	Chain Drive F.C.C TRAC	① 2 outboard ② 1 inboard Nissin calipers	
13 inch BC racing RS42 20.5 × 6.5-13 hoosier	① honda cbr600f4i ② 600 cc ③ 70 hp/10000 rpm ④ 57 Nm/7600 rpm	Naturally aspirated 5.4 L	Manual	chain Drive & F.C.C TRAC	① 2 outboard ② 2 outboard TRIONES Calipers	
13 inch Oz Aluminium Rims205/60 R13 Semi Slicks (Soft Compound) Yokohama Advan 048	① Yamaha YZF R6W ② 599 cc ③ 75 hp/12000 rpm ④ 55 Nm/7500 rpm	Fuel Pump Operated 11 L	Electromagnetic	Chain Drive, Clutch packed LSD Drexler V2	① front outboard ② rear outboard Bybre calipers	Electromagnetic Gear Shifter
13 inch O.Z Racing Wheels Hoosier R25B	① KTM 390 ② 373.2 cc ③ 32 kW/9500 rpm ④ 35 Nm/7250 rpm	Naturally Aspirated6 L	Electric	Shaft & Torsen	① 2 Outboard ByBre 4 Piston Calipers ② 2 Outboard ByBre 4 Piston Calipers	Self designed - PU Foam + Bamboo Reinforced Impact Attenuator, Rack and Pinion for steering system, Pedal Assembly, Carbon Fibre Steering Wheel, Brake Discs
13 inch PERODUA KANCIL165 × 60-13 GOODYEAR	① 2008 HONDA CBR 600 RR ② 599 cc ③ 13500 rpm ④ 11250 rpm	Naturally aspirated 5.0 L + /- 0.1 L	Custom Electronic Shifter	Rear Wheel Drive (RWD) /Limited- Slip Differential	① Wilwood DynaPro Single Billet Calipers ② Single inboard rear brake, Wilwood GP320	
13 inch RAYS TE37 20.5/6.0-13 Hoosier	①永久磁石型同期モーター (ブ ランレス), DAIKIN Original, 1 個 ② 37.6[kW] ③ 53[kW] ④ 179[Nm]	① Li-ion ② 327.6 V/382.2 V ③ 4.3 kwh/13 Ah	No	direct shaft LSD	① 2 outboard ② 2 outboard	① Single Keel ② MR Damper ③ Torque full motor
Wheels : RS Watanabe 13-6.5 J + 14.5 Tires : Goodyear EAGLE RS20 × 7.0 J-13	① Hi-Performance, AC35-26.25, 1 個 ② 33[kW] ③ 69.20[kW] ④ 128[Nm]	① Li-Po ② 155.4 V/176.4 V ③ 6.216 kWh/40 Ah	none	Chain Drive FCC LSD	① 4 outboard Advics calipers ② 2 outboard brebmo calipers	① Hi power motor ② Torsion Bar Spring, Un-unite Suspension ③ Double Reduction
13 inch RAYS A-LAP 20.5 × 7.0-13Hoosier	①アキシャルギャップ型 ブラシ付直流モーター, LEM200D135RAG ② 18[kW] ③ 36[kW] ④ 84[Nm]	① Li-ion ② 120 V/131 V ③ 6 kwh/50 Ah	Student-built 1 speed Gear Box	Gear Drive	① 2 outboard ② 2 outboard Nissin calipers	左右輪独立駆動
10 inch Keizer & Hoosier 18.0 × 7.5-10	① Permanent magnet synchronous (Non brush), EC2045A01, 4 unit ② 10[kW] ③ 20[kW] ④ 40[Nm]	① Li-ion ② 532 V/600 V ③ 6.7 kwh/12.6 Ah	N/A	N/A	① 2 outboard NSR calipers ② 2 outboard NSR calipers	four wheel drive, torque vectoring, regenerate, co-developed motors and inverters
13 inch RAYS TE37 20.5 × 6.0-13R25A & 20.5 × 7.0-13R25A Hoosier	① Mitsuba SR Motor × 2 ② 4[kW] ③ 16[kW] ④ 45[Nm]	① Li-ion ② 88.8 V/98.4 V ③ 4.4 kwh/50 Ah	N/A	Torque Difference Amplification Differential	① 2 outboard ② 2 outboard NISSIN calipers	Two Motor Torque Difference Amplification TVD

参加チーム【車両スペック】

Team Information (Vehicle Specifications)

Car No	学校名 School Name	ボデーカラー Color s	フレーム構造 Frame	ボデー (材) Body-work	サスペンション ①フロント ②リア Suspension ①Front ②Rear	①全長 ②全高 ③ホイールベース ④フロントトレッド ⑤リアトレッド ① Overall Length ② Overall Height ③ Wheelbase ④ Front Track ⑤ Rear Track	①車両質量 (GVM) ②前後重量配分 ③最低地上高 ① Gross Vehicle Mass ② Fr.Rr Weight Dist. ③ Ground Clearance
E6	九州工業大学 Kyushu Institute of Technology	blue	steel spaceframe	Fiber-glass	① Double unequal length A-arm Out board ② Double unequal length A-arm Out board	① 2816 mm ② 1262 mm ③ 1600 mm ④ 1400 mm ⑤ 1400 mm	① 330 kg ② 40 : 60 ③ 50 mm
E7	Chulalongkorn University						
E8	神奈川大学 Kanagawa University	Jindai Blue	Steel spaceframe	Fibre-reinforced plastic	① Double wishbone unequal A-arm pushrod ② Double wishbone unequal A-arm pushrod	① 2835 mm ② 1260 mm ③ 1650 mm ④ 1250 mm ⑤ 1250 mm	① 370 kg ② 45 : 55 ③ 60 mm
E9	Harbin Institute of Technology at Weihai	Orange/Silvery/Black	One Piece CFRP Monocoque	CFRP	① Double Unequal Length A-arm/Pull Rod ② Double Unequal Length A-arm/Pull Rod	① 2880 mm ② 1200 mm ③ 1530 mm ④ 1160 mm ⑤ 1140 mm	① 220 kg ② 47 : 53 ③ 40 mm
E10	工学院大学 Kogakuin University	Blue	steel spaceframe	CFRP	① Double unequal length A-arm Pull rod ② Double unequal length A-arm Pull rod	① 2930 mm ② 1095.2 mm ③ 1700 mm ④ 1260 mm ⑤ 1240 mm	① 300 kg ② 48 : 52 ③ 45 mm
E11	Thai-Nichi Institute of Technology						
E12	R V College of Engineering	Red & Matt Black	Steel spaceframe	Fiber-glass	① Double Wishbone unequal length Pull rod ② Double Wishbone unequal length Push rod	① 2400 mm ② 1730 mm ③ 1750 mm ④ 1380 mm ⑤ 1360 mm	① 240 kg ② 40 : 60 ③ 60 mm
E13	神奈川工科大学 Kanagawa Institute of Technology						

ホイール & タイヤ Wheels & Tires	①エンジン型式 ②排気量 ③最高出力 ④最大トルク ① Engine ② Displacement ③ max. power ④ max. torque	吸気タイプ 燃料タンク容量 Induction type Fuel tank Volume	変速機、シフト Shifter	ファイナルドライブ&デフ Final Drive & Differential	ブレーキ ①フロント ②リア Brakes ① Front ② Rear	特徴、その他 Unique Features & Notes
14 inch SUZUKI ATV130/430-10 DUNLOP Bias	①永久磁石型同期モーター (ブラシレス), ME0913, 1個 ② 12[kW] ③ 30[kW] ④ 90[Nm]	① Li-ion ② 76.8 V/96 V ③ 4.608 kwh/60 Ah	Nothing	Chain drive & LSD	① 2 outboard ② 2 outboard AJP calipers	Nothing
BiasWheel, 13" 1 Piece, RAYS, Volk TE37, Aluminum & Tire, Hoosier, R25B, 13" -20.5 × 6.0	①永久磁石型同期モーター (ブラシレス), 1個 Permanent magnet synchronous (Non brush), 1unit ② 15[kW] ③ 38[kW] ④ 130[Nm]	① Li-ion ② 120 V/130 V ③ 8.45 kwh/65 Ah	Not installed	ShaftTorsen	① 2 outboard Brembo calipers ② 2 outboard Brembo calipers	2 stage deceleration system and battery container arranged in both sides
10 inch Keizer Wheel & 18.0 × 6.0 -10 Hoosier R25B	① Permanent magnet synchronous (Non brush) , Emrax 228, 1unit ② 40[kW] ③ 100[kW] ④ 240[Nm]	① Lithium-Polymer ② 407 V/462 V ③ 6.7 kwh/1826 Ah	None	Single Chain Drive & Limited Slip Differential	① 4 piston ② 2 piston ISR Calipers	One Piece CFRP Monocoque/Aerodynamic Device/Self-assembly Battery/Self-made ECU
13 inch RAYS 20.5/7.0- 13 Hoosier Bias	①三相交流同期モーター, EM57, 1機 ② 38[kW] ③ 80[kW] ④ 250[Nm]	① Li-ion ② 355.2 V/403.2 V ③ 6.75k wh/19 Ah	None	Chain DriveFCC TRAC	① 2 outboard ② 2 outboard Brembo calipers	Traction control
13 inch BRIDGESTONE 175/60R13 77H	① HPEVs, AC20 motor ② 14.8 kW ③ 62.4 kW ④ 115 Nm	① LiFePO ② 3.2 V (each cell), 96 V (total voltage) ③ 60 Ah/5.8 kWh	None	Chain Drive & LSD	① 2 outboard ② 2 outboard Wilwood Calipers	Regenerative Braking, Front Panel Display with Web Connectivity, Can Bus Network

参加チーム【チームメンバー・スポンサー】

Team Information (Members and Sponsors)

注) [CP] チームキャプテン [FA] ファカルティアアドバイザー [MBR] チームメンバー ※ このデータは6/1現在のものです。

1 TU Graz

NO DATA

NO DATA

2 京都工芸繊維大学 Kyoto Institute of Technology

●メンバー

[CP] 中田侑甫, [FA] 太田稔, [FA] 射場大輔, [FA] 小牧靖昌, [MBR] 高田康裕, 柳田謙一, 中辻耕太郎, 林亮夫, 永井優太郎, 赤堀俊輔, 松山ひかる, 宮岡伸行, 川端千加良, 竹濱馨, 三宅貴士, 長谷川滉一, 板谷眞宏, 石原悠真, 磯部佳明, 上田雅大, 富井啓介, 野淵頌平, 南亮丞, 吉岡広平, 清水祐聡, 畠中美緒, 筒井裕介, 吉村友汰, 稲垣祐貴, 高見悠平, 太田美良乃, 大守美潮, 岸純平, 清水宏祐, 下村宗太郎, 中口真妃, 東根直紀, 古川達希, 宮嶋秀典, 山中元理, 吉岡直希, 渡壁美奈, 武藤達也

●車の特徴とチームの抱負

優勝から4年、今年は車両設計を改革しました。アルミ一体削りだしリアバルクヘッドでフレーム剛性を上げています。さらにエンジンをボアアップするなど、攻めの姿勢で望んでいます。優勝奪還を目指して頑張ります。

●スポンサー

スズキ, HILLTOP, 丹後機械工業協同組合, タンゴ技研, エクセディ, プロジェクト・ミュー, 日双工業, 琵琶湖スポーツランド, PHOENIX's POWER京都店, オキソ, THK, 日信工業, NTN, ミスミ, ジーエーティー, 富士精密, 住友電装, NUTEC Japan, ヘンケルジャパン, 協和工業, 東日製作所, 日昌製作所, ニフコ, サイバネットシステム, JFEスチール, キノクニエンタープライズ, 大同工業, 大東ラジエーター工業所, ニコル・レーシング・ジャパン, ハイレックスコーポレーション, プラスミュー, 京都ホイールセンター, 日東電工, 京都帝酸, 木下商店, AVO/MoTeC JAPAN, 松田精工, 松本金属工業, 近畿レンタカーサービス, タマディック, KIKエンジニアリング, 日本ヴァイアグレイド, igus, ITW PP&F Japan, ダッソー・システムズ, 深井製作所, ウミヒラ, TAKATA, KAKIE Racing TEAM



3 名古屋工業大学 Nagoya Institute of Technology

●メンバー

[CP] 富田崇史, [FA] 北村憲彦, [FA] 早川伸哉, [FA] 石野洋二郎, [MBR] 松山大地, 渡辺猛史, 高居京平, 服部誠司, 出村捷人, 澤田昂明, 山本広大, 引地健, 吉岡晃一郎, 大塚優, 吉田侑央, 山口裕史, 吉安悠介, 野村鴻介, 下平あすか, 澁澤美由, 村松里華, 山元映里, 清水宏幸, 菊池将, 阿部幹詩, 加藤遥介, 坂本湧基, 吉田朋世, 山浦摩紀, 佐野卓海, 川合章史, 加藤玲奈, 二村太士, 今津寛太, 前田直哉

●車の特徴とチームの抱負

N.I.T.-14は、名工大の特徴である軽量・低重心・低慣性を継承しつつ、パワートレイン・シャシーともに大幅に改良を加えました。チーム一丸となって開発を進め、総合3位以上を目指します。

●スポンサー

アイビー技研, IHI, アイエムイー, 青山製作所, アクセル, アスプロス, AZAPA, アネブル, アルテック, イシカワ, ISOWA, 出光興産, イブリダセル, 岩倉ラヂエーター商会, エクシード, NTN, FCデザイン, エフシーシー, 大塚製作所, 岡島パイプ製作所, 加藤ギヤー製作所, カレラクリニック, カーベック, 菊地シート工業, 岐阜プラスチック工業, 岐阜キヤード工業, 協和工業, 協和精工, 共和電業, 呉工業, 小糸製作所, コクビツジール, サカイオーベックス, サクラ工業, SIX VOICE, 信濃機販, 昭和飛行機工業, シングルハート, 伸光ケーシング, シンボリ, スズキ, スズヒロフォークリフト, 住友電装, 積水化成工業, 千歳機, センサー・テクノロジー・ジャパン, ソフトウェアクレイドル, ソリッドワークスジャパン, 大同メタル工業, ダイハチ溶接メカトロシステム, ダウ化工, タカタ, タマディック, ツゲプラセス, THK, デイトナ, テクノアシスト糟谷設計, 手島印刷, 東日製作所, トーテックアメニティ, 巴会, 中家製作所, 名古屋工業会, 名古屋樹脂工業, 日新鋼管, 日信工業, 日本精機, ファイベックス, プレニー技研, プロテクタ, プロト, ヘンケルジャパン, マキタ, ミクニ, ミスミ, 緑測器, 美浜サーキット・クニモト, 名東歯車, ヤマハ発動機,



4 同志社大学 Doshisha University

●メンバー

[CP] 森下祐, [FA] 藤井透, [FA] 大窪和也, [FA] 田中達也, [MBR] 本川勇哉, 長村弘一, 三浦一郎, 西脇佑太, 山内邑咲, Jin Yukai, 田中達也, 安東良祐, 土井啓史, 白井紗耶加, 荒木勇人, 一色聖矢, 瀨口大貴, 和田薫, 村井大樹, 月本啓太, 菊居龍之介, 越智翔大

●車の特徴とチームの抱負

「速くて操作性の良い車両」をコンセプトに掲げ、ドライバビリティの向上・運動性能向上の両立を図りました。今年度車両DF16で悲願の総合優勝を目指します。

●スポンサー

川崎重工業, 堀場製作所, ヒロミツ製作所, 鬼頭歯車, 日信工業, KOSO Taiwan, 和光ケミカル, イシダ製作所, 神戸製鋼所, 神鋼ノース, ソリッドワークスジャパン, ヤンマー, エクセディ, 岡島パイプ製作所, サンスター技研, A-factory, LittleM, 協和精工, ミスミ, ATS, NTN, THK, プロト, GSユアサ, 日本発条, 住友電装, 共和電業, 内山工業, 丸三自動車商会, アンダーレ, 協和工業, キノクニエンタープライズ, VI-grade, 深井製作所, プロテクタ, アルテアエンジニアリング, RAC, アンシス・ジャパン, ダイハツ工業, アクセル・オン, 美加ノ原板金塗装, 大俣印刷, 京都サンダーボルト, 富士精密, DYNOMAN, 市光工業, RSタイチ, RSコンポーネンツ, ザム・ジャパン, 江沼チエン, ジェイテクト, 大東ラジエーター工業所, 日鐵住金溶接工業, NOK, MathWorks, ヘンケル, ジョブテシオ, 竹の高度利用研究センター, 同志社エンタープライズ



5

大阪大学 *Osaka University*

●メンバー

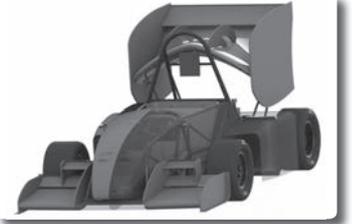
[CP] 成元椋祐, [FA] 林潤, [MBR] 北子雄大, 大浦大地, 井上寛之, 梶井省吾, 矢野太一, 池田州平, 原田勢那, 三橋結衣, 鈴木修平, 小出亜矢子, 石田拓人, 小林義典, 松岡裕介, 西村のどか, 納谷幸伸, 岡田健太郎, 松井太一, 峯田龍志, 柏木良太, 留永殉基

●車の特徴とチームの抱負

ドライバーが限界性能を使いきって全競技を走りきれるように、扱いやすく信頼性の高い車両となることを目指して設計しました。静的、動的の各種競技で好成績を出し、総合優勝を目指します。

●スポンサー

IDAJ, アルテアエンジニアリング, 葵工機, アルテクノ, RSコンポーネンツ, ウエダ, エフ・シー・シー, NTN, エフティテクノ, 大阪大学, 大阪大学フロンティア研究センター, オキソ, Keizer, 川崎重工, キノクニエンタープライズ, 協和工業, クボタ, ケービン, 神戸製鋼所, 国営アルミ製作所, 小松製作所, サイバネットシステム, 三洋化成工業, CKD, JVCケンウッド, シグナルオート, 新日鐵住金, 住友電工ハードメタル, 住友電装, スリーエムジャパン, ソフトウェアクレイドル, ソリッドワークスジャパン, タイガー製作所, 大成プラス, 大東ラジエーター, ダイハツ工業, ダイヘン, ツルガ, THK, 東日製作所, 東京アールアンドデー, 桃源郷, ニッカル商工, 日信工業, 日本ウェルディング・ロッド, 日本ヴァイアイグレイド, 日本オイルポンプ, 日本発条, 日本特殊陶業, BNLジャパン, ファロージャパン, 富士精密, プレニー技研, ヘンケルジャパン, ホーベック, MathWorks, マグナ・インターナショナルジャパン, 丸紅情報システムズ, ミスミ, 三井金属アクト, ミツ安製作所, ミネベア, エヌ・エム・ピー販売, ミタテ工房, 三ツ星ベルト, 湊川鉄工所, ムトーエンジニアリング, ユニオートプランニング, 和光ケミカル, ワコーテック



6

日本自動車大学校 *Nihon Automobile College*

●メンバー

[CP] 平野喜文, [FA] 上井裕一, [FA] 矢部光範, [FA] 門野寛, [FA] 東慎一, [FA] 和氣幹樹, [MBR] 會澤匠, 赤嶺昂洋, 秋元郁也, 石井守, 井原英毅, 奥田智貴, 尾道徳史, 金子大輔, 佐戸宥哉, 佐藤和志, 佐藤悟, 澤村洗祐, 嶋田誠, 志村真人, 田口栄一, 田中知亮, 八馬聖, 平野裕之, 深澤裕也, 藤崎卓, 藤崎祐一郎, 堀田督貴, 前田祐希, 太田武蔵, 長岡優明, 平野喜文, 細田隆義, 宮本隼輔

●車の特徴とチームの抱負

コンセプトに「旋回性能への挑戦」を掲げ、昨年車両よりもコーナリング性能を追求しました。六角フレームを採用しており、軽量・高剛性を図っています。東日本トップとして今大会は総合優勝を目指して頑張ります。

●スポンサー

アイ・アール・エス, アールエイ商会, アールエーシー, ウエストレーシングカーズ, AVO/MoTeC JAPAN, オエティカジャパン, キノクニエンタープライズ, ソフトウェアクレイドル東京支社, ダブリュ・エフ・エヌ, TAN-EI-SYA WHEEL SUPPLY, ティエムシー, 日産部品千業販売, 深井製作所, 本田技研工業, ホンダテクノフォート, マックメカニクスツールズ, モリワキエンジニアリング, Uniauto, 和光ケミカル



7

豊橋技術科学大学 *Toyohashi University of Technology*

●メンバー

[CP] 田中健太, [FA] 柳田秀記, [FA] 安井利明, [FA] 光石暁彦, [MBR] 吉田昂平, 井坂俊貴, 高橋慶介, 長池翔羽, 友田元貴, 藤井達也, 藤津侑哉, 待木諒, 山口達也, 山本紘太, 米川竜二, 泉侃人, 岡野健, 高見澤正樹, 宮地隆弘, 佐藤建, 橋士遠, 菅原祐哉, 山崎恭和, 綾田直人, 長尾康平, 佐伯拓朗, 伊賀雅文, 山下誉裕, 名出友斗, 小寺高德, 上田祐大, 木村憲人, 溝口哲也, 深山達也, 弥藤成熙, 小林龍平, 為國公貴, 横手裕太郎, 笹山高央, 増田雅士, 望月雄斗, 森山創一郎, 岸本涼雅, 田中伶青, 服部光治, 早川裕人, 松橋剛, 千葉正悟, 小栗慶也

●車の特徴とチームの抱負

今年度車輛"TG11"は、「Quick to Peak」をコンセプトに掲げました。車輛全体のパッケージング、エンジンの出力特性、各部の剛性を見直すことでコンセプトを達成します。また、静的審査への対策も行い、総合成績3位以上を目指します。

●スポンサー

武蔵精密工業, 三菱レイヨン, CDS, 三井金属アクト, 佐藤製作所, 大羽精研, 宮川工機, アイエムイー, 大同DMソリューション, 本田技研工業, ヘンケルジャパン, トビー工業, 高木木型, WINKS, サンライズ, AXSON JAPAN, ボップリベットのファスナー, ソリッドワークスジャパン, ミスミ, サイバネットシステム, 豊栄工業, ツケブラセス, オーファ, NTN, 和光ケミカル, オートスタジア・スキル, デンソー, 昭和飛行機工業, 玉津浦木型製作所, 住友電装, オーエスジー, デイトナ, 江沼チエン製作所, SHORAI JAPAN, 富士精密, 日本インシュレーション, 三協ラジエーター, 佐藤真空, 情報メディア基盤センター, CFCデザイン, 日油技研工業, タカタ, ナック・ケイ・エス, イグス, 東洋電装, エヌ・エム・ピー, ファーストモールドィング, 日本発条, ネクスト, YSP豊橋南, ISK, 研究基盤センター-工作機器部門, 極限成形システム研究室



8

九州工業大学 *Kyushu Institute of Technology*

●メンバー

[CP] 園田慶太, [FA] 河部徹, [FA] 森直樹, [MBR] 池田周平, 稲津里香, 岩渕大允, 上野友基, 浦野夢希, 大友晋輔, 大野史希, 木村竜竜, 小塚信史, 後藤由希考, 小西剛史, 柴田将志, 筒井翔太郎, 中尾薫平, 中川朋哉, 中根寛史, 中野佑里香, 中村誠, 原口貴大, 細木大祐, 松井政憲, 松田淳志, 宮崎光徳, 村上祐尉, 室津遼, 森井勇作, 山口駿介, 神野佑也, 阿部智文, 桑野僚大, 坂田匠成, 林田弘樹, 山口陽介

●車の特徴とチームの抱負

今年度は、昨年度と同様チームコンセプトを「All for Speed 扱いやすさと高性能の追求」、チーム理念を基本性能の成熟とし設計・製作を行いました。昨年度の基本性能を踏襲しつつ、さらに軽量化を図ることで悲願の表彰台入り(6位以内)を目指します。

●スポンサー

IDAJ, 旭化成建材, アルトナー, アールエーシー, イグス, 石原ラジエーター工業所, エア・ガシズ北九州, NTN, エフ・シー・シー, オフィスケイ, 川崎重工, キノクニエンタープライズ, 九州工業大学機械実習工場, 協和工業, 神戸製鋼所, サイアン, 佐々木工業, 株式会社工務, 住友電装, 大成プラス, 高田工業所, 高橋工機, THK, デンソー, トレイルバックス, 日本発条, 日本軽金属, 日本ヴァイアイグレイド, 深井製作所, 富士精密, プライムガレージ, プロト, ヘンケルジャパン, TONE株式会社, マッハFC, ミスミ, ミネベア社団法人明専会, やまと興業, ヤマカコーキン, レーシングサービスワタナベ, 和光ケミカル, HPCシステムズ, ソフトウェアクレイドル



参加チーム【チームメンバー・スポンサー】

Team Information (Members and Sponsors)

9 日本工業大学 Nippon Institute of Technology

●メンバー

[CP] 高澤悟, [FA] 中野道王, [FA] 安原鋭幸, [MBR] 遠又諒, 稲毛基大, 土屋俊一, 宮内崇成, 酒井達也, 関口裕紀, 渡辺将源, 夢沼美波, 松本大河, 布施拓馬, 門前光佑, 園田晃一, 沼田祐亮, 雨宮裕貴, 坂本慈瑛, 清水雅人, 川島史也, 本多海雅, 福田真教

●車の特徴とチームの抱負

今年度車両は昨年度車両をベースとし、足回りの設計を見直すことでドライバーの乗りやすい車両を造り上げました。動的審査と静的審査ともに点数を向上させ、総合順位7位と省エネ賞2連覇を目指します。

●スポンサー

日本工業大学, 日本工業大学工友会, ヤマハ発動機, BODY SHOP MASUDA, ジュニアモーターパーク クイック羽生, はらっぱーく宮代, RSワタナベ, ダウ化工, NITEC埼玉産学交流会, 日信工業, ソリッドワークスジャパン, 高山商事, ウエストレーシングカーズ, 富士精密, 和光ケミカル, SEKI, レイズ, NTN, 須藤秀一, 高田歯科, 佐野健一, F.C.C., シルクマスター, ドクスタイル, 伊藤動物病院, 協永産業, 栄鋼管, プラスミュー, 協和工業, 日工テクノ, IRS, グローバルエナジー, クリヤマ, 忍機工, 萩原建設, 阿部技研, 甘楽一男, 中村建設, 大島オートサービス, ガルレダ, オーテック鈴鹿, テラダ, VSN, トヨタレンタリース, Vi-grade, プラスプラスックス, 本田技研工業, モトリバティ, HBM, 石川インキ, IDAJ, 新素材研究室, セロ, 日光溶材, ヘンケルジャパン, トウヨーネジ, アルキャンハンズ, 市光工業, NMB, COMFORT, MISUMI, 沢井建材店, ヒーハイス精工, 小井金精機製作所, 新報国製鉄, PMC, KEIZER, 久保修一



10 King Mongkut's University of Technology Thonburi

●メンバー

[CP] Marnopart Pungkiattikul, [FA] Assoc.Prof.Surachate Chutima, [MBR] Prapanpong Damsomgsaeng, Nipitphon Wattananit, Nattapat Limkryson, Artitaya Pattanapanich, Itthipon Suesat, Peerapong Tangitsarapharp, Rubporn Thongrueng, Kanyakorn Yodkeaw, Naphat Patumasuit, Nattapong Panyaakratham, Supawit Kaoudom, Pongsiri Siripong-arpone, Alongkorn Chanta, Varintorn Luangsirisup, Jassada Suwannarach, Suchon Choeibua, Nichapat Jarujaroonsri, Aungsumalee Lapanunt, Wisha Chuengviroj, Thanana Khuchumruthai, Haritchok Samkampang, Thanakrit Rattanamongkol, Chonravit Nuya

●車の特徴とチームの抱負

The integration of the high performance system and assistance technologies to the racing car. We design and manufacture the racing car Not only for professional drivers but also inexperienced drivers

●スポンサー

Oxiso (Japan) Co., Ltd +, Exedy Friction and Materials (Thailand) Co., Ltd +, N.T.S Co., Ltd +, Cobra International Co., Ltd., SKF Thailand co. Ltd, Michelin Siam Company Limited, Mana Mama Co., Ltd., Tozzhin International Corporation Co., Ltd., ASSAB Steels (Thailand) Ltd., Naspa Asia Co., Ltd., Singha Corporation Co., Ltd., Maeklong Garage Co., Ltd., Charoen Pokphand Foods Public Co., Ltd., SAIC Motor-CP Co., Ltd.,



11 成蹊大学 Seikei University

●メンバー

[CP] 赤穂雄也, [FA] 堀口淳司, [FA] 佐藤道憲, [MBR] 吉田一揮, 橋本高明, 船田昂佑, 野島雄貴, 新村健太, 赤澤海知, 神阪智大, 藤田康平, 真利子翼, 森松将隆

●車の特徴とチームの抱負

今年度は車両コンセプトに「楽しさの追求」掲げました。新たに安全性の向上に取り組み、なおかつ昨年度車両を進化させることで過去最高成績の総合10位を目指します。

●スポンサー

東鋼管工業, アルテアエンジニアリング, HKS, NTN, F.C.C., 協和工業, 近藤製作所, 小林機工, 住友電装, ダウ化工, THK, 東北ラヂエーター, 新高ギヤー, 日信工業, 新羽金属工業, ニフコ, BGジャパン, 深井製作所, 富士精密, フューチャーテクノロジー, 本田技研工業, ミスミ, モトバム, ヤマナカコーキン, ユタカ技研, 成蹊大学理工学部同窓会



12 名城大学 Meijo University

●メンバー

[CP] 宮川弘基, [FA] 早藤英俊, [MBR] 相京里奈, 荒古貴一, 磯部文洋, 伊藤凱, 伊藤幸多, 岩原誠吾, 小貫泰典, 加藤凌, 小阪望, 佐藤大智, 清水亮男, 杉山勇希, 園川雄基, 塚本涼, 津田大輝, 徳留尚樹, 中井宏彰, 中込航平, 永津陽一郎, 村井和稀, 森嶋康太, 横山港

●車の特徴とチームの抱負

昨年度は歴代2番目となる総合12位を収めることが出来ました。今年度は昨年とほぼ同等のパッケージングを引継ぎ、且つ軽量化を図った車両でトップ10以上を目指します。

●スポンサー

アイエムイー, 天木鉄工, アルトナー, アンシスジャパン, 石野サーキット, エンブレラ, オキソ, 江洋ラチエーター, 協和工業, サイバネットシステム, サカイオーベックス, 三五, 三和メック, 住友電装, ソフトブレイン工業, ソリッドワークスジャパン, ダッド, 手島印刷, トータルテクニカルソリューションズ, トーテックフロンティア, 日信工業, ネクスト, ハイタップ, 牧野自動車, ミスタータイヤマン, ミスミ, ミナロ, ヤマハ発動機, レインボーカートコース, レーザテック, 和光ケミカル, CAST, D.I.D, FCデザイン, GAT, GS YUASA, NTN, RAMPF Group Japan, WADA WELDING (五十音順)



13 Tongji University

●メンバー

[CP] Wang Da, [FA] Zhou Dekuan, [FA] Zhen Yujun, [MBR] Zhang Guangyu, Wang Bin, Dai Wei, Pan Lu, Zhang Jiarui, Yuan Luyao, Li Xiaojie, Zhang Bo, Zhao Xinyu, Wei Yuehua, Wang Honglong, Bao Runqiu, Guo Yexuan, Zhang Bin, Feng Ye

●車の特徴とチームの抱負

Car Features: pneumatic paddle shifting Full set of aerodynamic package
Launch Control Carbon fiber A-arms & pull rod Team Aspirations: Top 10

●スポンサー

JTEKT, Continental AG, The MathWorks, KSPG AG, BorgWarner, NSK, ZF Friedrichshafen AG, Giti, Magneti Marelli, Shanghai Fuan Industrial, Shanghai Kartworld, Bosch, Shanghai Fuel Cell Vehicle Powertrain Co., LTD, Shanghai Xin'an, Lemo Connectors, ANSYS, MSC Software, Altair Engineering



14 トヨタ名古屋自動車大学校 Toyota Technical Collage Nagoya

●メンバー

[CP] 竹村大, [FA] 早川哲也, [MBR] 佐藤優朗, 藤田晃輝, 林朋大, 濱口知央, 矢野雄大, 嶺澤宏旭, 宜本将裕, 宮地一樹, 寺田洋介, 知花謙一郎, 小林俊吾, 佐藤隼, 竹内隆文, 磯谷誠人, 植田譲彦, 山田真寛, 北出正人, 大橋直希, 富田大敬, 谷口匡士, 澤田篤志, 各務倫之, 古谷峻, 松田裕貴, 廣瀬賢一, 木根雅隆, 中園健太郎, 佐藤友哉, 藤居真広, 溝口祐一郎, 吉見淳, 田端辰匡, 日比悠也, 森岡俊祐, 早川裕介, 加藤友樹, 黒田尚平, 浦山拓也, 小原得公, 高瀬瑛紀, 菊谷将和, 桐山孟, 神田大地, 鈴木隼人, 大辻智靖, 松田恭一, 塩澤魁, 代田観識, 吉永幸陽, 山本遼, 須田陽太, 外川慧, 吉永弘大, 石川俊

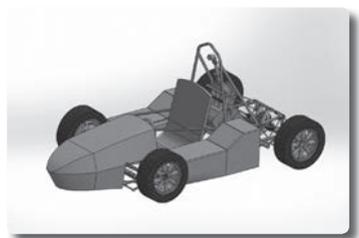
●車の特徴とチームの抱負

本年度は「信頼性の上に成り立つドライビングの楽しさ、興奮を手軽に実現する車両」をコンセプトに掲げ、早い時期のシェイクダウンによるマシンの信頼性向上

を果たし、過去最高順位の更新を目指します。

●スポンサー

ヤマハ発動機, 日本グッド・イヤー, タクティ, エフ・シー・シー, 岡野エレクトロニクス, NTN, 協和工業, 新明工業, 関谷醸造, ソリッドワークス・ジャパン, 大仙産業, 高木製作所, タッド, トヨタカラー愛知, 豊田合成, ニコルレーシングジャパン, バイコージャパン, 深井製作所, 和光ケミカル, 矢崎総業, センサー・テクノロジーズ ジャパン, 教育産業, axona AICHI, イワタフクナー, イービー愛知, キョウセイ交通大学



15 大阪工業大学 Osaka Institute of Technology

●メンバー

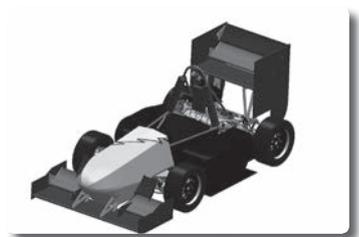
[CP] 窪田勝哉, [FA] 桑原一成, [MBR] 今榮仁志, 平尾拓也, 金子匠, 片山英太郎, 山口友輔, 鳥巢仁, 徳永匠真, 畠中聖弥, 村上大夢, 地山貴大, 武井優子, 佐竹航, 藤居幹哉, 谷飲太, 田村豪規, 古川慎也, 大須賀睦葵, 上野仁志, 中辻万平, 三浦光貴

●車の特徴とチームの抱負

今年度の車両コンセプトは「Circuit Eagle」です。高速飛行から急旋回する鷲の動きを目指し、4気筒エンジンのパワーと旋回性を兼ね備えた車両を開発しました。大会では、チーム一丸となって私たちの速さを証明し、歴代最高順位を目指します。

●スポンサー

スズキ, ソリッドワークス, 日信工業, NTN, グループ・エム, オーゼットジャパン, 舞洲インフィニティサーキット, 水谷製作所, アルテアエンジニアリング, 大阪パネ工業, 協和工業, ジョブテシオ, ニフコ, エフ・シー・シー, 日双工業, 大阪フォーミング, 深井製作所, エム・シー・エス, 興研, シグナル, オーエスジー, 住友電装, デンソー, タカタ, プロジェクト・ミュー, ワークスベル, ホンダテクノフォート, CAST, ゼネテック, アールエーシー, NANIWAYA, 大東ラジエーター, 日本ウエイアイグレイド, U工房, イグス, RICARDO, 水田製作所, ノースヘルズ溶接工業, SHAPE FIELD, レーザーテック, MASA溶接技工, ヨシオカ, K-TECH, P's Supply, オクノグローバルテック, ZION, センサー・テクノロジーズ



16 横浜国立大学 Yokohama National University

●メンバー

[CP] 植松亮裕, [FA] 佐藤恭一, [MBR] 岡本優, 三井玲, 福地起幸, 佐藤駿紀, 中田亜紀, 塙直己, 堀雅敬, 星野亮政, 三枝恵司, 市川貴之, 鈴木祐太郎, 笠原彬宏, 井畑知明, 椎橋祐介, 古澤善克, 川瀬幹登, 永瀨恭佑, 秋山直輝, 瀧本悠樹

●車の特徴とチームの抱負

私たちは、「Drive at Will」のコンセプトのもとYNFP-16の開発を行い、短い走行期間、限られたリソースの中でも車両の限界性能を安定して引き出すことを目指しました。歴代メンバーの悲願である総合優勝を狙います。

●スポンサー

アールエスコンポーネンツ, イグス, 石原金属化工, エヴォルテックジャパン, オートデスク, 開明製作所, 神奈川厚板, 金子歯車工業, 関東工業自動車大学校, キノクニエンタープライズ, 協和工業, 呉工業, クロスロード小山, コイワイ, 小松製作所, サイバネットシステム, 三和メッキ工業, ジーエーティー, ジョブテシオ, ジョブハッチ, シ

ンコー, 新星機工, 樹脂リードモデル, ジュニアモーターパーククイック羽生, 住友電装, セットエフジャパン, ソリッドワークス・ジャパン, 大成プラス, タイヤフィッター横浜都筑店, ダイナテック, タシロ, 田畑ラヂエーター, 東日製作所, 東邦通信システムズ, 東洋電業, トルンブ, ドイト・ヨコハマ, 滑川軽鋼, ニイガタ, 日研製作所, 日信工業, 日本自動車大学校, 日本精工, 日本発条, 日本ブイアイグレイド, ネット, 深井製作所, 富士精密, 本田技研工業, マキタ, ミスミグループ本社, 三井金属アクト, ミットヨ, 安久工機, 柳瀬, 横浜高周波工業, 横浜国立大学機械工場, 横浜国立大学名教就美会, IDAJ, アイ・アール・エス, MOTUL, (テクノイル・ジャパン K.K.), NTN, VSN, エフ・シー・シー, 神戸製鋼所, 日本ドライケミカル, 武蔵ホルト



参加チーム【チームメンバー・スポンサー】

Team Information (Members and Sponsors)

17 静岡理科大学 Shizuoka Institute of Science Technology

●メンバー

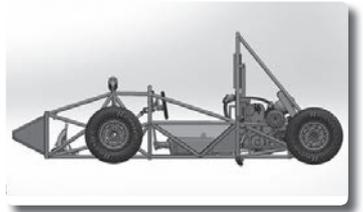
[CP] 鈴木恭介, [FA] 高林新治, [FA] 土屋高志, [MBR] 石井はるか, 川合貴士, 鈴木一輝, 竹内佑真, 松本和也, 木村駿吾, 一木龍也, 坂本和哉, 新村磨矢, 牧野駿, 水島永雅, 高橋亮介, 青山千晃, 奇特涼平, 杉浦聖大, 矢野幸子, 田淵聖之, 古谷優知

●車の特徴とチームの抱負

SFP16ではパワーウェイトレシオの向上とヨー慣性モーメントの低減を目標に設計開発をおこないました。そのため10インチ化、ターボ化に取り組みました。今年は動的競技1位を目指します。

●スポンサー

スズキ、樺葉鉄工所、ソリッドワークス・ジャパン、鳥居自動車、ユニバンス、NTN、デイトナ、大同工業、関ものづくり研究所、THK、協和工業、センサータテクノロジーズジャパン、オエティカジャパン、タイコエレクトロニクス、矢崎総業、アイ・アール・エス、小橋金属、SHOEI、深井製作所、ユタカ技研、エヌ・エム・ピー販売、プロトラッド、ザム・ジャパン、イグス、ISK、ミスミ学生ものづくり支援、住友電装、協永産業、ウエストレーシングカーズ、富士コミュニケーションズ、小糸製作所、富士ゼロックス、ベルキャリアール、東芝、鈴与商事、鈴与システムテクノロジー、鈴与建設、静岡ビルサービス、中央発明研究所、東日製作所、MathWorks、アルトナー、日信工業、富士精密、呉工業、IDAJ、ロード・ジャパン、キノクニエンタープライズ、日本発条、柴田車輪



鈴与建設、静岡ビルサービス、中央発明研究所、東日製作所、MathWorks、アルトナー、日信工業、富士精密、呉工業、IDAJ、ロード・ジャパン、キノクニエンタープライズ、日本発条、柴田車輪

18 東京農工大学 Tokyo University of Agriculture and Technology

●メンバー

[CP] 三好淳之介, [FA] 鎌田崇義, [MBR] 板倉周平, 丸山永容, 北川廉, 白山祐大, 澤間裕人, 橋本一步, 小山陸, 浅岡大知, 新沼宏朗, 西本隼吾, 牧野慶慶, 小松航, 笠原新太, 曾山農登, 植木文太郎, 高田青空, 今井雅人, 竹村英敏, 菱沼祐太, 石川遥登, 前澤美海, 佐藤建都, 長屋早徒, 牧野真大, 小林尚史

●車の特徴とチームの抱負

2016年度車両NK12では「Easy」をコンセプトに掲げ、設計・製作を行いました。全種目完走を成し遂げ、歴代最高位である総合10位獲得を目標にチーム一丸となって大会に臨みます。

●スポンサー

IDAJ、NOK、NTN、エフ・シー・シー、FCデザイン、金子歯車工業、上島熱処理工業所、協和工業、京葉ベンド、近藤科学、住友電装、ソリッドワークス・ジャパン、タカタ、ティラド、THK、DMM.com、中井インターサーキット、新高ギヤー、日信工業、日本自動車大学校、ニチリン、ニッポンレンタカー、ハードロック工業、Pronto 配線コム、深井製作所、本田技研工業、ユタカ技研、隆盛工業、レイズ、レノボ・ジャパン、和光ケミカル、東京農工大学機械システム工学専攻、東京農工大学機友会



東京農工大学機友会

19 金沢工業大学 Kanazawa Institute of Technology

●メンバー

[CP] 嶋崎竜哉, [FA] 椎谷基, [MBR] 荒川清香, 飯野 晟典, 小口翔, 木村光汰, 菅沼俊哉, 野田真之介, 花村勇哉, 松本隆義, 有元良輔, 井口湧登, 川野航斐, 北村正拓, 西川秀輝, 西出裕, 野島佑太, 松坂貴裕, 三石陽亮, 守拓也, 森田浩貴, 甘利建文, 有江奈緒子, 池田雅宏, 尾崎雅也, 角本健太, 酒井裕幸, 坂野光一, 坂本明範, 笹川拓未, 高久佳雅, 高橋穂, 山本拓実, 渡辺基樹, 長谷川友佑, 広瀬朝彦, 若林俊亮, 高島茂樹, 三宅良汰, 袋井聖弘, 五十嵐全人, 上野航大, 國分浩太郎, 阿部航輝

●車の特徴とチームの抱負

今年度は「一体感」をKIT-16modelの車両コンセプトとし、ツインラジエーターやサードダンパーを採用した新車両を設計・製作しました。全種目完走完走し、総合9位以内を目指します。

●スポンサー

アキラックス、ウエダ、AVO/MoTeC Japan、S-GRID、NTN、F.C.C.、キノクニエンタープライズ、草島ラジエーター工業所、スズキ、住友電装、高松機械工業、TAN-EI-SYA、大同工業、トラップ、日信工業、深井製作所、ミスミ、ラストラダ販売、近藤科学



近藤科学

20 名古屋大学 Nagoya University

●メンバー

[CP] 小林哲朗, [FA] 鈴木達也, [MBR] 濱田翔多, 三久保瑛, 小杉泰生, 小杉直, 永田裕宣, 西尾俊亮, 中野匠望, 豊島義弘, 石田陸, 宮島雅治, 山田陽平, 中野壮毅, 柴山瑛輝, 三下純平, 譜岐侑大, 久野僚介, 楠直純, 安部英和, 吉田悠樹, 藤井海斗, 脇屋照士, 沼田修佑, 山口健太, 高木新, 杉浦圭, 前川祐太, 三島直子, 瀧春菜, 西村直樹, 澤田航, 富田佐央里, 中尾海斗, 辻温乃, 塩谷晃平, 坂本恭晃, 竹内裕也, 小川海渡, 伊藤匠哉, 竹岡日菜, 安藤静花, 村上萌, 阿部完, 内田悠斗, 木村勉晴, 赤石大地, 濱田達也, 伊藤佑太, 加藤大雅, 加藤広隆, 根岸孝征, 宮木龍, 石黒大成, 定行滉司, 中神壮馬, 鈴木奨, Stanley Winata

●車の特徴とチームの抱負

今年度マシンFEM-13は「Formula Entertainment Machine」をコンセプトに掲げ、扱いやすい速さを目指しました。昨年の雪辱を果たすため、チーム一丸とな

って王座奪還を目指します。

●スポンサー

アーク、アイエムイー、アイン・エイダブリュ、IDAJ、JPG Automotive、アクティブ、旭千代田工業、石原ラジエータ、ISOWA、岩倉溶接工業所、エイダブリュ・エンジニアリング、エイティエス、エスエスモールド、エッチケーエス、NS Welding、江沼チエン製作所、O.Z.S.p.A.、オートバックセブン、大山エンジニアリング、岡島バイプ製作所、カーベック、カエルナラ、加藤カム技研、加藤ギヤー製作所、蒲部製作所、河村工機、CAST、キャリオ技研、キョウセイ交通大学、協和工業、共和電業、呉工業、興和、興研工業、幸田サーキットYRP、桐山、神戸製鋼所、コックピットゾール、サイバネットシステム、シーシーアイ、CTS TRADING Incorporated、スウイング、住友電装、スリーボンド、ZF Friedrichshafen AG、ソリッドワークス・ジャパン、第一製機製作所、大豊工業、タカタ、中部工業、テクウェル、テクノ・オイル・ジャパン、テクノソリューションズ、電子通信、デンソー、東日製作所、東邦テック、トップラインプロダクト、トヨタケラム、中澤精造所、西日本高速道路エンジニアリング関西、日信工業、日本ワイアイグレイド、日本軽金属、日本研紙、日本トムソン、日本発条、日本パーカライジング、ネクスト、ハイレックスコーポレーション、ひびき精機、ファッションミシマヤ、富士精密、藤田電子工業、藤本サービス、古藤工業、プロテクト・ヘンケル、ボーイング、HOT、ポリプラスチックス、ホンダドリーム名古屋西、MathWorks、丸紅情報システムズ、丸和機械、ミスミ、ミルインターナショナル、ムトーエンジニアリング、メイデー、モリワキエンジニアリング、RAMPF Group Japan、レゾニック・ジャパン、ワールドワーク、トヨタ自動車 名古屋大会、デンソー、東山会、豊田中央研究所、アイン精機 名古屋大学OB会



名古屋大学OB会

21 東京都市大学 Tokyo City University

●メンバー

[CP] 石川裕也, [FA] 三原雄司, [MBR] 岡村優希, 小林大吾, 篠原健, 田中香帆, 富澤謙太, 永野裕介, 福満拓希, 森山諒一, 山形昇平, 木村航洋, 五味雄理, 芝貴之, 副松春佑, 中野広隆, 中山暉也, 堀口征利, 松村優佑, 湯原隆博, 青山浩平, 荒井啓介, 中山智貴, 原大輔, 宮崎碧海

●車の特徴とチームの抱負

今年度の車両M2016は、「ドライバビリティの追求」をコンセプトに掲げ、ドライバーが扱いやすく思い通りに走れる車両を目指して製作しました。チーム初となるウィングを搭載し、進化したM2016で上位を目指します。

●スポンサー

AVO/MoTeC Japan, NTN株式会社, オスコ産業株式会社, 株式会社イワモト, 株式会社エフシーシー, 株式会社キノクニ, エンタープライズ, 株式会社泰和, 株式会社, 慶應インターナショナル, 株式会社小山ガレージ, 株式会社ソケットセンター, 株式会社東京アールアンドデー, 株式会社パイオラックス, 株式会社ハイレックスコーポレーション, 株式会社不二製作所, 株式会社富士精密, 株式会社ミスミ, 株式会社ミノルインターナショナル, 株式会社レーシングサービスワタナベ, 協和工業株式会社, 小原歯車工業株式会社, サイバネットシステム株式会社, ジュニアモーターパーククイック羽生, スズキ株式会社, 住友電装株式会社, ソリッドワークスジャパン株式会社, 帝都ゴム株式会社, 東洋電業株式会社, 日軽金アクト株式会社, 日産自動車株式会社, 日信工業株式会社, 日本軽金属株式会社, 日本発条株式会社, 古河電池株式会社, 本田技研工業株式会社, マイスタークラブ有限公司, 北村工業, 有限公司, 日研製作所, 有限公司, ベア, UDトラック株式会社, 株式会社IDAJ, 京葉バンド株式会社, 株式会社, 東日製作所, 有限公司, 平山自動車工業, 株式会社, スズキエンジニアリング株式会社, 深井製作所, 丸紅情報システムズ株式会社, 東洋電装株式会社, 中里歯車工業, 有限公司, 丸山ラジエーター工務所, ジョブテック株式会社, 株式会社ムサン, 株式会社タシロ, 有限公司, 伊藤精密密着工業所, 中村鉄工株式会社, 有限公司, プラスミュ



22 芝浦工業大学 Shibaura Institute of Technology

●メンバー

[CP] 山口溪, [FA] 斎藤寛泰, [FA] 渡邊大, [MBR] 鈴木佑奈, 大河原悠介, 大澤悠太, 小林海, 黒木雅也, 井上翔太, 山下那央, 松丸和也, 大竹隼, 五十嵐雄大, 吉野暁大, 長倉朱里, 鈴木悠史, 松宮一樹, 丸山航平, 平木凱, 川口達也, 渡辺一誠, 小林英人, 濱田元気, 中田有紀, 堀川耕平, 諏訪一樹, 鈴木連真, 佐藤祐也, 松本賢, 石岡司, 大石遊, 川久保卓, 名取顕人, 金子隼, 鷲巣壮真, 國貞有吾, 増茂隆成, 清水悠佑, 丸山郁也, 小林慧多, 石田泰之

●車の特徴とチームの抱負

車両コンセプトは「基本性能の追求」とし、車両パッケージングは変更せず各パーツのブラッシュアップを行い車両の性能向上を目指しました。これまでのプロジェクト同様、総合順位6位以上を目指します。

●スポンサー

アールエーション, RSコンポーネンツ, アールケー, ジャパン, アスペクト, アルバック機工, イグス, 井上鉄工所, エッチ・ケー・エス, エヌ・エム・ビー販売, NOK, エヌケーエヌ, NTN, M-TEC, 遠藤木型, 大屋技術伝承塾, 金子製作所, 関東工業自動車学校, カーベックキャロッセ, 協永産業, 協和工業, 黒坂鍍金工業, ケーヒン, 小林機工, 三協ラジエーター, 三晃製作所, ジュニアモーターパーククイック羽生, 住友電装, ソフトウェアクレイドル, 太陽ステンレススプリング, デンソー, 東亜, 東京アールアンドデー, 東京チタニウム, 所沢軽合金, 日新鋼管, 日信工業, ニフコ, ハイレックスコーポレーション, フィアローコーポレーション, 深井製作所, フューチャーテクノロジー, プラスミュ, 本田技研工業, 本田技術研究所, ホンダテクノフォート, ホンダマイスタークラブ, ミスミ, ミノルインターナショナル, 安久工機, UDトラック, ユタカ技研, 横河工事, ライズインターナショナル, 落雷抑制システムズ, レイズ, ワークスベル, 和光ケミカル (五十音順)



23 京都大学 Kyoto University

●メンバー

[CP] 松本太斗, [FA] 山路伊和夫, [MBR] 井上慎平, 鈴木雅史, 中村葵

●車の特徴とチームの抱負

昨年度コンセプトを煮詰め信頼性を向上させました。二つの武器であるスーパーチャージャーとツインシャシをブラッシュアップし、悲願の頂点へ…KARTは邁進します。

●スポンサー

森精機製作所, ヤマハ発動機, オキソ, ジェイテクト, UACJ, NTN, ミタテ工房, 浅野歯車工作所, 井尾製作所, 二九精密機械工業, 住友電装, 住友電工ハードメタル, 住友電気工業, ソリッドワークスジャパン, 近藤科学, ウミヒラ, 日本精工, エーティーエス, 啓信会グループ, デンソー, THK, 琵琶湖スポーツランド, 山岸本舗, イシダ製作所, 廣部機型製作所, 小松製作所, AVO, 三和メッキ, ミスミ, 速水矯正歯科, テクノイルジャパン, ワークスベル, カフィール, 岩井木型製作所, タイヤボックスエボルヴ, ANSYS, サイバネットシステム, 田中製作所, 日本軽金属, 日信工業, 旭化成建材, エム, ウィット, サンライズ, エンタープライズワイ, フューチャーテクノロジー, ネクス

ト, IDAJ, CAST, 昭和飛行機, マツダ英会, 中部化研工業株式会社, ヤンマー, 名阪スポーツランド, プラスミュ, テックサーフ, コンテックラボ, 東日製作所, 美誠社, 松本金属工業, テクノソリューションズ, 京機会, 京都大学機械系工作室



24 愛知工業大学 Aichi Institute of Technology

●メンバー

[CP] 瀧直史, [FA] 藤村俊夫, [MBR] 青山大輝, 井出知秀, 青木伸也, 太田優也, 清水飛鳥, 水谷佳景流, 神藤暉, 平田貴寛, 崎崎瑠佳, 福田隼介

●車の特徴とチームの抱負

前年度のマシンA I T-15をベースに、アイポイントを下げることに合わせてカウルデザインを見直し、さらにフロント・リアウィングを追加した。足回りについてはアップライトの軽量化とブレーキディスクの高剛性化を図った。インテークマニホールドに関しては流れの改善により体積効率を向上させた。今年度こそは、総合順位15位以内を狙い、全種目完走を目指す。

●スポンサー

ヤマハ発動機, エフティテック, アルトナー, 前田セルサービス, エイアイテック, 株式会社アイエムイー, 丸弘鋼材, オーエスジー, 住友電装, 住友ゴム工業, ダイウ化, アネブル, 東洋高周波工業, サード, エフシーシー, エヌケーエヌ, NTN, オーゼットジャパン, 渡辺工業, 岡島パイプ製作所, アクセル, レイズ, 日信工業, ナカダクラフト, ソリッドワークスジャパン, THK, 協和工業, ミツトヨ, ウェストレーシングカーズ, 二階堂ボディークラス, 笹野商店, 榮進堂書店, 愛知工業大学チャレンジプロジェクト, スズヒロ, タカタ, 梅野産業, D.I.D, 国美コマース, アクティブ,



参加チーム【チームメンバー・スポンサー】

Team Information (Members and Sponsors)

25 東京理科大学 Tokyo University of Science

●メンバー

[CP] 岡魁人, [FA] 川口靖夫, [MBR] 岩埜弘夢, 川邊崇巧, 小原忠篤, 古渡大輝, 畠山一希, 松本華子, 八島渉, 川上奏, 大塚好人, 奥村茂里, 小林達晴, 小山友介, 阪田智樹, 羽山泰生, 平岡拓巳, 藤本空知, 森勇人, 柳澤瀬名, 前田寛喜, 木村郁仁, 吉山光佑, 太刀川志志

●車の特徴とチームの抱負

「高い限界性能と応答性」をコンセプトに掲げ、旋回時の高いグリップ性能、ブレーキングと操舵に対する優れた過渡応答特性、扱い易い出力特性をもつ車両の開発を目指しました。チーム一丸となり表彰台を狙います。

●スポンサー

IDAJ,FCデザイン,エムエフマツモト,カルソニックカンセイ,キノクニエンタープライズ,グループ・エム,ケー・ヒン,近藤化学,三恵技研工業,テクノイル・ジャパン,デンソー,トップラインプロダクト,ニコル・レーシング・ジャパン,日本オイルポンプ,日本軽金属,日本プレート精工,プレイヴオート,ホンダ技研工業,丸紅情報システムズ,リオン,井上特殊鋼,栄鋼管,昭立製作所,エヌ・エム・ピー,オーゼットジャパン,オリフラム,協和工業,GOODRIDGE,コンチネンタル・オートモーティブ,サイアン,ゼット・エフ・ジャパン,東京アールアンドデー,日信工業,ニッパツ精工,日本精工,日本トムソン,日本発条,プラスミュー,ユタカ技研,レアーズ,ワークスベル,市光工業,Alm Tech Srl,LDLテクノロジージャパン,ケーメックス,住友電装,センサータテクノロジーズ・ジャパン,タイコエレクトロニクスジャパン,旭化成建材,公道ケミカル,コパックス,サイバネットシステム,Dジョブアサヒ,シグナルSHOW UPサポートセンター,ヒューチャーテクノロジーズ,ヘンケルジャパン,ミナロ,RAMPF Group Japan,NTN,エフ・シー・シー,江沼エンジンズ,ジャパン,協和レザー,シールドエアージャパン,タカタ,深井製作所,アネパル,アルテアエンジニアリング,イグス,NOK,オイレ工業,神戸製鋼所,シティカート,ジュニアモーターパーク,クイック羽生,ジョブテック,新屋精工,ソリッドワークス・ジャパン,電通育英会,東亜,東日,新野金属工業,日本ワイアグレイド,ニフコ,日本自動車大学校,ノルロックジャパン,ハイレックス,コーポレーション,富士精密,古藤工業,堀越精機,マルニ精機,マックスネット,ミスミ,水戸工機,三和メッキ,ロブテックス,ユーロポート,VSN



26 工学院大学 Kogakuin University

●メンバー

[CP] 宮崎大, [FA] 野崎博路, [FA] 雑賀高 [FA] 見崎大悟, [MBR] 金野竜也, 沖田誠司, 野崎功旺, 大倉明弘, 土器雄一, 山崎葉瑠, 小柳津大希, 中島亮平, 早川雄大, 佐藤僚亮, 三宅結美, 坊野菜々海, 小佐部葵, 木田悠介, 大内駿也, 佐藤睦, 島村凌平, 小池琢斗, 吉井一弘, 荒川拓宣, 南雲活広, 辻智駿, 内山洋人, 西濱悠, 須藤航平, 吉村慎太郎, 上原誠人, 清水葵, 高野拓郎, 竹内啓, 本田翔太郎, 橋本大地

●車の特徴とチームの抱負

KRT16は「手足のように」をコンセプトに、扱いやすいパワーユニットと、一瞬でも早く反応するシャシーを開発しました。実測に基づいたセッティングを武器に総合6位以内を目指します。

●スポンサー

IDAJ,石川工業,不二WPC,三協ラジエーター,キジマ,NOK,KITAKO,ミノインテナーショナル,ニコル・レーシング・ジャパン,野島エンジニアリング,テクノイル・ジャパン,トップラインプロダクト,田中工業,HILLTOP,エイティエス,江沼エンジンズ,佐々木工業,ジョブテック,本田技研工業,富士精密,ヘンケルジャパン,THK,プロテック,日信工業,NTN,オートスタッフ,アネパル,カスノモーターサイクル,スリーエムジャパン,プロト,呉工業,ディセル,エッチケー・エス,日平機器,CFCデザイン,東興電気,タカタサービス,深井製作所,エルビーホールディングス,スゴーツランドやまなし,ソーシオ,カナエ,東京アールアンドデー,東京アールアンドデーコンボジット工業,ジーエックラフト,鍋屋バイテック,キャスト,スリーボンドホールディングス,JSP,DICマテリアル,日新レジン,佐嶋,日本ワイアグレイド,大矢化学工業,神戸製鋼所,特殊技研,国際電通情報サービス,東洋電装,光明理化学工業,高池,タカエンジニアリング,スリーピークス技研,五十嵐プライヤー,兼古製作所,古寺製作所,松井精密工業,マルト長谷川工作所,須佐製作所,トップ工業,共和電業,東京ハンマーカーター,象印エンプロック,VSN,エス・ビー・エスアンブラコ,工学院大学機械系同窓会,レオ産業,富士工業,BOSCH



27 千葉大学 Chiba University

●メンバー

[CP] 小川和也, [FA] 森吉泰生, [FA] 河野一義, [MBR] 上野涼, 浅川瑞光, 石塚祐也, 日下直哉, 小泉咲人, 菅谷涼太, 永島拓己, 森彩香, 矢作祐輔, 吉田直人, 渡口ひかり, 伊藤貴浩, 兼坂洋祐, 塩沢智也, 松藤あかり

●車の特徴とチームの抱負

「Car×Fun ～モータースポーツに参加する魅力をより多くの人に～」をコンセプトに掲げ、「基本運動性能とドライバビリティの追求」を開発目標に、車両に大幅なアップデートを施しました。エンデュランスリタイヤとなった昨年度の悔しさをバネに、表彰台を目指しチーム一丸となり大会に挑みます。

●スポンサー

Alltrack,出光興産,エヌ・エム・ピー販売,NTN,日栄学園日本自動車大学校,IHI,エフ・シー・シー,エルバ,カルソニックカンセイ,キノクニエンタープライズ,日下製作所,佐々木工業,デンソー,トーキン,東日製作所,トヨタレンタリース千葉,ノウム,ハイレックス,コーポレーション,深井製作所,ミスミ,メタルワークス,ユタカ技研,レイズ,ワークスベル,協和工業,京業バンド,サイバネットシステム,ジョブテック,住友電装,ソリッドワークス・ジャパン,千葉大学工学同窓会,トップラインプロダクト,日信工業,日本精工(NSK),日本発条,ビルドダメージ,プラスミュー,丸紅情報システムズ,ヤマハ発動機,アールエーシー,莫不動産,茂原ツインサーキット,レクラフトレーシングサービス【Spetial Thanks】千葉大学工学部,千葉大学工学部実習工場,千葉大学自動車部,千葉大学フォーミュラプロジェクトOBOG,ホンダマイスタークラブ,レーシングガレージENOMOTO



28 ものづくり大学 Institute of Technologists

●メンバー

[CP] 松本正, [FA] 原薫, [FA] 三井実, [MBR]

●車の特徴とチームの抱負

今年度の車両コンセプトは「コーナリングマシン」を掲げ、昨年度の問題点を改善すると共に軽量化やエンジンの出力向上に力を入れました。また、私たちのチームは、内製率の向上や、品質へもこだわりを持ち、総合順位15位以内を目指し頑張ります。

●スポンサー

アルテアエンジニアリング,NTN,江原酸素,エフ・シー・シー,岡田モータース,ジュニアモーターパークQuick羽生,SACLAM,スタジオ37,住友電装,ソリッドワークス・ジャパン,タイヤセレクト吹上,トヨタレンタリース埼玉,バイクスタッフARIE,本田技研工業,ミスミ,民宿遠州一



29 Universitas Negeri Yogyakarta

●メンバー

[CP] Bondan Prakoso, [FA] Dr. Zainal Arifin, M.T., [MBR]

●車の特徴とチームの抱負

Our most features are easy handling car, a one cylinder 600 cc engine with integrated system controls. This is the second time our team comes to FSAE competition in the world and we hope to have a great finish with top top results. Ambition is a dream with Garuda UNY Racing Team. Bismillahirrokhmanirrokhim.

●スポンサー

PT Garuda Indonesia Airlines, PT Tirtamarta Wisesa Abadi, K2W Precision Inc, PT Indonesia Steel Tube Works, PT Kawan Lama Sejahtera, PT Panatek, Rillon, LMHK 9999, IKATO, Manual Tech, Bies Injection, Shift Engineering, Bengkel Idek, Motul, PT Yuasa Battery, PT Igus

Indonesia, Autodesk, PT. NSK Bearings Manufacturing Indonesia, PT Bank Negara Indonesia, Embrella, Fukai, Astra Honda Motor, Hall's Cycle, PT Nissan Motor Indonesia, Jogja Istimewa, RM Genduk Wulan, U2i MGT, PT U Connectivity Services, P, PT Indonesia Power, NET.TV, Ngonoo, Otosia.com, Kompas, Dapurpacu.com, Automagz.com,



30 岡山大学 Okayama university

●メンバー

[CP] 友松泰岳, [FA] 河原伸幸, [MBR] 越智正俊, 松村隼斗, 元島淳, 河合俊樹, 渡邊匡惟, 若林陵太, 吉谷亮汰, 玄馬之善, 難波浩大, 小谷紗希, 倉本秀斗, 大雲晶, 福地剛, 坂根慶俊, 中田圭太郎

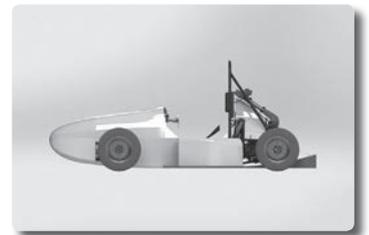
●車の特徴とチームの抱負

マシンコンセプトを「扱いやすいマシン」とし、高い運動性能・低い運用コスト・整備性の良さの3つを意識しました。また大幅な軽量化と10inch化をし、非常に扱いやすい車両ができました。総合10位以内を目指します！

●スポンサー

内山工業, 岡山国際サーキット, 川崎重工業, アルエーシー, IDAJ, Gamma Technologies, アントライオン, アルテエンジニアリング, イグス, 石原ラジエーター工業所, AVO/MoTeC JAPAN, 日本精工, NTN, エフシーシー, FCデザイン, オーエスジー, 岡山科学技術専門学校, 奥平パイプ興業, OptimumG, キャスト, 協和工業,

倉敷化工, ケーマックススピード, 神戸製鋼所, サンボエンジニアリング, 山陽レジン工業, JXエネルギー, 新生産業, スズキ, 住友電装, ソリッドワークス・ジャパン, ダイハツ工業, テイクオフ, 東日製作所, 東京測器研究所, 東洋コルク, 戸田レーシング, 日進機械, 日信工業, ヒラノ, 日本ヴァイアグレイド, 福島化工, フジックス, プラスミュー, プロト, 三国工業, ミスミ, 三井造船, 三菱自動車, テクノイル, ジャポニ安田工業, ライト電業, ライドオン岡山, ラストラダ, レイズ, ロックベイント, ワークスベル, 岡山大学工学部, 岡山大学創造工学センター



31 宇都宮大学 Utsunomiya University

●メンバー

[CP] 柳直太, [FA] 杉山均, [FA] 原紳 [FA] 月川淳 [FA] 加藤直人, [MBR] 山下雄也, 石原誠也, 渡邊聡士, 大田純平, ファウザニルアズミスカ, 篠崎龍之介

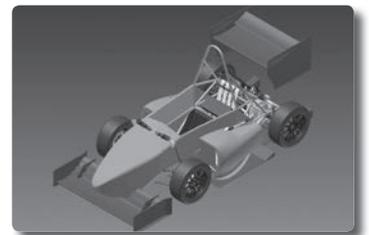
●車の特徴とチームの抱負

今年度車両UF-14は、「Feel The Impression of Formula Car」をコンセプトとし、車両を設計、製作しました。今大会では総合760ptを目指します。

●スポンサー

旭化成建材, ANSYS, サイバネットシステム, 井頭モーターパーク, ウエサワワークス, ACM栃木, AVO/MoTeC Japan, NOK, NOK クリューバー, NTN, エイティエス, OZJapan, 東日製作所, ユタカ技研, 協和工業, ダイゾーニチモリ事業部, 石川インキ, THK, インフェック, 日信工業, 富士シャフト, TAKATA, プロト, 本田技研工業, ミスミ, 八千代工業, アルテクノ, 佐藤精機, 東興ラジエーター工業所, 湯原製作所, ハイレックスコーポレーション, 栃木県立産業技術大学校, 栃木県立宇都宮工業高等学校, 三菱ふそうトラック・バス, 富士精密, Cyprium Japan, 山田製作所, 日本製紙クレシア, 滝ヶ崎自動車整備工場, イグス, ニフコ, 深井製作所, Autodesk, アルテ

アエンジニアリング, 日本精工, UAJC, オーエスジー, ウエストレーシングカーズ, Keeper, キノクエインタープライズ, 小野測器宇都宮, トーテックアメニティ, アルトナー, スリーボンド, 高橋工機, 宇都宮大学工学部同窓会, 宇都宮大学工学部機械工場



32 東海大学 Tokai University

●メンバー

[CP] 小川和輝, [FA] 吉永昌史, [MBR] 宮尾里奈, 瀬口篤朗, 小林みひろ, 松井翼, 堀井雄斗, 小田竜也, 藤井紘人, 岡東宏直, 前田智哉, 稲谷友恭, 森川遼, 赤間勇太, 田中祐也, 津久井滉生, 平勇人, 田村直, 下田大, 佐藤大暉, 藤原健一郎, 杉坂遙, 大栗拓実, 林大輔, 高野望, 椎名悠太, 巨理湧星, 尾池航, 野月俊介, 須藤紘平, 南隼人, 織田圭祐, 大谷修司, 本田佳之, 井上智仁, 塚平, 佐藤かおり, 麻亮太, 伊藤駿

●車の特徴とチームの抱負

TF2016 (今年度車両) はフルカーボンモノコック、V2エンジン、フルエアロを採用して3年目の車両です。3年目の節目として他大学と上位争いのできる競争力のある車両を作り上げました。TF2016の走りにどうぞご期待ください。

●スポンサー

スズキ, 日本ヴェーテック, N.A.C.T. 及川製作所, 東海大学機友会, たまチ工業, SOHC. ENGINEERING, 井上ボーリング, 鈴村製作所, 大井松田カートランド, AVO/MoTeC Japan, サイアン, デンソー, ミクニ, ボルケーノ, コイワイ, ダサイ, エフシーシー, 武藤工業, 江洋ラジエーター, 丸山ラジエーター, トタル・ルブリカンツ・ジャパン, エヌイー, braille BATTERY JAPAN, TAN-EL-SYA WHEEL SUPPLY, 福岡タイヤサービス, 東海パネ工業, 日信工業, 新日本フェザーコア, ウエストレーシングカーズ, PLM, アンシス・ジャパン, CD-adapco, IDAJ, プライドロジック, ソリッドワークス・ジャパン, サンフレッチェ, 丸紅情報システムズ, 高砂産業, 鈴木精機, 平塚イトウネジ, MISUMI, NTN, 石原金属加工, 深井製作所, ニフコ, HPCシステムズ, 京王観光, 東芝機械, レント, コタキ



参加チーム【チームメンバー・スポンサー】

Team Information (Members and Sponsors)

33 新潟大学 Niigata University

●メンバー

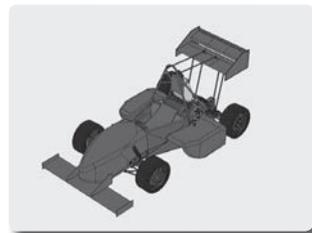
[CP] 前田義貴, [FA] 田村武夫, [MBR] 鈴木寛人, 捧菜美子, 近藤史織, 波川桃子, 平井滉也, 戸田達人, 大谷俊介, 櫻井嘉人, 高橋大生, 岸秀俊, 星司, 星維永, 小竹正人, 湯本康太, 長谷川航平, 海野凌弥, 片岡大地, 土沼佳史, 長谷川陽介, 長沢幸恵, 佐藤匠, 新井駿作, 八幡和典, 小川稜太, 中俣知大, 山菅健, 池浦正人, 阿部正史

●車の特徴とチームの抱負

今年度車両であるNU-16では、「信頼性のある速さ」をコンセプトとしました。車両の早期完成とドライバーの習熟に力を注ぎ、全種目完走および総合順位20位以内を目指します。

●スポンサー

スズキ, ニイガタ・ローディング・システムズ, 日信工業, 住友ゴム工業, NTN, 和光ケミカル, ミスミグループ本社, レーシングサービスワタナベ, エフ・シー・シー, ソリッドワークス・ジャパン, AVO/MoTeC Japan, クワハラバイクワークス, 小原歯車工業, 高橋工機, 新日本フェザーコア, 昭和電工, プレニー技研, アルテック, キノクニエンタープライズ, サカモトエンジニアリング, ワークスベル, 日経新潟, マルト長谷川工作所, 彌満和製作所, 渡辺工業, タウ化工, アルエーシー, エステーリンク, 難波製作所, 日本タルク, 田畑ラヂエーター, トップ工業, キジマ, 砂山製作所, サンテック, VSN, 共成, 苗木溶接, ウエストレーシング, テック長沢, キタコ, ダイネス, クリヤマ, 古川電池, 石川インキ, 協栄産業, カネコ商会, Cool Nuts, MGコーポレーション, オーエスジー, 協和工業, アイジェット, 浪速鉄工, 大同工業, 深井製作所, ニフコ, 住友電装, アルテックエンジニアリング, サンライト, タカタ, 本田谷田部, IRS, ハードロック工業, シンドー, 岡島パイプ製作所, イグス, THK, オーゼットジャパン, 日経新潟, 小林製作所, スピードパーク新潟, 日本海商瀬サーキット, 新潟大学工学部機械システム工学科, 新潟大学全学同窓会, 新潟大学工学部同窓会



34 大阪産業大学 Osaka Sangyo University

●メンバー

[CP] 礪村涼, [FA] 上田博之, [MBR] 植村崇史, 田村友一, 景山葵, 森田正明, 尾浦健太郎, 木寺若苗, 櫻井慎吾, 宮口真一郎

●車の特徴とチームの抱負

ロングホイールベース化、低重心化、ハイダウンフォース化により、更なる旋回性能の向上を図りました。今年こそ、静的審査、動的審査共に高得点を獲得し、総合成績で上位進出できるように頑張ります。

●スポンサー

大阪産業大学, 川崎重工業, プラスミュー, マスマークス・ジャパン, 三和メッキ工業, アルエスタイチ, 住友電装, NTN, 大東ラジエーター工業所, エフ・シー・シー, ウエダ, エクセディ, プレニー技研, ソリッドワークス・ジャパン, アルテック, ミスミ, モリヤス・アイアンワークス, レイズ, アルテックエンジニアリング, タカタ, 長浜工場, 新日本フェザーコア, ウエストレーシングカーズ, ミウラ, 砂山製作所, マツダ, 和光ケミカル, クニケミカル, 日信工業, タニアイアンワークス, スポーツランド生駒, 丸八, モリワキエンジニアリング



35 神戸大学 Kobe University

●メンバー

[CP] 永井紳一郎, [FA] 白瀬敬一, [FA] 横小路泰義, [FA] 細川茂雄, [FA] 中辻秀憲, [FA] 浅野野, [MBR] 建部可奈子, 小林和樹, 中村貴也, 佐藤文, 野中謙次, 船橋駿斗, 名和佑太, 南家健太, 竹内孝仁, 池北智亮, 第十祐幹

●車の特徴とチームの抱負

「安心と信頼による更なるfunの追求」をコンセプトに、昨年までの「fun」への姿勢を突き詰めたマシンを設計しました。昨年度は達成できなかった、全種目完走、総合入賞を目指します。

●スポンサー

アルエーシー, IDAJ, アルテックエンジニアリング, 出光興産, エア・リキード工業ガス, エクセディ, エヌエーブ, ロテック, NTN, エフ・シー・シー, 岡山国際サーキット, 川崎重工業, キノクニエンタープライズ, CAST, 協和工業, 神戸大学機械クラブ, 神戸大学工学振興会, 神戸大学大学院工学研究科工作技術センター, 神戸製鋼所,

住鋳潤滑剤, 住友電工ハードメタル, 住友電装, 摂津金属工業所, ソリッドワークス・ジャパン, 大東ラジエーター工業所, ダイハツ工業, ダイヘン, ツルガ, DIC, THK, 東邦テナックス, トタニ技研工業, トヨタレンタリース兵庫, ナイス, ナガセケムテックス, ニチリン, 日信工業, 日本発条, ハイレックスコーポレーション, 日本ヴィアイグレイド, 深井製作所, フジ化成工業, フランツ, ミスミ, ミネベア, 大和製鋼, ロックベント, 和光ケミカル



36 広島大学 Hiroshima University

●メンバー

[CP] 福永浩希, [FA] 西田恵哉, [FA] 森岡常雄, [MBR] 富田海, 松田孝太, 竹本直矢, 飛永健斗, 米岡拓留, 古本舞枝, 谷口果菜, 西垣祐作, 丸野倫寛

●車の特徴とチームの抱負

今年度の車両コンセプトを「乗りたくなるクルマ～ Smart control, High performance」としました。一番の課題となるエンデュランスに向け、車両の基本性能向上に加え、ドライバビリティの向上を図り、扱いやすい車両を目指しました。大会ではトップ10入りを目指します。

●スポンサー

川崎重工業, ソリッドワークス, 奥平パイプ興業, エフ・シー・シー, レーシングサービスワタナベ, 日信工業, THK, NTN, 江沼チェン製作所, 石原ラジエーター工業所, アルテック, ウエストレーシングカーズ, シーシアアイ, 呉工業, キノクニエンタープライズ, UACJ, クールナッツ, 二上工作所, 津田製作所, ニッポンレンタカー西条

駅前営業所, テックサーフ, 丸三自動車商会, アンダーレ, アル・エー・シー, VI-grade, アルテックエンジニアリング, FRP.com, IDAJ, RYOBI, 住友電装株式会社, Defi, フォモ・ジャパン株式会社, Motul, 株式会社三好キカイ, 小原歯車工業株式会社



37 久留米工業大学 Kurume Institute of Technology

●メンバー

[CP] 内藤篤, [FA] 東大輔, [MBR] 佐藤章成, 福川豪, 山下涼太, ベンカートフレドリックサイトウ, 大賀優基, 宮本大毅, 木原章博, 横尾裕之, 平川亮祐, 馬田尚也, 佐藤寛悟, 久日形祐介, 中井拓久望, 原口拓也, 杉野太郎, 服部雄樹

●車の特徴とチームの抱負

私達のチームは単気筒エンジンにターボを搭載しております。前年度では今年度に活かすデータを得ることが出来ました。今年度は全動的競技走、10位入賞を目指し頑張ります。

●スポンサー

スズキ, ダッソー・システムズ, エッチ・ケー・エス, ホンダテクノフォート, セネラルエンジニアリング, NTN, 西嶋板金工業, VSN, 和光ケミカル, B-FACTORY, ヤスナガ, エジソン, F.C.C., 住友電装, MISUMI, 深井製作所, クワハラバイクワークス, RS watanabe, ミヤコ自動車, 東京R&D, AVOMoTeC JAPAN, 測上溶接, 旅

館たみや, 津留崎製作所, 久留米自動車学校, WESTRACING CARS, 上津レンタカー, 久留米工業大学同窓会, 久留米工業大学FPOB会, 久留米工業大学モノづくりセンター, 久留米工業大学加工プロジェクト



38 摂南大学 Setsunan University

●メンバー

[CP] 奥田尚樹, [FA] 堀江昌朗, [FA] 柴田寿基, [FA] 橋本正治, [MBR] 有吉俊二, 竹内大, 塚本佑汰, 竹原伸輔, 大平悠矢, 前川佑麻, 石伏迅汰, 岩崎和也, 芝田雄介, 若山元希

●車の特徴とチームの抱負

私たちは昨年度チーム初のエンデュランスを完走することができたので、今年度は全種目完走と、さらに15位以内を目標に活動を行ってきました。その目標を達成するために設計ではサスペンションを1から見直し、マシンの運動性能の向上に努めました。目標達成のため、頑張ります。

●スポンサー

スズキ, NTN, ソリッドワークス・ジャパン, レイズ, F.C.C., VSN, 日信工業, 深井製作所, 小松行永商店, プロト, 富士精密, 山崎技研工業, ISK, デンソー, 豊栄モーターズ, OSG, 摂南大学後援会, 機研会



39 岐阜大学 Gifu University

●メンバー

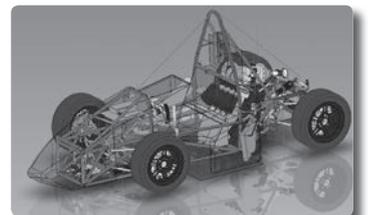
[CP] 國井翔太, [FA] 菊地聡, [MBR] 久野あい理, 寺嶋薫, 宮木光, 八木将起, 奥山翔太, 木村香理, 黒田豪, 清水大智, 古橋未悠, 伊藤洗一, 落合優介, 加藤諒, 川村有輝, 笹田和希, 菅野智子, 清藤進, 高橋祐汰, 堀山英社, 山田朋, 吉川昇吾, 粕谷直人, 工藤雅彦, 薫田淳平, 後藤慎士郎, 長尾健太郎, 成栗達也, 西川祥平, 牧田竜汰, 山口拓海, 山口雄大

●車の特徴とチームの抱負

今年度は「速いレーシングマシン」をメインコンセプトとし車両開発を行いました。サブコンセプトである「信頼性、軽量、操作性」を満たすマシンを完成させ、総合600点以上を目指します。

●スポンサー

スズキ, 光製作所, 椿葉鉄工所, 岐阜ギヤー工業, ミスミ, 日信工業, NTN, シバ金型, 杉山, 住友電装, 近藤科学, 岐阜車体工業, ツゲプラスチック, 深井製作所, T.M.D., ソリッドワークス・ジャパン, 古河電池, 早野研工, アルテアエンジニアリング, センサータテクノロジーズ, ジャパンマキタ, シーシーアイ, オスコ産業, 高橋鉄工所, 岩田製作所, 小藤製作所, フクダ精工, 大同工業, 鍋屋バイテック, エフ・シーシー, 三田洞自動車学校, エービーシー, キノクニエンタープライズ, 鳥越樹脂, 日本トムソン, 大同DMソリューション, スズヒロフォークリフト, アサヒフオージ, DICマテリアル, 岐阜プラスチック工業, トリニティ, 太平洋工業, アイエムイー, アネブル



40 静岡大学 Shizuoka University

●メンバー

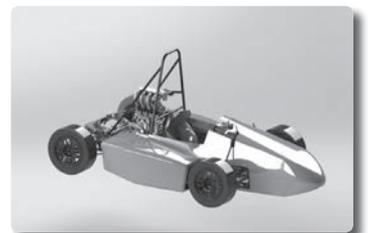
[CP] 中西勇人, [FA] 本澤政明, [FA] 福田充宏, [MBR] 内山泰希, 竹中雄太, 福田一樹, 藤岡真史, 磯川紗希, 磯川紗希, 黒澤北斗, 笹井裕司, 繁田健吾, 谷口翔一郎, 恒川尚輝, 林卓矢, 山崎智也, 能城冬馬, 鈴木寛史, 中村匠, 伊良原弘也, 新井栄天昂, 倉健雄, 畑田峻介, 野村享佑, 佐々木章乃, 鈴木翔子, 上杉和音

●車の特徴とチームの抱負

昨年度まで採用してきたサイドエンジンレイアウトから今年度よりミッドシップに変更した。4気筒600ccエンジンを縦置きにレイアウトし、14回大会は5年ぶりの全種目完走を目指す。

●スポンサー

スズキ, 加藤カム技研, 新日本特機, 椿葉鉄工所, TRICK STAR, IDAJ, 和光ケミカル, スズキワールド浜松, スズキ, NRS, ダウ化工, 浜松第一塗装, NIICO, CYBERNET, 深井製作所, 東邦テナックス, AKOYA high tech, NTN, 清水金属, 金子歯車工業, KYOWA, 東洋測器, ニコル・マーケティング, Hoosier, Henkel, Minebea, RAYS, マルイチ, TOHNICHI, ゴトー理研, AVO/MoTeC Japan, OMRON, CYAN, タイコエレクトロニクス, 住友電装, R's Racing Service, 旭化成建材, 昭和飛行機, フジタ, SolidWorks, DAYTONA, 日本ロック, MISUMI, Quick Hamana, 静岡大学工学部ものづくりセンター, 静岡大学, ゴトー理研, takayanagi, 浜松鉄工機械工業協同組合



参加チーム【チームメンバー・スポンサー】

Team Information (Members and Sponsors)

41 岡山理科大学 Okayama University of Science

●メンバー

[CP] 山田達郎, [FA] 金枝敏明, [MBR] 児島弘訓, 谷口諒明, 永井大貴, 仲川昂希, 室山遼, 松田湧太郎, 渡部翔万, 室山拓己, 寺本快人, 浦田和明, 中原大和, 井上謙太, 吉田直矢, 山本隆之, 岩田一真, 押川友大, 田邊龍和, 土畑直人, 石原武

●車の特徴とチームの抱負

コンセプトは「パワトレの強化と軽量化」です。そのためにホイールの10インチ化と吸排気の見直しなどを行いました。目標は総合20以内を目指しております。この車両でOUSFPの大きな前進になる成績になるよう最大限努力していきます。

●スポンサー

川崎重工業, ソリッドワークスジャパン, ミスミ, NTN, 日信工業, THK, エフ・シー・シー, 岡山国際サーキット, 高下レーシングサービス, 山陽レジン工業, 瀬本重工業, 板野機工, レイズ, 岡山原田鋼管, 協和工業, 日本精工, フォーテクノス, 岡山レーザーマックス



42 福井大学 University of Fukui

●メンバー

[CP] 小原怜大, [FA] 新谷真功, [MBR] 吉村駿吾, 今井達也, 山本拓哉, 高倉涼, 南部雅貴, 塚田真司, 林克洋, 日下部杏, 馬淵貴魁彰, 千田将也, 平田将大, 種田和弘, 高見知秀, 新居見絃, 八木渉

●車の特徴とチームの抱負

今年の車両コンセプトは「Soul Beat Formula」です。このコンセプトを達成するためにマシンを大幅に改良しました。そして今年こそは全種目完走し、魂がゾクゾクする走りで上位20位以内を目指します。

●スポンサー

アキラックス, AVO/MoTeC JAPAN, ウエストレーシングカーズ, 宇野歯車工業, エヌ・エム・ビー販売, NTN, 江沼チエン製作所, エフ・シー・シー, キノクニエンタープライズ, 協和工業, 草島ラジエーター工業所, 桑原インターナショナル, 神戸製鋼所, 三五, ジャパンポリマーク, スズキ, 住友電装, ソリッドワークス・ジャパン, タカサーキット

ト, テクノイル・ジャボン, デューク福井, 東洋電装, 日信工業, 日本ヴァイグレイド, ハイレックスコーポレーション, 深井製作所, 福井県立坂井高等学校, 福井商工会議所, 福井大学先端科学技術育成センター, プレニー技研, MathWorks, 丸五ゴム工業, ミスミ, 吉岡幸, レイズ



43 大阪市立大学 Osaka City University

●メンバー

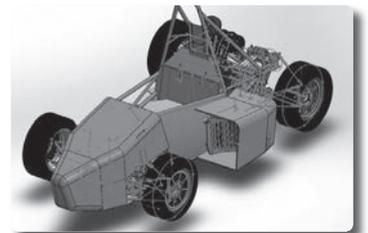
[CP] 日下貴文, [FA] 川合忠雄, [MBR] 有谷拓也, 藤田純一

●車の特徴とチームの抱負

チーム人数が5人と少ない中、アップライトの削り出しなど、新しいことにも挑戦しながら、頑張ってマシンを作り上げました。全種目完走を目指し努力していきます!

●スポンサー

IDA, アクティブ, アルエスタイチ, エーピーシー商会, エクセディ, エフ・シー・シー, NTN, 川崎重工業, キーバー, キタコ, キノクニエンタープライズ, 共成, 協和工業, ケーヒン, サンスター技研, ジーエス・ユアサコーポレーション, 重見製作所, シフトアップ, 昭和電工, スエカゲツール, SPEED SHOP JIRO, 住友電装, ソリッドワークス・ジャパン, タイガー製作所, 大同工業, 大東ラジエーター工業所, ダイヘン, タマディック, タンガロイ, 東京測器研究所, 東日製作所, 徳島カム, トヨタレンタリース大阪, 中道工作所, 日信工業日東紡績, 日本ビート工業, 野口商会, ハヤシレーシング, 富士精密, プロト, 武蔵ホルト, ミスミ, 山脇産業, レノボ・ジャパン, 和光ケミカル



44 山梨大学 University of Yamanashi

●メンバー

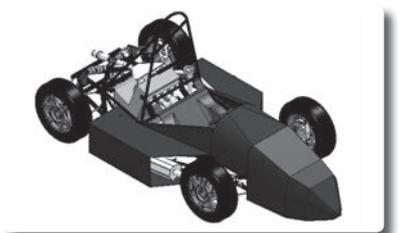
[CP] 牛田航, [FA] 角田博之, [FA] 丹沢勉, [MBR] 若林未来, 今井有紀, 佐々木直人, 池田浩輔, 大阿久善仁, 相川孝弘, 桐生和磨, 野々村健吾, 岩淵奨, 丸川拡, 袴田翔吾, 柳沢正尚, 三浦涼希, 小幡光平

●車の特徴とチームの抱負

チームコンセプトの「旋回性能の向上」を今年こそ確実に実現すべく、サスペンションを中心に各部綿密な連携のもと設計を行いました。軽量化のためエアロデバイスを廃止しつつ徹底的に研究されたサスペンションジオメトリーを体現しさらなる性能強化を目指します。

●スポンサー

スズキ, 三井金属アクト, クリフ, ソリッドワークスジャパン, 中央技研, NTN, ミスミ, 日鉄鋼管, サンキン, 岡島パイプ, 樺葉鉄工所, ウエストレーシングカーズ, TAKATA, 日信工業, ハイレックスコーポレーション, エフ・シー・シー, 日本発条



45 山口東京理科大学 Tokyo University of Science, Yamaguchi

●メンバー

[CP] 柿原崇寛, [FA] 貴島孝雄, [MBR] 永富洋平, 古賀郁也, 池泰史, 福永博基, 小倉直人, 高山健太, 上森大雅, 山縣慎雄, 野村翔太, 安倍祐希, 岡村明, 金城克司, 行川裕也, 藤原正和, 俣野晃明, 中西亮太, 中西勇樹, 目取眞侑樹, 根来拓実, 早稲田新也, 小倉亮, 福浦拓真, 長井渉

●車の特徴とチームの抱負

今年度の車両コンセプトは前年度と同様に「リニア感のある操縦性」です。リニア感のある操縦性を実現するため、低重心化や各パーツの軽量化を行いました。念願の全種目完走を目指します。

●スポンサー

レイズ, サンライト, VSN, 和光ケミカル, 富士精密, ダウ化工, タカタ, nest industry, 住友電装, ミネベア, 本田技研工業, ミスミ, ソリッドワークス・ジャパン, イケヤフォーミュラ, 寺田製作所, オートエッセ, THK, 日信工業, キノクニエンタープライズ, エフシー・シー, ナチュラサーキット, 内田鋼機, NTN, 西村鉄工所, かさま工芸, やまと工業, エーモン工業, ウエストレーシングカーズ, サム・ジャパン, 山口東京理科大学, ホンダマイスタークラブ, 協和工業, プリオテック, ロードスタークラブオブジャパン, 山陽ツール



46 Institut Teknologi Sepuluh Nopember Surabaya

●メンバー

[CP] Fatih Nurudin, [FA] Witantyo, [FA] Atok Setiawan, [MBR] Satria Bayu Mangkunegoro Siahaan, Kahfi Adhiatma Himawan, Rizkiardi Wilis Prakoso, Bagus Widoto Aji, Heri Tri Gunawan Sutopo, Arnoldus Adro P, M Noor Gema T, Moch Fitroh Dzulqornain, Gilas Kurnia Taufik, Rezha Falaq Rizki, Vristanto Bimo Kusumo, Haidir Ali Murtadlo, M Fajar Auliya, Lutfi Agus Salim, Audrey Surya P. K., Sutrisno Birowo, Annas Fauzy, Abdillah Hadi Alif Ilhami, Khalikul Haqqur Rahman

●車の特徴とチームの抱負

For this time, our car numbered 46. Our car has several features. We use steel as the material to form the chassis, double unequal length A-arm Pull rod for the front and rear suspension. For machinery, our car

menggunakan with Husaberg FE450. We also use LSD for the final drive and differential. Our car using the manual shifter system and adjustable setting chamber and king pin axis.

●スポンサー

PERTAMINA, ISTW



47 立命館大学 Ritsumeikan University

●メンバー

[CP] 山内拓磨, [FA] 渡辺佳子, [MBR] 山本大聖, 中堂誠, 本山啓太, 湊和樹, 杉本隼一, 川上航輝, 中川恭太, 高木みなみ, 中川奈那美, 久保友利恵, 岡本竜樹, 大藪辰昌, 外川啓太, 岡本晃治, 村田哲也

●車の特徴とチームの抱負

RF-013のマシンコンセプトは「洗練されたマシン」です。昨年度マシンの問題点を改善し全体的にレベルアップし、より洗練されたマシンを開発しました。昨年度の悔しい結果をバネに今年はRF-013とともに総合優勝を目指します。

●スポンサー

川崎重工, NTN, 協和工業, Solid Works Japan, ダイハツ工業, サム・ジャパンモーターサイクル, ウエストレーシングカーズ, サンキン, 和光ケミカル, ミスミ, 琵琶湖スポーツランド, バイク工房岩城, 石原ラジエーター工業所, 新家工業, ねじの山崎, ボディショップナカジマ, テクノイル・ジャパン, 日信工業, 神戸製鋼所, JIN, ゲミテック

ク, タマディック, IDAJ, アルテアエンジニアリング, 深井製作所, エヌ・エム・ビー, ワークスベル, プラスミュー, 江沼チエン製作所, タカタ, 日本発条, がんさん, EWP-JAPAN, CAR工房 YAMANAKA, エイティエス, オカノプラスト, カインドヒートテックノロジー, エヌケーエヌ, NOK, 平和発條, ホーベック, オーフア, ダイネス, ヤマトレーシング, ベア



48 金沢大学 Kanazawa University

●メンバー

[CP] 田尻紘己, [FA] 稗田登, [MBR] 寺澤佑丞

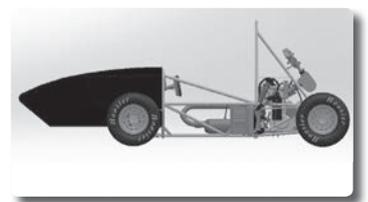
●車の特徴とチームの抱負

今年度の車輛コンセプトは“Comfortable driving”です。軽量化と剛性の向上を行い、快適な走行を目指しました。上位入賞を目指し、大会に臨みます。

●スポンサー

アルテック, 石金精機, 石原金属化工, 宇野酸業, ヴァンワークス, NTN, 江沼チエン製作所, エムエスシーソフトウェア, 大浦解体, 岡島パイプ製作所, 金沢工業会, 金沢大学技術支援センター, キノクニエンタープライズ, 協和工業, 草島ラジエーター工業所, グロウス, ケインズパフォーマンスエンジニアリング, コマツNTC, 小松鋼機, 澤村電気工業, ジョーエーティー, スズキ, スズキ部品 秋田, 鈴木工業社, SEKI, ソリッドワークス・ジャパン, タカササーキット, 高松機械工業, 茶谷鉄工所, 津田駒工業, THK, 東日製作所, 轟産業, ナオックス, 長山耳鼻咽喉科医院, ニシムラジグ, 日本キスラー, 日本ガラスファイバー工業, 日本特殊陶業, 日本ベント, 日新レジン, 芳賀木型金型製作所, 馬場化学工業, ハネウェルジャパン, 阪神ネジ, 日信工業, ヒガシヤマ, 日向製作所, PFU,

不二越, 富士シャフト, プレニエ技研, プラスミュー, プロト, 細田塗料, UACJ, 北國新聞社, ボッシュ, ミスミ, 水戸工業, モーターテクノロジー, 森田工業, ヤマハ発動機, ロックファスナー, VI-grade, 和光ケミカル, ヤマト, 横山商会, ルネサス テクノロジー



参加チーム【チームメンバー・スポンサー】

Team Information (Members and Sponsors)

49 崇城大学 Sojo University

●メンバー

[CP] 増田幹大, [FA] 生田幸徳, [MBR] 大久保達弘,小谷雅輝,大久保祐哉,伊藤康平,森田昭伍,高松優未,坂本知優,満田潤平,松下雄弥,南徹郎

●車の特徴とチームの抱負

今年度のマシンコンセプトを「Driveabilityの向上」と掲げ、ドライビングポジション、ステア特性、エンジンの応答性等に重点を置いた車両製作を行いました。目標を全種目完走とし、チーム全体で頑張ります。

●スポンサー

本田技研工業,ソリッドワークスジャパン,レイズ,株式会社VSN,協和工業,F.C.C.,NTN,GSユアサ,不二ライトメタル,戸畑製作所,ゼーク北神電子サービス,ひごいち,境ボデー,タカタ,タイムズカー近見店,スーパーオートバックス熊本東バイパス店,熊本アイ・ビー産業,ホンダテクノフォート,深井製作所,ミナミ化工産業



50 Kasetsart University

●メンバー

[CP] Mr.Juggarin Chutikusol, [FA] Prapot Kunthong,Ph.D, [FA] Jay-Tawee Pukrushpan,Ph.D. [FA] Attaporn Wisessint, D.Eng., [MBR] Supakit Anakkamontree,Patcharakorn Wattanapanom,Yasinthorn Sibuasod,Pankawee Esa,Jasvin Patheja,Akkarawee Vachirawat,Pongsakorn Sakulkaew,Chattarin Teerawattanasook

●車の特徴とチームの抱負

The vehicle has stability whereas the driver itself doesn't have to be a professional to drive it. The smart ECU box MOTEC M150 has the capability to evaluate and reclaim itself from the sensors at different places and situations and also the telemetry sends the Data logging as in realtime. Our Team Aspirations is to aquire first place in Acceleration,

Skid pad, 1-10 Overall contestant scores and lastly to improve the team quality and motorsport industry.

●スポンサー

TOZZHIN,SKF,PSP,MAKITA,LIQUI MOLY,D.I.D,WURTH,AEROFLEX,SPSC,H&R,MORIN RACING,MC BICK,LAND HOUSES,AKANA carbon,WELPRO,Ninja Shop

NO DATA

51 上智大学 Sophia University

●メンバー

[CP] 大津悠作, [FA] 鈴木隆, [MBR] 佐々井宏典,田中郁朗,高村直樹,村田悠司,福田元樹,松井萌,齋藤怜央,飯田円佳,久保田七海,相島雄太,伊藤悠樹,坂井創,渡辺菜子,木股尚也,木村拓海,堀江諒,田中アレックス翼,梶木健斗,久保田友宏,江藤良太,阿部洗希,岡本航希,鴫田一樹

●車の特徴とチームの抱負

今年度はメンバー一人一人が速さについて再考し理想を求めました。その結果、コンセプトであるFractalという言葉に一人一人の速さのエッセンスを集約し軽量・高出力・ハイダウンフォースを備えた車を製作しています。

●スポンサー

ヤマハ発動機,日立物流バンテックフォワードエンジニアリング,興津螺旋,UDトラックス,田口型範,平垣製作所,青島歯車,岩倉溶接,和光ケミカル,アンシスジャパン,GAT,エー・シー・エム,アールケージャパン,ミヤコ自動車工業,レーザマックス,テキストリウム,IHI,深井製作所,日本VI-grade,コンカレント日本,ミスミ,茂原ツインサーキット,PTCジャパン,ダウ化学工業,エフ・シー・シー,IDAJ,NTN,近藤発動機,日本自動車大学校,オクノグローバルテック,村田ボーリング,日本コーティング,水戸工業,エム・エス・シーソフトウェア,日信工業,カスタムエアブラシベイントアイ:ゴウ,不二WPC,Mathworks Japan,マテリアライズジャパン,SMC,ファロージャパン,RAMPF group Japan,サイアン,丸紅情報システムズ,エイチ・イー・ティー,SHコンサルティング,日本精機



52 日本大学理工学部 College of Science and Technology, Nihon University

●メンバー

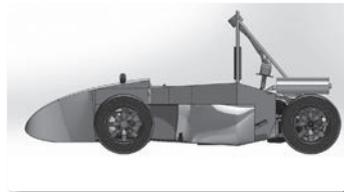
[CP] 大竹出, [FA] 星野倫彦, [MBR] 落合亮,白幡幸宏,清代大気,近藤拓輝,菅田颯,松浦淳平,藤田航平,武藤充,武田拓己,成瀬友裕,田中智寛,柴田悠司,中倉礼善,高橋知樹,三河凌一郎,池延翼,寺嶋慎司,横山琢也,竜田航也,大塚耀太,織田真裕,村松新太,池田圭佑,成澤龍,山本翔太,上田優希,今泉雄斗

●車の特徴とチームの抱負

今年度は「For All Drivers」をコンセプトにしました。操安性、信頼性の二項目を念頭に置き、エンデュランス最終日出走を果たし、「全種目完走」、「総合16位」を目標とします。

●スポンサー

アール産業牧,エス・ビー・エス・アンブラコ,キノクニエンタープライズ,小原歯車工業,光研電化,三協マテリアル,三和メッキ工業,重松製作所,城南キー,ジョブテシオ,スズキ,ソフトウェアクレイドル,ソリッドワークス・ジャパン,大洋,太陽石油,大同工業,デッキ,東洋電装,日産自動車,日本大学理工学部機械工学科,日本発条,ニューレジストン,深井製作所,フューチャーテクノロジー,プラスミュー,プロト,本田技研工業,三菱マテリアル,ミスミ,ミネベア,ヤマハ発動機,レーシングサービスワタナベ,和光ケミカル,braille BATTERY JAPAN, F.C.C,NOK,NTN,SEVENTH NIGHT,VSN



53 静岡工科自動車大学校 *Shizuoka Professional College of Automobile Technology*

●メンバー

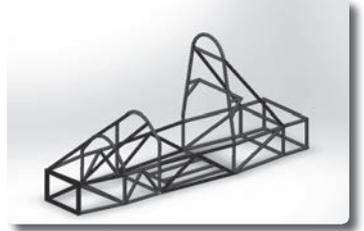
[CP] 岩邊拓郎, [FA] 杉本章, [MBR]

●車の特徴とチームの抱負

今年の車両は「理想的なコーナリング姿勢の追求、軽量化、適切なジオメトリー」をコンセプトに開発を行いました。また、昨年度はマシントラブルによりリタイヤとなったため、信頼性を重視したつくりにいたしました。昨年より大幅な改良を加え、安定した走りを目指して全種目完走を目指します。

●スポンサー

スズキ,日信工業,RS TAICHI,NTN,FCC,THK,タムホ,トクベン,サンキン,デイトナ,ユタカ技研,協和工業,ソリッドワークス,丸山工業,ユニホームセンター,ユニバンス,静岡工科自動車大学校後援会



54 早稲田大学 *Waseda University*

●メンバー

[CP] 上入佐慶太, [FA] 宮下朋之, [FA] 石井泉, [FA] 佐藤真, [MBR] 今野貴史, 齊藤史哲, 菱沼優花, 井上遼哉, 鈴木峻大, 鷲尾拓哉, 小河広明, 小野寺隼, 藤井裕斗, 堀込貴央, 湯川詩織

●車の特徴とチームの抱負

We set "Driving Pleasure" as the concept of WFP2016, and have worked for the improvements in drivability and reliability of the machine. We are aiming to complete all the events and goal within the 15th place on the overall result, for the first time in our team history.

●スポンサー

スズキ,タマチ工業,ソリッドワークス,ジャパンジュニアモーターパーク,クイック羽生,NTN,KYB,UDトラックス,ライフリング,早稲田大学機友会,ミナミモーターズ,RAC,旭スプリング製作所,石原ラジエーター工業所,ウエストレーシングカーズ,ウエダ,エフ・シー・シー,エヌ・エム・ビー販売,エンパイロ・ビジョン,オーゼットジャパン,オーテック鈴鹿,オートフォース,加藤工作所,キノクニエンタープライズ,協永産業,協和工業,クラスフォーエンジニアリング,住友電装,セントグラフィック,早美舎,ティ・クラフトネット事業部,ニシムラタイヤ,日信工業,深井製作所,プロテクタ,プロト,ミスミ,武蔵ホルト,UACJ,Rush Factory,ワークスベル,早稲田大学自動車部,草鹿研究室,大聖研究室,宮下研究室,山川研究室,ものづくり工房,工作実験室,熱工学・流体・制御実験室,機友会会員の皆様



55 ホンダテクニカルカレッジ関西 *Honda Technical college Kansai*

●メンバー

[CP] 原田裕大, [FA] 木村泰之, [FA] 神通邦彦, [MBR] 泉聡紀, 河田優弥, 遠藤樹弥, 田中寛人, 佐藤翼, 竹村聡太, 角南昂平, 山田竣介, 中田雄也, 渡辺頌大, 佐藤瑞樹, 小林大祐, 濱名祐志, 富永昂平, 瀧野篤史, 木山湧, 柴原光希, 笠原悠樹, 佃泰成, 福里竜章

●車の特徴とチームの抱負

私達の車両のコンセプトキーワードは「よんぱくと」です。四（よん）気筒エンジンをコンパクト（ぱくと）にレイアウトして、加速性能向上を図ります。そして動的競技全種目完走とジャンプアップ賞を目指します。

●スポンサー

本田技研工業,NTN,エフ・シー・シー,山王テック,日信工業,ハイレックスコーポレーション,深井製作所,ホンダテクノフォート



56 北海道大学 *Hokkaido University*

●メンバー

[CP] 佐々木久慶, [FA] 小川英之, [FA] 近久武美, [FA] 田部豊, [MBR] 久々津諒平, 貝沼拓哉, 木下竜馬, 近藤光彦, 齋藤誠司, 伊藤祐太, 今井拓哉, 井口直輝

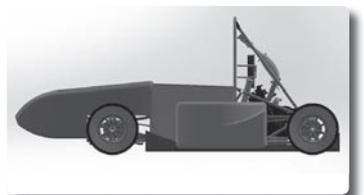
●車の特徴とチームの抱負

大会出場10年目となる第14回大会、私たちは車両コンセプトを低中速コーナリングスピードの向上としFH-Xの開発を行っています。チーム目標である3年ぶり動的種目完走を目標としてチーム一丸となり頑張ります。

●スポンサー

本田技研工業,AIS北海道,TBK,ホクアイ・ベッツ,機業鉄工所,NTN,ダイヘン溶接メカトロニクス,IDAJ,ソリッドワークスジャパン,ソフトウェアアクレイドル,アルテアエンジニアリング,日本ヴィアイグレイド,MathworksJapan,ミネベア,イーエスケーオート,エム・キュービック,トヨタレンタリース札幌,ビー・ユー・ジー DMG森精機,MSF,大豊工業,レーザマックス北海道,テクノイル・ジャポン,三協ラヂエータ,太平洋フェリー,新千歳モーターランド,ゼット・エフ・ジャパン,ミスミ,日本軽金属,ゲイナー,東京アルアンドデー,杉本金属工業,アスペクト,エ

フ・シー・シー,北海道シャリング,富士精密,協和工業,更別村,日信工業,深井製作所,インギン,グスコ札幌,タイコエレクトロニクスジャパン,アシスト,ユタカ技研,石川金属製作所,デンソー,東京発条製作所,ワークスベル,M-Line,アールエーシー,ソーダファクトリー,イグス,札幌立体データサービスインベックス札幌,テックワークス,トライアングル,北海道職業能力開発大学校,北海道大学工学系ワークショップ,北海道大学機械知能工学科,FHTOB会,



参加チーム【チームメンバー・スポンサー】

Team Information (Members and Sponsors)

57 ホンダテクニカルカレッジ関東 Honda Technical College Kanto

●メンバー

[CP] 久保堅誠, [FA] 法原淳, [MBR] 佐藤快, 川林直輝, 深澤駿介, 宗片竜輝, 飯島拓海, 樋口鮎美, 田中チャールズ, 藤澤直人

●車の特徴とチームの抱負

今年度の私たちは「信頼性・耐久性」をコンセプトに、「完走」できるマシンをめざしました。軽量の伝統は継承しつつ、新設計を多く盛り込みました。上位入賞、全種目完走します。

●スポンサー

本田技研工業, ホンダテクノフォート, Triple-K, 住友電装, ハイレックスコーポレーション, 日信工業, タカタ, NOK, 深井製作所, F.C.C



58 近畿大学 Kindai University

●メンバー

[CP] 増田優治, [FA] 梶原伸治, [MBR] 福岡忠将, 花木創士郎, 山崎慶法, 和多野良祐, 入口裕太, 岸本尚也, 境野茉莉, 開本拓真, 本田智大, 宮脇雅貴, 米島悠滋

●車の特徴とチームの抱負

「低重心化」を引き継ぎ、さらなる出力向上とトラクションの向上を目指し、「レースで勝てる車両」の開発を進めました。遠心式スーパーチャージャの採用、ドライサンプシステムの最適化など、飽くなき挑戦をモットーに上位を狙います!

●スポンサー

礎, NTN, AVOMoTeC Japan, 川崎重工業, キノクニエンタープライズ, スポーツランド生駒, 住友電装, ソリッドワークス・ジャパン, 大東コーポレーション, 大東ラジエータ, D.I.D, 東洋電装, 日信工業, ニフコ, 日ポリ化工, 深井製作所, ミスミ, 三宅工業, 名阪スポーツランド, やまと興業, 和光ケミカル (50音順)



59 鳥取大学 Tottori University

●メンバー

[CP] 八尋洸也, [FA] 河村直樹, [MBR] 西本大稀, 上田翔也, 久保田悠介, 大段俊樹, 中村司, 押見健太, 野村昂太郎, 土井麻未, 橋本理真, 前田俊輔, 落合勇太, 中務幸輝, 石井裕基

●車の特徴とチームの抱負

10回目の参戦となる今大会、「正常進化」というコンセプトのもと9年間培った技術を生かし大幅なデザイン変更を車体に加えました。その車体で全種目の参加並びにジャンプアップ賞を目指しています!

●スポンサー

川崎重工業, NTN, THK, ヤマネ機材, 日信工業, MISUMI, 協和工業, 鶴田金型製作所, 和光ケミカル, 鳥取大学ものづくり教育実践センター, ソリッドワークス・ジャパン, 関ものづくり研究所, タイヤショップT2, リンパーツ, monocolle, 光生アルミニウム工業, F.C.C



60 広島工業大学 Hiroshima Institute of Technology

●メンバー

[CP] 安永尚史, [FA] 中根久典, [FA] 吉田憲司, [MBR] 城井啓吾, 日焼誠, 大西宏樹, 久保田悠希, 広井笙太, 山本郁実, 好本史記, 三島さつき, 村上瑠香

●車の特徴とチームの抱負

ここ数年間で積み重ねてきた進化を今大会で発揮しチームワークで過去最高位を目指します。

●スポンサー

川崎重工業, FCデザイン, VSN, ソリッドワークス・ジャパン, スポーツランドTAMADA, shindaiwa, アベベ食堂, リーフガーデン



61 北九州市立大学 The University of Kitakyusyu

●メンバー

[CP] 松尾佳典, [FA] 吉山定見, [FA] 長弘基 [MBR] 赤松高志, 西見陽至, 清水裕介, 栗田裕介, 高瀬雄生, 内山一樹, 西寺拓也, 荒木拓人, 浅野裕樹, 上田智哉, 安藤武浩, 井下直哉, 西田健人, 福永諒汰, 藤田裕, 正代廉, 八重島陸年, 外本賢暉

●車の特徴とチームの抱負

[Original ~ 黎明から創成へ~]のコンセプトのもと、これまでの失敗を生かし、基礎となる車両作りを行っています。大会ではチーム史上初の全種目出場を目指します。

●スポンサー

川崎重工業, エフ・シー・シー, ソリッドワークス・ジャパン, 住友ゴム工業, ソフトウェアクレイドル, THK, トヨタレンタリース福岡 共立大前店, ウエストレーシングカーズ, キノクニエンタープライズ, デジタルステージ, ダウ化工, 協和工業, 深井製作所, NTN, K's moto, ミスミ, 和光ケミカル, 江沼チエン製作所, 日信工業, オーゼット

ジャパン, タカタ, 石原ラジエーター工業所, アルテアエンジニアリング, TANAC, ニコルレーシングジャパン, 北九州産業学術推進機構, 北九州市立大学国際環境工学部, 北九州市立大学国際環境工学部機械システム工学科, 北九州市立大学国際環境工学部加工センター



62 麻生工科自動車大学校 ASO College of Automotive Engineering and Technology

●メンバー

[CP] 澤田真光, [FA] 今村誠夫, [FA] 坂口利文, [MBR] 葛城貴広, 春日敬仁, 中村巨貴, 高田洋行, 沖嶋海都, 高橋幸佑, 藤根考平, 恵島佑介, 松永頼幸, 沖村卓哉, 平岡聖人, 魚住康誉, 石橋成弥, 土田一輝, 片山雄大, 中武昌優

●車の特徴とチームの抱負

今年度の車両は、フレームを新たに設計し、足回りのアップライトの素材にジュラルミンを使用した。14回大会では、完走する事、総合順位40位以内に入賞する事が抱負です。

●スポンサー

スズキ, テクニカルファクトリーブレイン, ファクトリーギア博多店, C.O.B-KART, ユウ・ワン・デザイン, 新洋工業, クレメント, 大嶋カーサービス, 深井製作所, ウメダ, A-ONEサーキット, アドバンテージ九州, カワテツ, 筑豊製作所, コックピット城南, 和光ケミカル, 雷山千如寺, ソリッドワークス・ジャパン



63 国士舘大学 Kokushikan University

●メンバー

[CP] 安川大貴, [FA] 児玉知明, [MBR] 和田将吾, 鈴木暉隆, 森岡裕次郎, 伊藤宗孝, 二木達也, 白倉優樹, 福土雄太, 渡邊顕, 栗山晴貴, 松井千尋, 松井勝, 木村勇, 神田智也

●車の特徴とチームの抱負

車両コンセプトは「Simple Mechanism」。複雑な仕組みを避けて設計することで、信頼性の向上を図り、確実に走行できる整備性の高い車両を製作することが狙いです。目標は全種目完走です。

●スポンサー

本田技研工業, スズキ, アンシス, リバースチール(鋼管部), 柳下技研, カルソニックカンセイ, ブリヂストン, VSN, 日立製作所 オートモティブシステムグループ, 東洋エレメント工業, エムズファクトリー, レーシングサービス, ワタナベ, ワイズトレーディング, ターボテクノサービス, エムエスシーソフトウェア, ソリッドワークス・ジャパン,

日発精密工業, ティラド, デイトナ, GOODRIDGE (JAPAN), ケーヒン, AVO/MoTeC Japan, シティカート, ダブルエム, サード, 和光ケミカル, ミスミ, 水戸工業, 竹内化成, やまと興業, ミノルインターナショナル, アルケー・エキセル, 中央発條, 高石石材店, ブローチ工機



64 青山学院大学 Aoyama Gakuin University

●メンバー

[CP] 野上一石, [FA] 佐久田博司, [FA] 林光一, [MBR] 久保哲宏, 藤森大輝, 大瀧峻河, 山田雅貴, 大脇正義, 氏家翔馬

●車の特徴とチームの抱負

このマシンから"進化"し、"革命"を起こせるような人材を育てる、起源となるマシンを開発するため私たちは"(R) Evolution"をマシンコンセプトとしました。

●スポンサー

ヤマハ 発動機, DENSO, NTN, PTC ジャパン, アルテック, INTERCAST, クイック 羽生, F.C.C., 村田, WESTRACINGCARS, サイバネットシステム, タカタ, クチダギアリング, 栄鋼管, ナガセツールマテックス, 茨城マグネシウム工業会, アップソフト, ガルーダ, 重松製作所, アルテアエンジニアリング, 権田金属工業



参加チーム【チームメンバー・スポンサー】

Team Information (Members and Sponsors)

65 富山大学 University of Toyama

●メンバー

CP 藤田紘也, FA 会田哲夫, MBR 芦川実花, 星野峻, 渥美樹, 三川詩乃, 津倉克弥, 高橋良尚, 山田章史, 大橋莉央

●車の特徴とチームの抱負

まだまだ完成度が低いマシンですが、このマシンにはメンバーの強い思い入れがあります。先輩方が果たせなかった大会完走を目指し、チーム一丸となって活動してきました。

●スポンサー

石金精機, NTN, F.C.C, FCデザイン, embrella, 岡島パイプ製作所, ソリッドワークス・ジャパン, 太成, Tan-ei-sya, 道具, 富山新聞, 不二越, 本田技研工業, ミスミ



66 埼玉工業大学 Saitama Institute of Technology

●メンバー

CP 藤浪和映, FA 高坂祐顕, FA 向井竜二, FA 中島慎介, MBR 中山裕紀, 千把朋也, 大山夏樹, 今井和希, 近藤祐亮, 久保徹浩, 武藤拓歩, 高梨勝斗, 狩野晴駆

●車の特徴とチームの抱負

前年度のマシンを参考に各所の軽量化、高剛性化を目指しました。フロントバルクヘッドの省スペース化、パワートレインまわりの見直し、運動性能とドライバビリティの向上を実現、順位上昇を目指します。

●スポンサー

スズキ, 日信工業, 大同工業, 新藤, 東洋電業, 東京アールアンドデー, エフシーシー, 三菱マテリアル, 不二越, 富士精密, 重松製作所, 高周波精密, 岡田商事, 埼玉工業大学後援会



67 National Taipei University of Technology

●メンバー

CP TSAI, YU-LIANG, FA CEHN, JIA-SHIUN, MBR KAO, CHUN-YU, LIN, XIU-YU, CHEN, JUI-JUNG, LEE, SHANG-YEN, WU, MENG-SIAN, GUO, GHANG-HONG, LIN, KAI-QUN, JIANG, XI-QUN, LEE, CHENG-CHIN, FAN, CHENG-YU, HUANG, YU-XIANG, TSENG, CHENG-YAO, WU, JUN-JIE, WU, YAO-CHENG, CHANG, JIN-JENG, JHANG, JI-HAO, CHANG, BO-SIANG, WANG, BO-HUA, HSIEH, MING-CHIEH, LI, HSUAN-FU, WU, ZONG-XUAN, MAI, TING, ZHENG, ZHOU-EN, HSU, TAI-HUNG

●車の特徴とチームの抱負

We come from Taiwan, and it's the second time we compete in SFJ. With our great performance race car, which has pure carbon fiber outlook and

variable aero package, we hope to get a great achievement this year.

●スポンサー

Paolyta, EPOLAB Chemical Industry, Formosa Taffeta, AI-Tron, Corum Yachts, TAROKO Karting Land, ASAZAWA, PROGI, Triones, MITUTOYO, NSK, GJMS, Axalta, X-Fusion, Rototech, KR Motor, FCC Taiwan, Master Hold, Cyberlink, Red Line Synthetic Oil, RCE Power, Golden-Bloom, Founderland, Fuliez Enterprise, Taiwan Glass, KOSO, Aurora



68 千葉工業大学 Chiba Institute of Technology

●メンバー

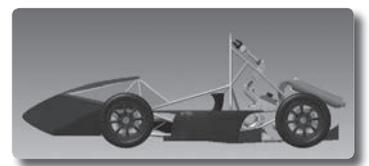
CP 井崎正隆, FA 村越茂, MBR 和田潤一, 宗宮寛行, 小野隼斗, 伊藤拓人, 神原涼, 鎌形大紀, 高井俊磨, 長谷川諒, 河合耕輔, 海東達也, 金原大地, 甲斐千裕, 斧澤怜大, 田中智啓, 岡部凱晴, 厚地穂乃佳, 井上洸太, 植根裕大, 北風直起, 伊藤汐里, 秋元晟太郎, 高田勇輝, 高木颯統

●車の特徴とチームの抱負

チーム設立から3度目の大会出場となる今大会にこれまで蓄積してきた技術と経験に加え流体解析と最適構造解析を採用し、マシンコンセプト「人車一体の追求」を掲げ軽量化に重点を置いたFCITR-03で成績挽回に望みます。

●スポンサー

ヤマハ発動機, NTN, VSN, 日信工業, アルテアエンジニアリング, 深井製作所, F.C.C, RAC, PMC, Nozawa Honda, 谷津商事, 細瀬ラジエータ工業所, 京葉バンド, ソフトウェアクレイドル,



69

日本大学生産工学部 College of Industrial Technology, Nihon University

●メンバー

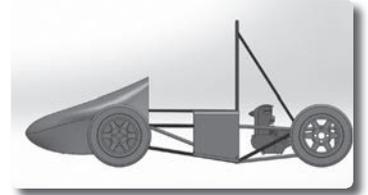
[CP] 松田明子, [FA] 高橋進, [MBR] 川合孝汰, 牧野翔, 伊東一輝, 赤津紀薫, 高館洋太郎, 渡邊健太, 對野壱星, 廣谷和馬, 小室賢太郎, 小牧翼, 平井直人, 吉田誠, 高橋和輝

●車の特徴とチームの抱負

私たちのマシンは単気筒であるエンジンを活かすためフレームの軽量化、信頼性と整備性の向上をコンセプトに設計・制作しました。また、メンバー一同全力で取り組み今年こそは完走及び入賞を目指します。

●スポンサー

本田技研工業, Solid Works ジャパン, NTN, F.C.C, クイック羽生, AUTOLANDTECHNO, 日信工業, NOK, Sakata Designers



70

茨城大学 Ibaraki University

●メンバー

[CP] 小田中竜士, [FA] 西野創一郎, [MBR] 菊池拓, 福島惇, 今野将彦, 村田和輝, 江口勇仁, 仲秋俊太郎, 菅谷学人, 田中碩人, 坪井延晃, 伏見輝, 佐々木駿真, 丸山敬太, 栗原大輔, 林一尋, 工藤大輝, 平祐介, ドブシンバトル

●車の特徴とチームの抱負

弊部は今年で12年目を迎えました。マシンコンセプトは昨年と同様"Fastest with Ease"と定め、誰もが速く走らせることができるマシンを目指します。昨年は不運に見舞われましたが、今年こそは首位を奪還し、総合優勝を目指します。

●スポンサー

アート科学, IDAJ, 愛和精密製作所, 浅野, 旭化成建設, アシダコーポレーション, アネブル, アルトナー, 茨城製作所, 茨城トヨタ自動車, 茨城プレイング工業, 今橋製作所, いわき精機, 岩手製作所, WIT, NOK, NTN, エフテック, エムテック, オエティカジャパン, 大洗サーキット, 大川精機工業, 奥久慈食品, 小田中リンゴ園, 菊池精器製作所, 菊池歯車, キノクニエンタープライズ, ギャロップ, 協和工業, 光南工業, ココファクトリー, 小峰製

作所, 近藤科学, 幸手スプリング, サムシングコーポレーション, 三桜工業, 澤畑モーターズ, サンテック, 三和精機, CD-adapco, シェフラージャパン, JWAY, 重松製作所, ショウエイ, 常陽モーターズ, 新栄製作所, スクーテックジャパン, 助川工機, スズキ, 鈴木工業所, 砂川産業, 住鋳潤滑剤, 清和製作所, 相鐵, ソリッドワークス・ジャパン, ダイジ, 太洋工業, タマディック, 大成プラス, タカタサービス, TAN-EL-SYA WHEEL SUPPLY, ツジ電子, 鶴町製作所, THK, ティエス, テック, デル, トーホー, 東日製作所, 東プレ, 東北ラヂエーター, 東洋電装, 東和パーツ, 富田木材, トヨウラ, NUTEC Japan, 西坂製作所, 日興製作所, 日昌製作所, 日新鋼管, 日信工業, ニフコ, 日立電機工業, 日立港病院, 日立民主商工会, 廣木製作所, フォルム, 深井製作所, 富士精密, フラワーオート, プラスミュー, プロテクト, ヘンケルジャパン, 堀田電機製作所, 本田技研工業, 丸紅情報システムズ, 水戸精工, ミスミ, 水戸工機, 南高野医院, 三森製作所, 村田工業所, やまや木型製作所, UACJ, ユーコー, ユキ製作所, ユニキャスト, ヨコタ工業, Raycraft racing service, 天谷龍夫様, 末永仁様



71

明星大学 Meisei University

●メンバー

[CP] 田中遼, [FA] 川原万人, [FA] 亀井証明 [FA] 石田弘明 [FA] 小山昌志, [MBR] 池本拓也, 奥山裕貴, 野村宗樹, 佐々木康介, 出羽優大, 足立俊輔, 中清度志, 小倉洋平, 長内知斗

●車の特徴とチームの抱負

昨年は車両の完成が間に合わず悔しい結果に終わってしまいました。そのため、今年は早目の車両製作を心がけ活動しました。車両の特徴は横置きモノショックシステム、主要フレーム丸パイプ化を行ったことです。横置きモノショックシステムは明星大学で2011年から採用しており、今年で6年目になります。横置きモノショックシステムは部品点数削減とそれによる軽量化が望めます。主要フレーム丸パイプ化はメインフープ、フロントフープとパイプ径統一化をし、加工性を向上しました。今年は14年大会で成し遂げられなかった全自動の審査完走、総合順

位25位以内を目指し、チーム一丸となって頑張ります。

●スポンサー

アークエンジニアリング, アルテック, 石河製作所, ウェストレーシングカーズ, 岡村タイヤ, 小島製作所, 坂西精機, 佐々木工業, ジーテック, 真幸電機工業, SLASH, ヘスラッシュ, タッソーシステムズ, ドライバースタンド府中2りんかん, 深井製作所, プレニー技研, 本田技研工業, F.C.C, MYZ, NTN, RAC, RAYS, Woodfamily, YOKOHAMA, 明星大学育星会, 明星大学同窓会, 明星大学理工学部総合理工学科機械工学系



72

東京工科大学自動車大学校世田谷校 Tokyo Technical College Setagaya Campus

●メンバー

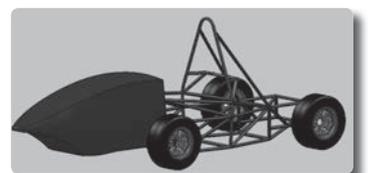
[CP] 熊谷誠之介, [FA] 松田意広, [FA] 澁谷健 [FA] 浅井恵一, [MBR] 岩澤直矢, 興柁めぐみ, 根田哲平, 中村優太, 中山隆一, 西澤桂佑, 竜嘉栄, 丸山純司, 村山翔梧, 安藤匠, 伊ヶ崎智貴, 植平智也, 菊池克也, 五木田浩彰, 佐藤拓也, 渡邊順也

●車の特徴とチームの抱負

今年の車両のコンセプトは「コンパクト」です。チーム結成から四年目の今年にやっと目指す車両になったので全競技完走を目標に頑張ります。

●スポンサー

神奈川ダイハツ販売, アイテックス, 横浜トヨペット, バイクカーアンドカンパニー, 東京トヨペット, 宮園輸入車販売, ホンダカーズ中央神奈川, ネットヨタ横浜, 東京マツダ販売, いすゞ自動車首都圏, 日野テクニカルサービス



参加チーム【チームメンバー・スポンサー】

Team Information (Members and Sponsors)

73 Harbin Institute of Technology at Weihai

●メンバー

[CP] Mengqi Liu, [FA] Jianfeng Wang, [MBR] An Li, Shenling Wang, Huimin He, Minghui Gao, Shuxi Ye, Yuan Tang, Xinwu Li, Wenqi Tang, Jiankun Zhang, Hanqing Pan, Zijie Wang, Xiaoyan Wang, Yuhuan Liang, Chunran Li, Jiadong Liu, Wenyan Ou

●車の特徴とチームの抱負

HRT was established in November 2009, and it is one of the national teams to participate in the first event of FSC. Based on domestic but look international, and two stations in SFJ and one in FSG showing the world Chinese FSAE style. Besides HRT is also the pioneer of the monocoque, carbon fiber axle, suspension, and one-piece full carbon fiber rim.

●スポンサー

Guangwei, Wanfeng, Ansys, MSC, TIRF, Henkle



74 Zhejiang University City College

●メンバー

[CP] Wang Xugang, [FA] Zhang Yu, [MBR] Chen Jiayi

●車の特徴とチームの抱負

Rui Ying team adhering to the spirit of "strives for realism the innovation" with the team concept of "Strive to do your best". The team in the industrial center of the university as the background, to ensure the team have good hardware condition.

●スポンサー

Shenzhen No.1 Advanced Materials Americas Inc; Zhejiang Cfmoto Inc; Huaian Xingu Inc; Hangzhou Yake Inc



75 Sebelas Maret University

●メンバー

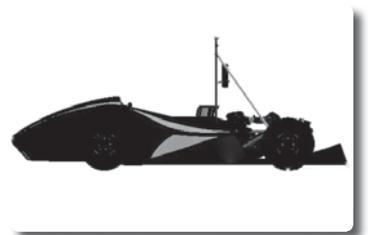
[CP] TOMY ARIF WIDODO, [FA] Dr. Eko Pujiyanto, S.Si., M.T., [MBR] Vania Astri Pramudita, Evan Satya Septa Viandi, Bhre Wangsa Lenggana, Muhammad Andy Anzy, Welly Nopi Healtanto, Aji Masa'id, Wahid Ramadhan, Dicky Agus Triyono, Vidi Fajri Herwanda, Fahmi Imanullah

●車の特徴とチームの抱負

Our cars are designed to be a Student Formula Car that concerned about security and performance. Lightweight body with carbon fiber, the design looks fast and classy, high acceleration, good handling, inexpensive manufacturing cost, and using environmentally friendly paint colorings.

●スポンサー

Toyota, Bank Indonesia, Djarum Foundation, ISTW, Hooiser, Keizer, Speedway, Indaco, Wika, ProRock Engineering, 168 Body Conversion



76 Chulalongkorn University

●メンバー

[CP] Itthiphath Laokwansatit, [FA] Nuksit Noomwongs, [MBR]

●車の特徴とチームの抱負

With all new design from scratch making use of high performance parts, we optimize the for the best suitability of the driver while maximizing performance of our car. This year, the car is lighter and more powerful than before, hoping to bring the team to the top in celebration of the 100th anniversary of our university.

●スポンサー

Singha, CCS Engineering, Exedy Friction Material, Oxiso, Bangkok Bank, SKF, Solidworks, Tozzhin International, Toyota, Morin Racing, Rabbit Prototype, Veerasiam



77 Universitas Gadjah Mada

●メンバー

[CP] Muhamad Luthfy Kusnadi, [FA] Fauzun, S.T., M.T., Ph.D., [FA] I Gusti Bagus Budi Dharma, ST., M.Eng., Ph.D., [MBR] Febiola, Teodora Retno Astrini, Fajar Fitrahadi Danda, Ahmad Maulana, Rizki Pujianto, Alfian Wildan, Arviyan Dendi Mahendra, Muhammad Ferdiawan Hananto, Rifqi Taufik Alhakim, Redo Maulana, Faishal Abdurrohman, Arif Kurniawan, Ogi Budiana, Fadhilillah Aldi Ramadhan, Zeffany Nehemia, Romario Muhammad Amri, Nyoman Arya Wiriyawan, Rifqi Dwantara, Sarah Iftin Atsani, Muhammad Bhigar Wachid Puriyanto, Dhiaurochman Airlangga, Monika Sekar Utami Melati Istanto, Arinta Budhi Nugraha, Adrianus Prabowo Guritno, Nabila Ridwan, Prastyastuti Ari Ratnasari, Said Yanuar

●車の特徴とチームの抱負

There's a significant reduction in weight compared to the previous manufacture. This is largely due to the replacement of the engine to 450cc-one-cylinder in order to optimize power at low RPM so we can get maximum acceleration. We are committed to design racing car vehicle that can compete in the international automotive industry. We hope our innovation will become a reference to develop and trigger Indonesia's automotive industry.



●スポンサー

Federal Oil, UPT Logam, Silk Air, PT. YPTI, Bank Jabar Banten, Braille, Bank Nagari

78 Universiti Putra Malaysia

●メンバー

[CP] Muhammad Ikhluddin Bin Ishak, [FA] Associate Professor Ir. Dr. Mohd Khairol Anuar bin Mohd Ariffin, [FA] Dr. Mohd Idris Shah Ismail, [FA] Dr. Abdul Aziz Bin Hairuddin, [FA] Dr. Azizan Bin As'arry, [FA] Dr. Che Nor Aiza Jaafar, [MBR] Muhammad Naim Bin Ahmad, Calvin Thong Wei Hong, Cheng Mun Chun, Fahad Naseer, Adly Shah Bin Abu Seman, Shadi Abdeladim Gabasa, Muhammad Ikhluddin Bin Ishak, Muhamad Hafiy Naim Bin Ismail, Mustari Bin Mohd Dahlan, Muhamad Afiq Syafiq Bin Matsari, Ahmad Iffan Bin Zailani, Muhammad Adhar Bin Bagus, Jehad Abdeladim Alamin, Nuramalina Binti Rosdan, Afiqah Binti Sulaiman, Nurul Syafiqah Binti Ishak, Nurhidayah Binti Azman, Nurul Zawanah Binti Noraslan, Dayana Binti Roslan, Muhammad Alif Syafiq Bin Ahmad Khusaire, Muhammad Dinie Bin

Zamzuri, Mohd. Nizar Bin Mohd. Naim, Amirul Ashraf Bin Mohd. Ramli

●車の特徴とチームの抱負

Our SAE car, Jebat is built from ground up. It features a compact steel spaceframe chassis. 600 cc Suzuki engine is paired to 6 sequential gears with wire driven shifter. Suspension is designed to reduce understeer. The aerodynamic design generates 2000N at 120 kph. Various engineering technology has been incorporate, including CNC, rapid prototyping and carbon fibre layup. Our ultimate goal is to finish dynamic event with respectable results.



●スポンサー

Kokka Trading Sdn. Bhd., Micro Precision Machining Sdn Bhd

79 Ajou University

●メンバー

[CP] Sim Kiseon, [FA] Jeon Yongho, [MBR] CHA SUHYUN, AN YOHAN, PARK BYONG EON, BAE JEONG HOON, JUNG WON, JUNG CHANSIK, KIM SIWON, KIM TAE HUN, KWON YONGMIN

●車の特徴とチームの抱負

1. We are the only one team participate in this competition at South Korea 2. We use Honda's CBR600rr (06) engine and apply drysump technology. 3. We apply paddle shift using a Arduino module & air cylinders. 4. We want to enjoy this competition with another university friends.

●スポンサー

Cass bear (ABInBev) & Ajou University, BMW Korea, F.C.C (LSD), Omega (engine oil), Dailey Engineering (Oil Pump), Dynojet (Power Commander), Hoosier (Tires), Ajou univ Linc



80 National Tsing Hua University

●メンバー

[CP] Lin Zhan Jun, [FA] Lin, Chao An, [FA] Tsai, [FA] Hung-Yin, [MBR] Patricia Sung, Cai, Hong Cheng, Wang, Yi Jia, Li, Yu cheng, Chen, Yu Ting, Liao, Yu Yung, Huang, Yi Hsiung, Lai, Chin Yi, Yang, Kai Cheng, Kuo, po yang, Lin, Zhi Da, Liu, Cheng Yu, Lin, Yi Shiang, Wang, Shao Yu, Wu, Chung Hsin, Lin, Tzu Yang, Lu, Shiang Lin, Guo, Wen Yu, Liu, Yu Wei, Lai, Yu Chieh, Gao, Zhu Yu, Carl Chao, Lin, Sheng Chiang, Zhou, Yong Kai



参加チーム【チームメンバー・スポンサー】

Team Information (Members and Sponsors)

81 日本モータースポーツ専門学校大阪校 *Japan Motor Sports College*

●メンバー

[CP] 萩本賢一, [FA] 藤井博, [MBR]

NO DATA

NO DATA

82 九州大学 *Kyushu University*

●メンバー

[CP] 加藤雄大, [FA] 森上修, [FA] 川良達也, [MBR] 稲見翔, 丸井一生, 加藤祐也, 桂右京, 太田貴文, 和田健太郎, 須賀俊介, 堀田真衣希, 大脇雄斗, 梶谷優人, 小田壮士, 中島樹, 村上賢悟, 末田美和, 高橋聡史, LEEChaeHyun, 大川雄大, 池見優志, Akilan Mathiazhagan

●車の特徴とチームの抱負

九州大学学生フォーミュラは今年大会に初めて出場します。初めての参加ということもあり、なかなかうまくいかない点もありますが、チャレンジャーとして、まずは最初の難関である車検を突破できるように頑張ります。

●スポンサー

ホンダ、ソリッドワークス・ジャパン、モビテック、エフ・シー・シー、日信工業、協和工業、ウエストレーシングカーズ、ワークスベル、THK、UACJ、日本発条、神和自動車、ミスミ、NTN、D-GARAGE、住友電装、住友ゴム工業、日本精工、深井製作所、建築マニア、INTREPID JAPAN、吉田酸素、デンソー、ATAIデザイン、ラストラダー、FRP-KOUDA



83 DHA Suffa University

●メンバー

[CP] Syed Zabrain Arshad, [FA] Dr. Bilal Ahmed Siddiqui, [MBR] Saliman Khan, Usama Syed, Hammad ur Rehman, Zohair Khan, Shaikh Muniruddin Nizami, Saad bin Ishtiaq, Hasan Ali Khan, Adam Asif, Hadeeqa Choudhry, Bilal Mustafa Naqvi, Muhammad Raza, Haroon iftikhar, Ramish Hassan, Arish Yashar, Saad Afzal, Mataf Khan, Ahsan Arshad, Hassan Iqbal, Khurram Ahmed, Umer Danish Bashir

NO DATA

84 Southern Taiwan University of Science and Technology

●メンバー

[CP] LIU, YI-XIU, [FA] Wei-Chin Chang, [MBR] Ho, Kun-Chun, Tsai, Dong-Han, JANG, HUA-LIN, KHOR, BOON-HAU, LIN, HONG YU, WU, JHE WEI, WU, CHUN-YI, CHANG, HAN-JUNG, LU, JUN-YU, YANG, HONG-ZHENG, WU, WEI-HONG

●車の特徴とチームの抱負

ER-105 adopts 13" tires and a Honda 600cc engine, with a stream line carbon fiber body and rear wing, the car is powerful and ready to shine.

●スポンサー

Taiwan BC-racing, founderland (達聯), koso, SKF, Taiwan Electric Insulator (TEI), KYT, 台瑞 Beltenick, MAXXIS, formulaZ, NSK永和順股份有限公司, Pro's Kit, F.C.C (TAIWAN), F.A.R



85 Sinhgad Academy of Engineering

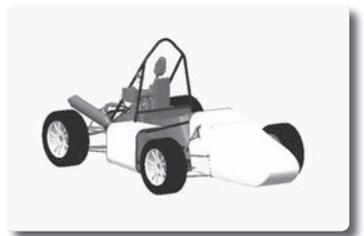
●メンバー

[CP] Himanshu Kolambe, [FA] Ajay Kalmegh, [MBR] Darshil Shah, Ashutosh Patil, Shubham Chopade, Abhishek kuyate, himanshu kolambe, Aditya Mukharjee, Ritesh Advani, shreyas vaidya, shashwat kulkarni, Ahirrao manjusha, gohil sharma, Kulkarni chinmay, Sandeep singh, Hande atul, Pratik ballal, Bhushan attarde, chhajer rishab, Tanveer mogal, memane saurav, jaffar shaikh, akshay sharma, botkar aniket, shubham jain, Mayur shelke, Akshay patil, Anand nagapurkar, ajinkya nikam, Gethe rajat, Shubham gurule, Pranav gavle

●車の特徴とチームの抱負

It is teams cherished desire to launch itself internationally with a winning debut. The aim is to channelize our engineering fundamentals

and passion into a succesfull car. building venture that will earn us practical hoaning of our skills The car offers proper lateral weight distribution along with tight cornering stability. It also features use of composite materials for non structural components.



●スポンサー

Rushabh Sealinks, -High Rush, Carbon Light, Subhit Enterprise, Neelkamal Fasteners, Kuldeep Engineering, Spectrum Industries, Kliktronic, Evonik, I-Studios, Aluzinc Asia Pvt Ltd, Oz Racing, My PitCrew, Imaginarium

86 Sinhgad Technical Education Society

●メンバー

[CP] Nilesh Bothra, [FA] Amar Pandhare, [MBR] Kerman Cooper, Tanay Shinde, Tanveer Kaur Bagga, Karan Chitore, Ankur Jain, Ashwad Pandit, Rucha Boid, Madhura Borole, Tushar Fariya, Devika Waghela, Ninad Patil, Sumit Goski, Vaibhav Musale, Rohan Nimbalkar, Pranav Darade, Prasanna Revankar, Gaurish Shirodkar, Sanmitra Salunke, Deoraj Asane, Rushikesh Dhanwate, Sahil Shah, Akash Dhotre, Shubham Kakkad, Apoorva Nagarkar, Piyush Biraje, Kishor Patil, Abhishek Raut, Rudresh Lonkar, Utkarsh Khodke, Saharsh Chandak, Sanket Biramane, Rishabh Dara, Snehanjali Saste, Chetan Patil, Nikunj Choudhari, Sanket Raikar, Amit Dandagavhal, Shubham Gaikwad, Harsh Punjabi, Shumoil Ansari, Neha Saste, Kartik Panchal, Kishor Patil, Mahesh Kawade, Shahrukh Parwez, Parag Deotale, Amey

Keskar, Danish Dhavgaye, Aniket Kulkarni, Pradnya Pawar

●車の特徴とチームの抱負

Designing our car from ground up, we aim for overall performance with an upgraded KTM 390 engine, our focus lies with keeping the car as light weight as possible without compromising safety and competing in the dynamic events as well as maintaining our ranks in static events.

NO DATA

●スポンサー

Knorr Bermse, DHL, Lumetron, JCB, SetCo

87 AGH University of Science and Technology

●メンバー

[CP] Tomasz Biela, [FA] Daniel Prusak, [MBR] Piotr Zawodny

NO DATA

NO DATA

88 Galgotias University

●メンバー

[CP] Narendra Singh, [FA] Dheer Singh, [MBR] Garvit Gupta, Priyanka Das, Sarthak Nigam, Shubham Garg, Rayan Iqbal Sheikh, Shikhar Gupta, Rajan Kumar Kewat, prashant vats, dhruv goel, shalu tulsyan, bijoy bainik, sambhav tyagi, Ahmad Hussain, Suraj Kumar Mishra, Shubham kumar, Apoorv Maheshwari, Sandeep Kumar singh, vishal pathak, santan suman, utsav garg, Ishan Sharma

NO DATA

参加チーム【チームメンバー・スポンサー】

Team Information (Members and Sponsors)

89 Manav Rachna International University

●メンバー

[CP] ANKUSH SARKAR, [FA] ABHISHEK CHAUHAN, [MBR] LAKSHAY SACHDEVA, SAURABH VIR, HIMANK AMBASHTA, ANMOL RATAN TUTEJA, CHARANJEEV MEHNDIRATTA, BHANUJ PAL, ANKUSH SARKAR, KRISHNA LALIT SINGH, JAI KUMAR BHATIA, DIVYANSHU SHARMA, VIVEK SHARMA, AKARSHIT TALUJA, VIKAS DAHIYA

●車の特徴とチームの抱負

Blue Star, Fiat, Honda, Hks, IAI, BLW ENGINE VALVES, General Automotive Society, Pip4web,

●スポンサー

yamaha R-6 Engine, Trianga Colour, steel spaceframe, glass fibre body, front-double unequal length A-arm push rod, rear-double unequal length A-arm push rod, length-2703mm, height-1303mm, wheel base-1610mm, weight-210kg, ground clearance-2.2".we always improve ourself and our team and most important car .Over the past few months we are performing as a performance team of India.We are ready to stand on the podium NOW IBELIEVE I CAN.



90 Universiti Teknologi Malaysia

●メンバー

[CP] Muhammad Taufiq b. Mohd Zin, [FA] Mohd Farid b. Muhamad Said, [MBR] Muhammad Haziq b. Zainal Abiddin, Shahdan bin Azman, Muhammad Nur Syafiee bin Jamiran, Peraveen A/L N Kannadhas, Hafidz Afiq bin Hamdan, Raja Muhamad Syaiful Azri bin Raja Razman, Muhammad Fitri bin Shamsul Bahri, Nik Ahmad Faisal bin Mohd Kamarolzaman, Muhammad Khairul Niezarman bin Ismail, Vairasivam A/L Karisna Kumar, Vimalathithan A/L Thandaithabany, Ahmad Saif Abidullah bin Shahrin, Nazirah binti Adnan, Ahmad Hafiz bin Mohd Rozi, Zul Fahmi bin Khamiti, Luqman bin Othman, Mega Wati binti Hawapi, Muhammad Heiree bin Mohamed Harif, Mohamad Iskandar Mirza bin Mustafa, Tay Kian Yoon, Hieifarith Suffri bin Shamsuddin, Wan Ahmad Asyraf bin Wan Hanif

●車の特徴とチームの抱負

Space frame chassis with approximate 250kg total weight. Coloured in red and white to the theme of our logo. To be recognised by local and international teams as one of the greatest formula student team to ever compete. Be loyal to those who raise you up, have the courage in being different and respect others as you would wanted to.

NO DATA

●スポンサー

Bike Concept

91 Universiti Teknologi Malaysia Kuala Lumpur

●メンバー

[CP] MOHD IZZAT ASHRAFF BIN NAPIS, [FA] SHAMSUL BIN SARIP, [MBR] MUHAMMAD ABU HANIFAH BIN SAUGI, NURUL FATIHA SHAHIRA BINTI MOHD ZULKIFLI, SYAHIRAH BINTI SALAM, SYAMIL HAFIY BIN CHAIRIL ANWAR, MUHAMMAD YUSUF BIN MOHD DANI, MUHAMMAD ZIKRI BIN MOHD BAKRI, AMIRUL AMIN BIN AZHAR, MUHAMMAD ZULHANIF BIN MAZLAN, MOHAMAD AMIRUL ARIEFF BIN RUSLAN, MUHAMMAD ASHRAF BIN ZAIDIN, IMRAN BIN JEANNOT, NUR FATIHA BINTI CHE YON ROSNI, MUHAMMAD RAFI'UDDIN BIN KAMARUDDIN, NOR AMIRUL SYAZUAN BIN NOR AZMI, MIOR ADDRY SHAH BIN MIOR BADROL HISHAM, NOR ZAYIDSYAHMY BIN NORULHUDA, MUHAMMAD UZAIR BIN GHULAM HUSSAIN, MUHAMMAD HAMIZAN BIN MOHD SALLEH, AHMAD

ASHRAF BIN AHMAD ZAIMI, DANIEL ESLAAM BIN MANSOR, NOR NAIM SYAZWAN BIN MOHAMAD YUSMAN, MOHAMAD LUQMAN BIN MOHD ZAHID, AMIER ABDULLAH BIN ABDUL RAZAK, MUHAMMAD IRFAN BIN JAAFAR

NO DATA

92 Thai-Nichi Institute of Technology

●メンバー

[CP] Sedtawut Wor.singhakajen, [FA] Yoshida Yusaku, [MBR] Nitipat Yodpijit, Chatchana Rooraksri, Pattanapong Homdaung, Natthanun Anansitikorn, Rapeepat Nanghuob, Kiattisak Prommachat, Pitakpong Tempiem, Kopkhoon Takkapong, Yutthapichai Phantummas, Kittitach Suvannakate, Pherawat Aekbancha, Bundit Thoraphising, Supasarun Thabki, Warot Thongwilai, Tarm Tadakitissarn, Worarat Aumsard, Pattara Wongapai, Teerasit Sangsayan, Tachat Witthayanun, Preecha Lohalertkit, Ravipas Nukulpukdi, Athikom Distsangworn, Jaksawat Rattanamet, Thanawat Samanya, Rachapon Treeworawat

NO DATA

93 U.A.S. Graz

●メンバー

[CP] Christian Rosenhammer, [FA] Michael Trzesniowski, [MBR] Timo Berchtaler

NO DATA

NO DATA

E1 静岡理科大学/名古屋大学 Shizuoka Institute of Science and Technology/Nagoya University

●メンバー

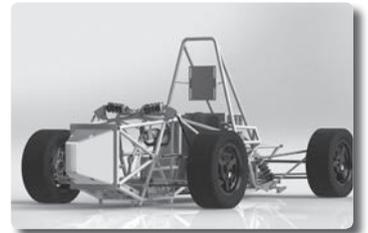
[CP] 松本和也, [FA] 高林新治, [FA] 鈴木達也 [FA] 土屋高志, [MBR] 石井はるか, 川合貴士, 鈴木一輝, 鈴木恭介, 竹内佑真, 木村駿吾, 一木龍也, 坂本和哉, 新村磨矢, 牧野駿, 水島永雅, 高橋亮介, 青山千晃, 寄特涼平, 杉浦聖大, 古谷優知, 矢野幸子, 田淵聖之, 濱田翔多, 三久保瑛, 小杉直, 定行滉司, 藤井海斗

●車の特徴とチームの抱負

今年度限定で静岡理科大学と名古屋大学が合同チームとして参加します。静岡理科大学のパワートレイン技術と名古屋大学のシャシー技術を駆使し、全種目完走、EV部門4連覇・総合入賞を目指します。

●スポンサー

ダイキン工業, スズキ, 橋本鉄工所, ソリッドワークス・ジャパン, 鳥居自動車, ユニバンス, NTN, デイトナ, 大同工業, 関ものづくり研究所, THK, 協和工業, センサータ・テクノロジーズジャパン, オエティカジャパン, タイコエレクトロニクス, 矢崎総業, アイ・アール・エス, 小楠金属, SHOEI, 深井製作所, ユタカ技研, エヌ・エム・ビー販売, プロトラッド, ザム・ジャパン, イグス, ISK, ミスミ学生ものづくり支援, 住友電装, 協永産業, ウエストレーシングカーズ, 富士コミュニケーションズ, 小糸製作所, 富士ゼロックス, ベルキャリアール, 東芝, 鈴与商事, 鈴与システムテクノロジー, 鈴与建設, 静岡ビルサービス, 中央発明研究所, 東日製作所, MathWorks, アルトナー, 日信工業, 富士精密, 呉工業, IDAJ, ロード・ジャパン, キノクニエンタープライズ, 日本発条, 柴田車輛, メイデー, 名古屋大学全学同窓会, テクウェル, 岡島パイプ製作所, トヨタ自動車名大会, デンソー東山会, 豊田中央研究所, アイシン精機名古屋OB会, キャリオ技研



E2 トヨタ名古屋自動車大学校 Toyota Technical Collage Nagoya

●メンバー

[CP] 外川慧, [FA] 早川哲也, [MBR] 佐藤優朗, 藤田晃輝, 林朋大, 濱口知央, 矢野雄大, 嶺澤宏旭, 宜本将裕, 宮地一樹, 寺田洋介, 知花謙一郎, 小林俊吾, 佐藤隼, 竹内隆文, 磯谷誠人, 植田譲彦, 山田真寛, 北出正人, 大橋直希, 富田大敬, 谷口匡士, 澤田篤志, 各務倫之, 古谷峻, 松田裕貴, 廣瀬賢一, 木根雅隆, 中園健太郎, 藤居真広, 溝口祐一郎, 吉見淳, 田端辰匡, 日比悠也, 森岡俊祐, 早川裕介, 加藤友樹, 黒田尚平, 浦山拓也, 小原得公, 高瀬瑛輝, 高瀬瑛輝, 菊谷蔭和, 桐山猛, 神田大地, 鈴木隼人, 大辻智晴, 松田恭一, 塩澤魁, 代田観識, 吉永幸陽, 山本遼, 須田陽太, 竹村大, 佐藤友哉, 吉永弘大, 石川俊

●車の特徴とチームの抱負

本年度は「信頼性の上に成り立つドライビングの楽しさ、興奮を手軽に実現する車両」をコンセプトに掲げ、早期シェイクダウンによるマシンの信頼性向上を果た

し、全動的種目の完走とEVクラス優勝を目指します。

●スポンサー

ヤマハ発動機, 日本グッド・イヤー, タクティ, エフ・シー・シー, 岡野エレクトロニクス, NTN, 協和工業, 新明工業, 関谷醸造, ソリッドワークス・ジャパン, 大仙産業, 高木製作所, タッド, トヨタカラー愛知, 豊田合成, ニコルレーシングジャパン, バイコージャパン, 深井製作所, 和光ケミカル, 矢崎総業, センサータ・テクノロジーズ ジャパン, 教育産業, axona AICHI, イワタフクソー, イーブイ愛知, キョウセイ交通大学



E3 東北大学 Tohoku University

●メンバー

[CP] 澤瀬燈, [FA] 中村健二, [FA] 後藤博樹, [MBR] 石井肇, 吉田彩乃, 窪田春香, 松井瑛, 田代直輝, 数田佳絵, 米内山宙, 向井誠人, 石川裕太郎, 新田竜世, 鈴木裕貴, 竹山佳那

●車の特徴とチームの抱負

TF-16の開発では「速い、軽い、扱いやすい」をスローガンに、駆動システムの一斉・シャシーの大幅な軽量化によるP/Wレシオの改善と、過去3年の経験による整備性の熟成に注力しました。目標は総合上位です。

●スポンサー

東北大学大学院工学研究科ノウ倉・中村・後藤研究室, 東北大学未来科学技術共同研究センター, MotoGarage WINDS, 東北大学西澤潤一記念研究センター/マイクロシステム融合研究開発センター, アストロ機工, オートボックスセブン, モディー, トヨタ自動車東日本, 宮城トヨタ, トヨタレンタリース宮

城, トヨタカラー宮城, 仙台トヨペット, トヨタレンタリース仙台, ネットトヨタ仙台, ネットトヨタ宮城, トヨタホームとうほく, トヨタL&F宮城, 花壇自動車大学校, オートモーティブエナジーサプライ, 日本レクタイト, ニフコ, 小野精工, 三幸歯車, 梅沢無線電機, ソリッドワークス, ミスミ, RSコンポーネンツ, 日信工業, 協和工業, THK, 矢崎総業, NTN, NOK, VSN, 深井製作所, Boeing, センサータ・テクノロジーズ, 日本発条, GVテクノロジーズ, 和泉テック, 渡部工業, ケーヒン, 小野寺鐵工所, プロトラッド, Twinkle Pochet, TONE, 住友電装, National Instruments, 東洋電装, ZFジャパン, 工藤電機, 十一屋ボルト, 東北特殊鋼, プラスミュー



参加チーム【チームメンバー・スポンサー】

Team Information (Members and Sponsors)

E4 Tongji University

●メンバー

[CP] Ma Jiajun, Zhang Tong, [MBR]

●車の特徴とチームの抱負

DRe16 is our first 4WD car, and also the first car with full monocoque. We downsized to 10" rim and focused on lightweight. And for torque vectoring, traction control, we developed our own algorithm to improve the performance of DRe16. DIAN Racing is a passionate Formula Student Electric team from Tongji University. Established in March 2013, the consists of 101 members.

●スポンサー

VW China, Sunshine Laser, Chroma, SAGW, SHEFFLER, Huahai Technologies, LEMO, Shanghai E-Drive



E5 一関工業高等専門学校/岩手大学/岩手県立大学 National Institute of Technology, Ichinoseki College / Iwate University / Iwate Prefectural University

●メンバー

[CP] 菊地俊行, [FA] 澤瀬薫, [FA] 新井義和 [FA] 吉原信人 [FA] 井上翔
[FA] 菊地重人, [MBR] 佐藤洸太, 田ノ岡渉, 村木貴哉, 駒井啓生, 六本木和也,
佐々木翔平, 平野竜, 笹野大祐, 齊藤康希, 齊藤伊織, 中津川社

●車の特徴とチームの抱負

新技術「2モータトルク差増幅型TVD」を搭載し、「意のままに操れる車」を目指しました。昨年の反省を踏まえ随所に軽量化を図り、電気システムの信頼性を向上させました。全種目完走、EV部門優勝を目指します。

●スポンサー

アイオー精密, アイシン東北, アクティブ, イーアールアイ, 市光工業, 一関市, 一関信用金庫, いわぎん事業創造キャピタル, 岩手県工業技術センター, 岩手県自動車販売店協会, 岩手県南技術研究センター, 岩手県産業振興センター, 岩手大学工学部高度試作加工センター, 岩手ピアノサービス, ウエストレーシングカース, エヌケーエヌ, 北上エレメッ

ク, 北上川流域ものづくりネットワーク, 協和工業, K-C-S, コウメイ, 澤瀬研究室, 佐原, 三光化成, 三幸歯車工業, 自動車技術会東北支部, SHOEI, 新菱オート(シリョウレーシングチーム), 鈴木機械, センサーテクノロジーズジャパン, 千蔵マランツ, 大昌電子, 東京エレクトロン, 東京エレクトロン東北, 東邦テクノス, 東北日発, トヨタ自動車東日本, トヨタ紡織東北, 日信工業, ビーアンドエーテクノロジーズ, プロトラッド, ベスト, ミクニ, ミツバ, モディー, 矢崎総業, ラストラダ販売, リチウムエナジージャパン, レイズ



E6 九州工業大学 Kyushu Institute of Technology

●メンバー

[CP] 請田春哉, [FA] 森直樹, [MBR]

●車の特徴とチームの抱負

シンプルかつ整備性のよいマシン設計を心掛けました。今年こそは車検を通過し、動的審査出場を目指します。

●スポンサー

協和工業, エービーシー, センサーテクノロジーズジャパン, ソリッドワークスジャパン, サンエリア, オーナンバ, オータムテクノロジー, エフ・シー・シー, ニスコ, モトサービスアンザイ, 北九州イノベーションギャラリー, ミスマ, ダンロップ



E7 Chulalongkorn University

●メンバー

[CP] Suttipong Rooprakaiaksorns, [FA] Nuksit Noomwongs, [MBR] Preedipat Ngamvalairatt, Napat Supajanyawat, Kiatkawin Chanchotanukul, Panitan Sakullertphasuk, Chanawut Pornsuksawang

NO DATA

E8 神奈川大学 Kanagawa University

●メンバー

[CP] 川口賢人, [FA] 中村弘毅, [FA] 山口光弘, [MBR] 三浦遥夏,カラザスケビン, 田村健昇, 宮崎陽平, 上村尚矢, 小松奏絵, 島田霞, 近藤輝朋

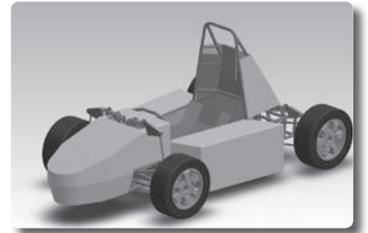
●車の特徴とチームの抱負

今年の車両は電気システムの正確性を重視して配線のシールド等でノイズの軽減を行い、サスペンションジオメトリを第一に考えた最適なフレームを設計しました。今年は全競技完走してEV部門総合優勝を目指します。

●スポンサー

川崎市産業振興財団, 日本モレックス, 松井工業, 松井工業, 日の出製作所, オートモチブエナジーサブライ, 西川精機製作所, SEVCON JAPAN, 堤工業, 松山工業, オズコーポレーション, D jac, JMC, フジテック, ヒラミヤ, サイマコーポレーション, ヒロテック, ミスミ, 日信工業, リニアテクノロジー, SHIFT UP, キタコ, エヌケーエヌ, TGM, Y, 理研オプテック, ウエストレーシングカーズ, オートショップ福井, エヌ・エム・ビー販売, プラスミュー, 橋本スプロケット, 深井製作所, プロト, レイズ, ケイ・エム・エス, ニイガタ, VECTOR, 渡邊左官店, 先端技術開

発研究所, 浜正機工, 関東三菱自動車, ザム・ジャパン, イング, deep stage, 川崎鉄管継手, 三矢研究所, 匠ソリューションズ, RaceCarParts, 日本ドライケミカル, 富士重工, ソリッドワークス・ジャパン, NTN, ニフコ, エフ・シー・シー, KURAFT OB 会



E9 Harbin Institute of Technology at Weihai

●メンバー

[CP] Jialei Shi, [FA] Jianfeng Wang, [MBR] Shengxiang Cao, Yuxiang Deng, Hui Song, Pengcheng Zhao, Yiru Xia, Ming Yan, Liwen Cao, Junjun Xu, Chaowei Chen, Zehua Qin, Yizhe Fan, Xin Tan, Yulong Li, Qingshuang Ma, Yang Xia, Zhongyu Chen, Haosen Xie, Yanyao Zhao, Patrick Zhao, Junyi Lee, Zicheng Zhou

●車の特徴とチームの抱負

CSG-HRT Racing Team founded in 2013, our concept is 'Design to win, compete for victory', 16E is based on innovation, lightweight and reliability. We design one piece CFRP monocoque, and we design our aerodynamic devices based on CFD. As for the powertrain, the PMSM motor and Lithium-Polymer battery is used to realise high power density

and efficiency. Self-designed ECU & data logger system are available.

●スポンサー

CSG, Wanfeng, Guangwei, Igus, Continental, IPG, Kiclear, Melasta, Cusco, Loctite, Ansys, Mathworks



E10 工学院大学 Kogakuin University

●メンバー

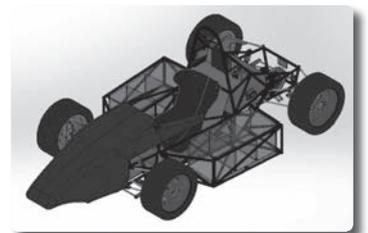
[CP] 宮崎大宗, [FA] 野崎博路, [FA] 雑賀高, [FA] 見崎大悟, [MBR] 野崎功旺, 土器雄一, 中島亮平, 沖田誠司, 湯田友哉

●車の特徴とチームの抱負

昨年度のKRT15のシャシーを使用しEVクラス初参戦です。昨年度マシンの系譜を引き継ぎつつ、出力と軽量化を追求したバッテリーを武器にアクセラレーション1位を目指します。

●スポンサー

日産自動車, センサーテクノロジー, 矢崎総業, プロトラッド



E11 Thai-Nichi Institute of Technology

●メンバー

[CP] Nontakorn Saeng-on, [FA] Yoshida Yusaku, [MBR] Pornnapa Saetang, Piyawan Phookerd, Pichaya Fupleum, Tanin Kumashiro, Yasinton Withayatornrat, Athikom Washiranorased, Kraiwich Udomsri, Phanuthep Phuaphan, Theeraphot Issarachote, Phattaradon Phoothongoen, Wannapong Rotjanarungtaewee

●車の特徴とチームの抱負

there from the previous prototype student formula EV we collect the data for developing new one the Concept Design is 'LEAF' Light, Economy, Adaptation and Flexible at first we try to reduce weight that make less energy consume. Car Feature -1 Brushless motor whit chain drive -Digital screen show data -liquid cooling system

●スポンサー

Japan International Cooperation Agency, Ichikoh Industries (Thailand), Hino Motors Thailand, AET battery, Toshin International, Golden motor, Lactasoy



参加チーム【チームメンバー・スポンサー】

Team Information (Members and Sponsors)

E12 R V College of Engineering

●メンバー

[CP] Shanthmurthy M G, [FA] Dr. Shanmukha Nagaraj, [MBR] Ashad Farhan, ANIKETH SATYANARAYANA, NAGESH P C, Akshay Kumar P, Prasanna P Kulkarni, Sumukha V Udupa, Bopanna B M, Rajesh V Nayak, Akshay R, AVINASH JOSHI G, Thoshith

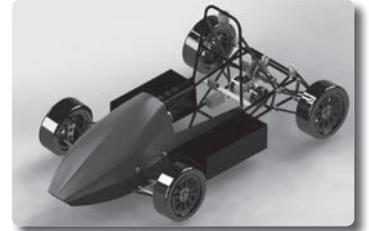
●車の特徴とチームの抱負

Team Chimera is a Hybrid/Electric Research Project team in R. V. College of Engineering, Bangalore, with the purpose of advancing in "Hybrid/Electric Automotive Technology" in India. This year, we are going to build the cost effective Electric Race car with more powerful motor and advance features like Regenerative Braking, better suspension and power-train, LiFePO4 battery pack, Front panel Touch display with

Web Connectivity.

●スポンサー

SAVARI NETWORKS, MAHINDRA REVA, G S FABRICATORS, PREMAC TOOLS, SENSATA, SOLIDWORKS, BENDER, INFINION



E13 神奈川工科大学 Kanagawa Institute of Technology

NO DATA

NO DATA

スポンサー企業一覧

Sクラススポンサー 3社

NISSAN
MOTOR CORPORATION

TOYOTA

HONDA

Aクラススポンサー 14社

 **SUBARU**

 **MAZDA**


MITSUBISHI MOTORS

TAMADIC
Change creation into power

 **IPG**
AUTOMOTIVE

VSN

STORZ
KARL STORZ—ENDOSKOPE
INDUSTRIAL GROUP

Kawasaki

 **SUZUKI**

DENSO

日産車体

MOTION & CONTROL™
NSK

HITACHI
Inspire the Next
日立オートモティブシステムズ

 **YAMAHA**
Revs Your Heart

Bクラススポンサー 46社

NOK

 **PEC**
Pacific Engineering Corporation

HORIBA
Explore the future


UD TRUCKS

 **HINO**

 **BOSCH**
Invented for life

dSPACE

KYB
Our Precision, Your Advantage

Mentor
Automotive

NTN

TBK


アイシン・エイ・ダブリュ

AISIN

 Altair

ANSYS

ETAS

ISUZU

AVL

EXEDY

AUTECH


AUTOBACS
SEVEN


Calsonic Kansei


KYGNUS

KEIHIN
小さな部品が世界を変える

JTEKT

Jatco
The mission is passion.

Jatco
ジャトコ エンジニアリング

SNT
SHIN NIPPON TOKKI CO. LTD.

 住友電装
Sumitomo Wiring Systems




Sensata
Technologies

 Cradle

 **SOLIDWORKS**


TE
connectivity

 **DAIHATSU**

NIICO


esi
get it right®

HARADA
Automotive Antenna Authority

FORUM 8

 **Fujikura**

HTFT
Honda Techno Fort

Mitutoyo
PRECISION IS OUR PROFESSION

 **MITSUBISHI**
ELECTRIC
Changes for the Better

YANASE

 **UNIPRES**

YOROZU

Cクラススポンサー 68社 他1社



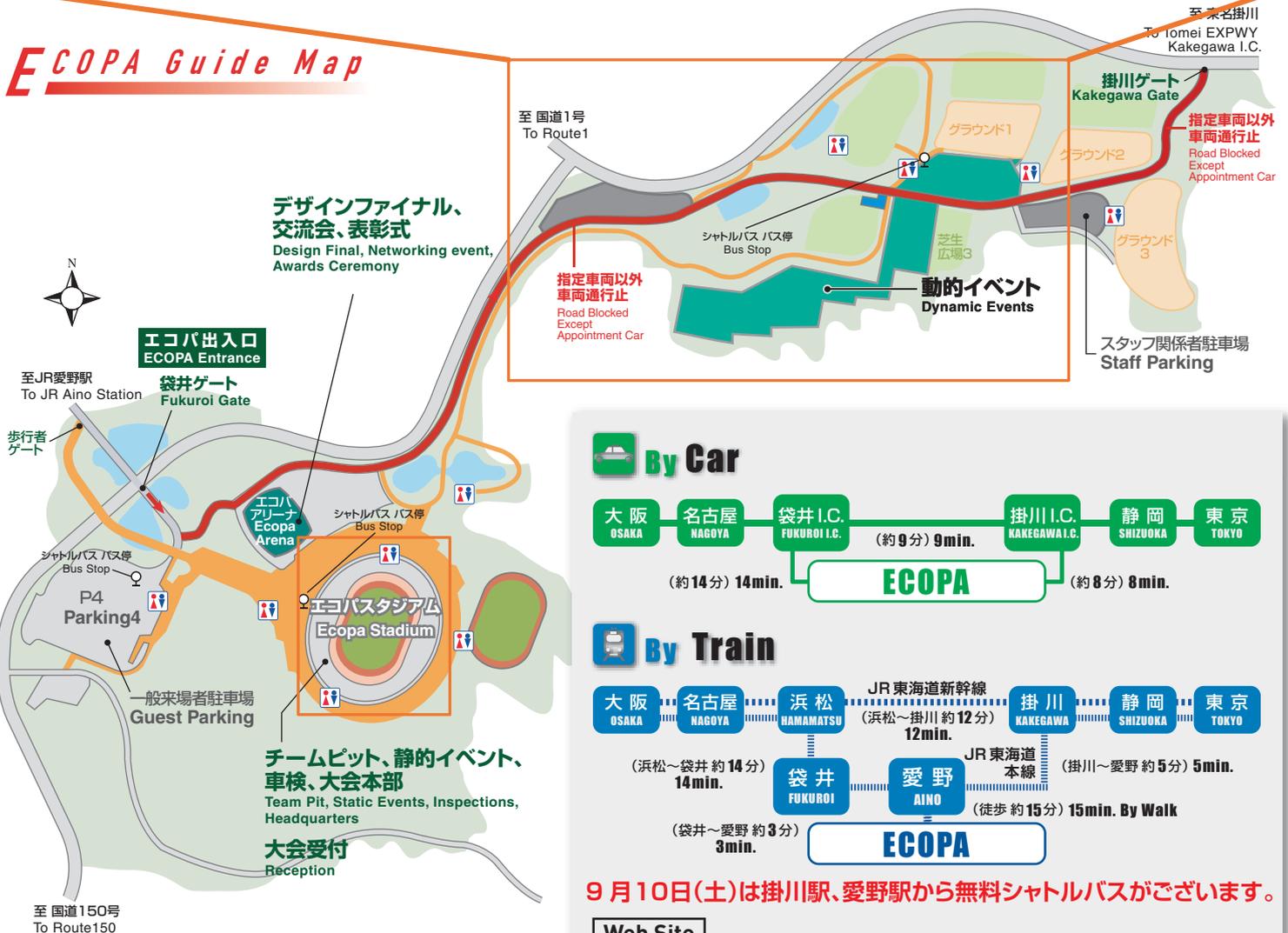
Dクラススポンサー 67社



Competition Site



ECOPA Guide Map



9月10日(土)は掛川駅、愛野駅から無料シャトルバスがごぞいます。

Web Site

<http://www.jsae.or.jp/formula/jp/>